

富山県への定着に関する大学生意識調査  
(県内大学生・県外進学者)  
報告書

平成 27 年 10 月

富山県 知事政策局



# 目 次

## I 調査の概要

1.調査の目的 .....	1
2.調査実施概要.....	1
3.回答者の属性.....	2

## II 調査結果

1.県内大学生 .....	3
2.県外進学者 .....	26
3.比較分析 .....	49

### 本報告書を読む際の注意点

- ・調査結果は百分率で表示した。百分率は小数第2位を四捨五入し算出した。従って、合計値が100.0%にならない場合がある。
- ・1つの質問に対して2つ以上の回答を求めているものは【複数回答】と表示し、百分率は回答数を本調査の有効回答者数で割った数値である。
- ・図表中に「N」と記してあるのは、分類別各層の対象者総数である。
- ・本報告書中の記載例として、48.0%以上 50.0%未満は「約5割」、50.0%以上 53.0%未満は「5割」、53.0%以上 58.0%未満は「5割強」と表記している。

# I 調査の概要



## 1.調査の目的

富山県の定住人口や交流人口の拡大を図るうえで、学生の大学進学時や就職時の、県内定着・県外転出に関する意識を把握することが重要であることから、県内の大学生及び県外へ進学した大学生への意識調査を実施し、県の活性化策及び高等教育振興策を検討する基礎資料とする。

## 2.調査実施概要

- (1)調査の対象
- 富山県内の大学(富山大学・県立大学・富山国際大学・高岡法科大学)に在籍する大学3年生(2,471人)
  - 富山県外の大学に進学した大学3年生(3,228人)
- (2)調査期間
- 平成27年5月1日(金)～5月29日(金)
- (3)調査方法
- 県内大学生  
各大学担当者による調査票の配布・回収及び専用webページによる回答
  - 県外進学者  
郵送による調査票の配布・回収及び専用webページによる回答
- (4)有効回答数
- 県内大学生 1,356人
  - 県外進学者 848人

### 3.回答者の属性

(1)県内大学生・県外進学者	(人)
県内大学生	1,356
県外進学者	848
計	2,204

(2)性 別	県内大学生		県外進学者	
	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	778	57.4	357	42.1
女 性	578	42.6	491	57.9
計	1,356	100.0	848	100.0

(3)地 域	県内大学生 (出身地)		県外進学者 (進学先)	
	(人)	(%)	(人)	(%)
富 山 県	561	41.4	-	-
石 川 県	182	13.4	189	22.3
福 井 県	43	3.2	15	1.8
新 潟 県	50	3.7	45	5.3
東 京 都	14	1.0	182	21.5
その他首都圏	56	4.1	112	13.2
中 部 地 域 (愛知・岐阜)	190	14.0	108	12.7
京 阪 神	54	4.0	125	14.7
そ の 他	181	13.3	72	8.5
海 外 (留学生)	25	1.8	-	-
計	1,356	100.0	848	100.0

※ その他首都圏 = 埼玉県、千葉県、神奈川県、群馬県、茨城県、栃木県、山梨県

(4)所属大学 (県内大学生)	(人)	(%)
富山大学	959	70.7
富山県立大学	199	14.7
富山国際大学	166	12.2
高岡法科大学	32	2.4
計	1,356	100.0



## II 調査結果



## 1.県内大学生

(上段:人、下段:%)

		専攻分野												合計
		人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	芸術	その他	不明	
性別	男性	19	108	110	323	-	33	48	1	54	5	30	47	778
		2.4	13.9	14.1	41.5	-	4.2	6.2	0.1	6.9	0.6	3.9	6.0	100.0
性別	女性	78	54	47	55	-	107	33	-	108	41	34	21	578
		13.5	9.3	8.1	9.5	-	18.5	5.7	-	18.7	7.1	5.9	3.6	100.0
出身地	富山県	39	69	34	134	-	54	12	-	110	13	50	46	561
		7.0	12.3	6.1	23.9	-	9.6	2.1	-	19.6	2.3	8.9	8.2	100.0
	石川県	22	25	21	55	-	12	-	1	29	11	4	2	182
		12.1	13.7	11.5	30.2	-	6.6	-	0.5	15.9	6.0	2.2	1.1	100.0
	福井県	6	6	6	11	-	2	3	-	3	4	2	-	43
		14.0	14.0	14.0	25.6	-	4.7	7.0	-	7.0	9.3	4.7	-	100.0
	新潟県	5	10	10	10	-	6	4	-	3	1	-	1	50
		10.0	20.0	20.0	20.0	-	12.0	8.0	-	6.0	2.0	-	2.0	100.0
	東京都	-	-	-	2	-	9	1	-	-	2	-	-	14
		-	-	-	14.3	-	64.3	7.1	-	-	14.3	-	-	100.0
その他首都圏	3	2	13	9	-	10	11	-	2	4	-	2	56	
	5.4	3.6	23.2	16.1	-	17.9	19.6	-	3.6	7.1	-	3.6	100.0	
中部地域	8	16	34	94	-	12	9	-	7	1	1	8	190	
	4.2	8.4	17.9	49.5	-	6.3	4.7	-	3.7	0.5	0.5	4.2	100.0	
京阪神	3	4	10	9	-	13	7	-	2	2	2	2	54	
	5.6	7.4	18.5	16.7	-	24.1	13.0	-	3.7	3.7	3.7	3.7	100.0	
その他	11	19	29	47	-	22	34	-	6	7	2	4	181	
	6.1	10.5	16.0	26.0	-	12.2	18.8	-	3.3	3.9	1.1	2.2	100.0	
海外	-	11	-	7	-	-	-	-	-	1	3	3	25	
	-	44.0	-	28.0	-	-	-	-	-	4.0	12.0	12.0	100.0	
全体	97	162	157	378	-	140	81	1	162	46	64	68	1,356	
	7.2	11.9	11.6	27.9	-	10.3	6.0	0.1	11.9	3.4	4.7	5.0	100.0	

(1)富山県に進学した理由

Q1.【場所】富山県に進学した理由は何ですか。

県内出身者の7割強は、「地元の大学を希望」して富山県に進学している

県内出身者 561 人に富山県に進学した理由を尋ねたところ、「地元の大学を希望」が 74.5%と最も多く、次いで「場所にはこだわらないが、大学選択の結果」が 19.8%、「その他」が 3.9%となっている。

県外出身者 795 人に富山県に進学した理由を尋ねたところ、「場所にはこだわらないが、大学選択の結果」が 65.4%と最も多く、次いで「実家から遠くない富山県の大学を選んだ」が 25.9%、「その他」が 5.3%となっている。

図 1-1-1 富山県に進学した理由(県内出身者)

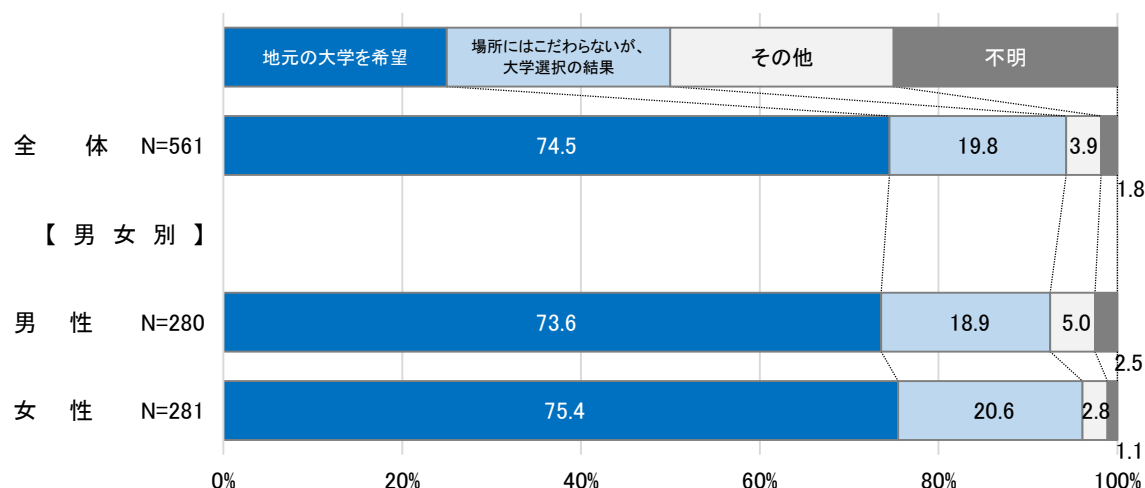
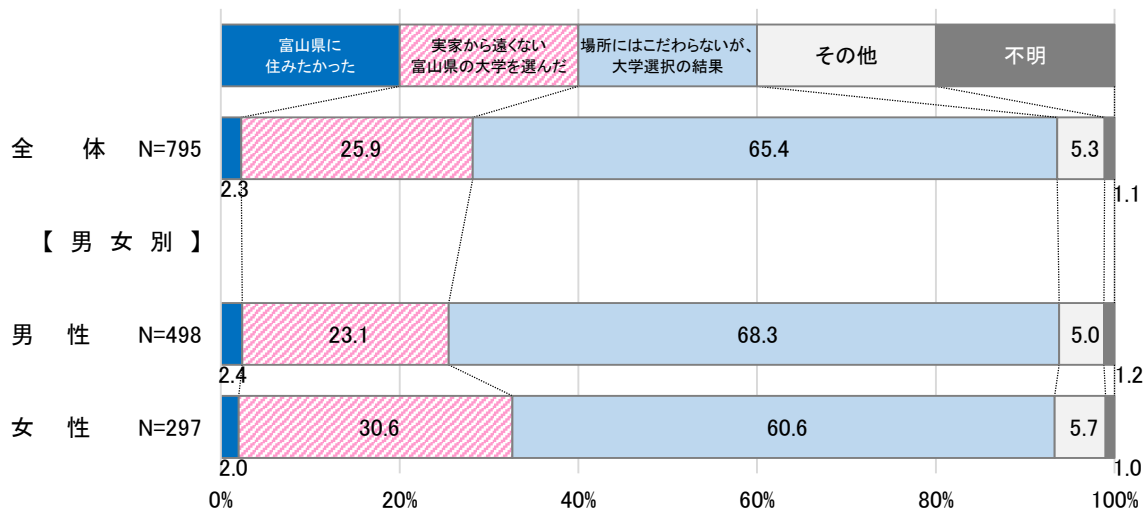


図 1-1-2 富山県に進学した理由(県外出身者)



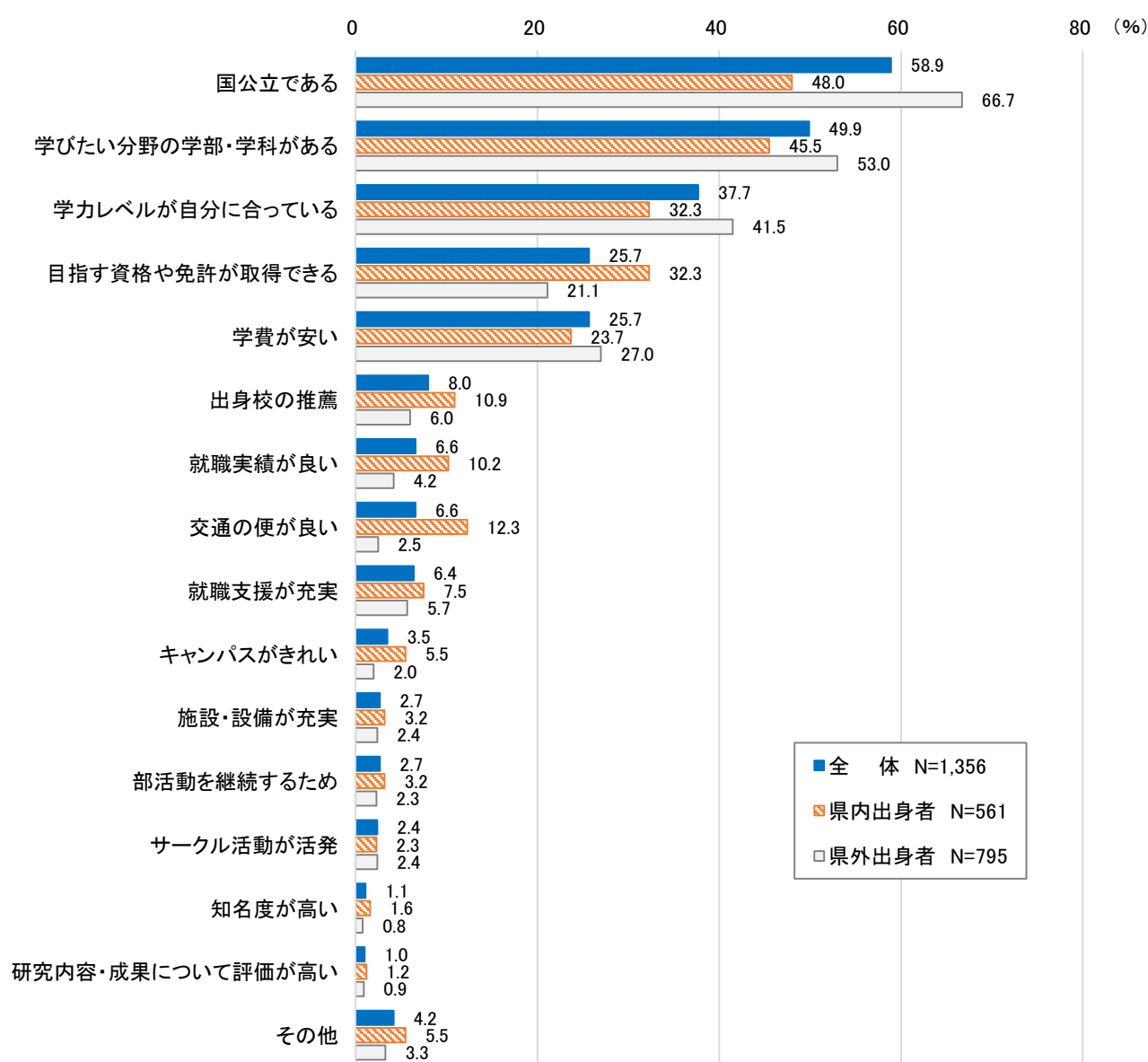
## (2) 現在の大学を選んだ理由

Q2. 【大学】現在の大学を選んだ理由は何ですか。

現在の大学を選んだ理由は、「国公立である」が約6割と最も多い

現在の大学を選んだ理由を尋ねたところ、「国公立である」が58.9%と最も多く、次いで「学びたい分野の学部・学科がある」が49.9%、「学力レベルが自分に合っている」が37.7%、「目指す資格や免許が取得できる」と「学費が安い」が25.7%となっている。

図 1-2 現在の大学を選んだ理由 N=1,356 【複数回答】(該当するものすべて)



### (3) 大学選択の際に参考にした意見

Q3. 大学を選ぶ際、誰の意見を参考にしましたか。

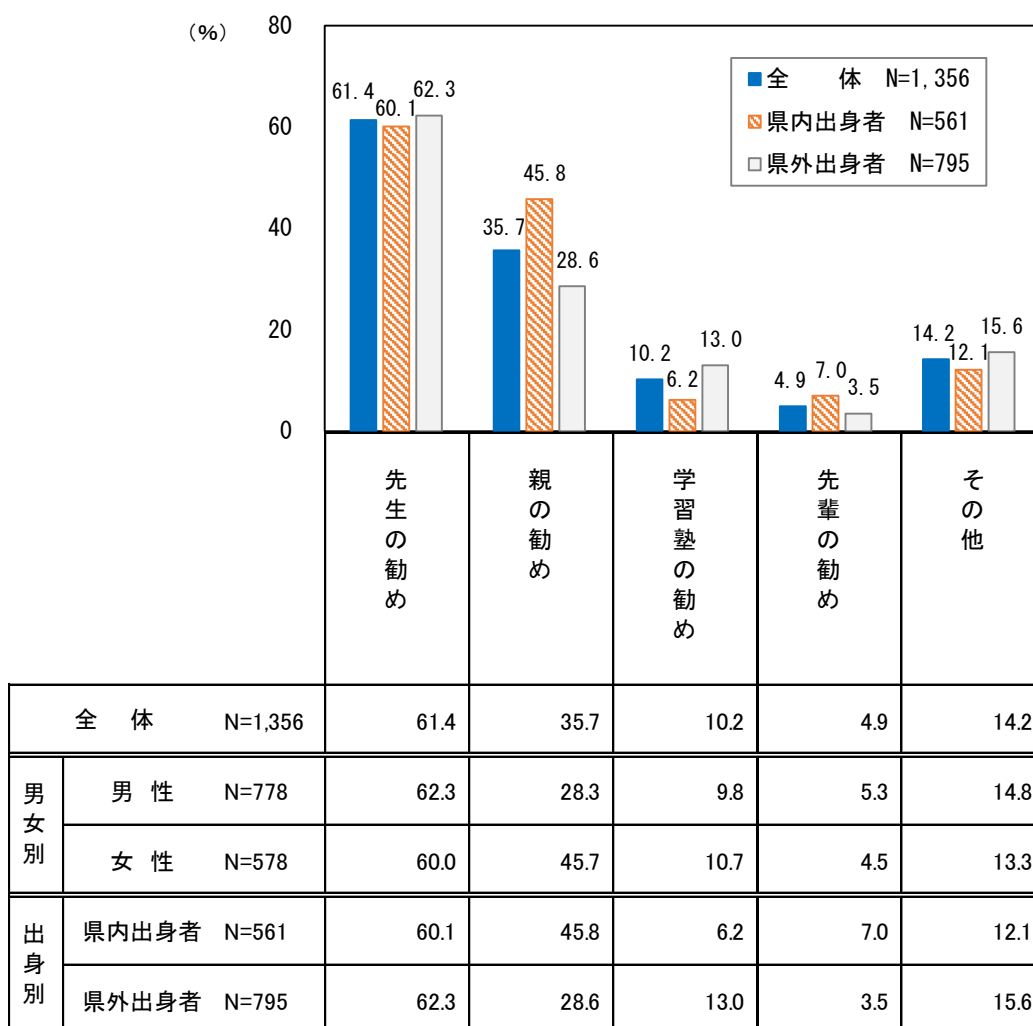
#### 大学選択の際に参考にした意見は、「先生の勧め」が6割と最も多い

大学選択の際に参考にした意見を尋ねたところ、「先生の勧め」が61.4%と最も多く、次いで「親の勧め」が35.7%、「学習塾の勧め」が10.2%となっている。「その他」としては、「誰の意見も参考にしなかった」、「自分自身で決めた」等の回答が多く見受けられた。

男女別にみると、女性は、「親の勧め」が45.7%と男性に比べて17.4ポイント多くなっている。

出身別にみると、県内出身者は、「親の勧め」が45.8%と県外出身者に比べて17.2ポイント多くなっている。

図 1-3 大学選択の際に参考にした意見 N=1,356 【複数回答】(該当するものすべて)



(4)富山県の住みやすさ

Q4. 富山県は住みやすい県だと思いますか。

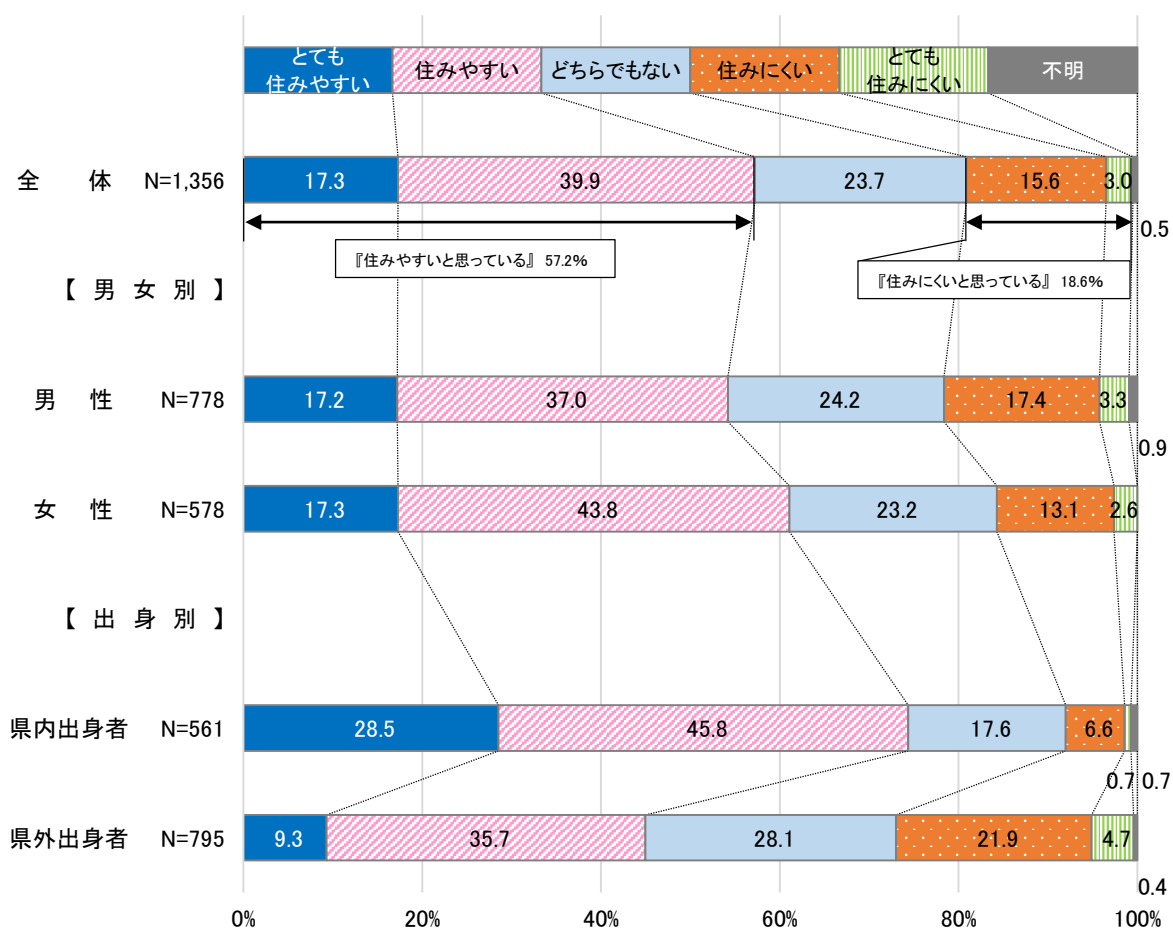
県内出身者の7割強が富山県は住みやすいと思っている

富山県の住みやすさについて尋ねたところ、「とても住みやすい」が17.3%、「住みやすい」が39.9%、「どちらでもない」が23.7%、「住みにくい」が15.6%、「とても住みにくい」が3.0%となっている。

男女別にみると、女性は、「住みやすい」が43.8%と男性に比べて多くなっており、『住みやすいと思っている(「とても住みやすい」+「住みやすい」)』が6割を超えている。

出身別にみると、県内出身者は、『住みやすいと思っている』が74.3%と多くなっているが、一方、県外出身者は、45.0%と低くなっている。

図 1-4 富山県は住みやすいと思うか



- 具体的な理由 (主なもの)
- |                   |                        |
|-------------------|------------------------|
| 「とても住みやすい」「住みやすい」 | 「住みにくい」「とても住みにくい」      |
| ・食べ物おいしい          | ・交通の便が悪い               |
| ・自然が豊か            | ・車がないと不便               |
| ・自然災害(台風、地震)が少ない  | ・気候(天気が悪い日が多い、雪が降ると不便) |
| ・犯罪が少ない           |                        |

(5) 富山県に住んでよかった点

Q5. 富山県に住んでよかった点は何ですか。

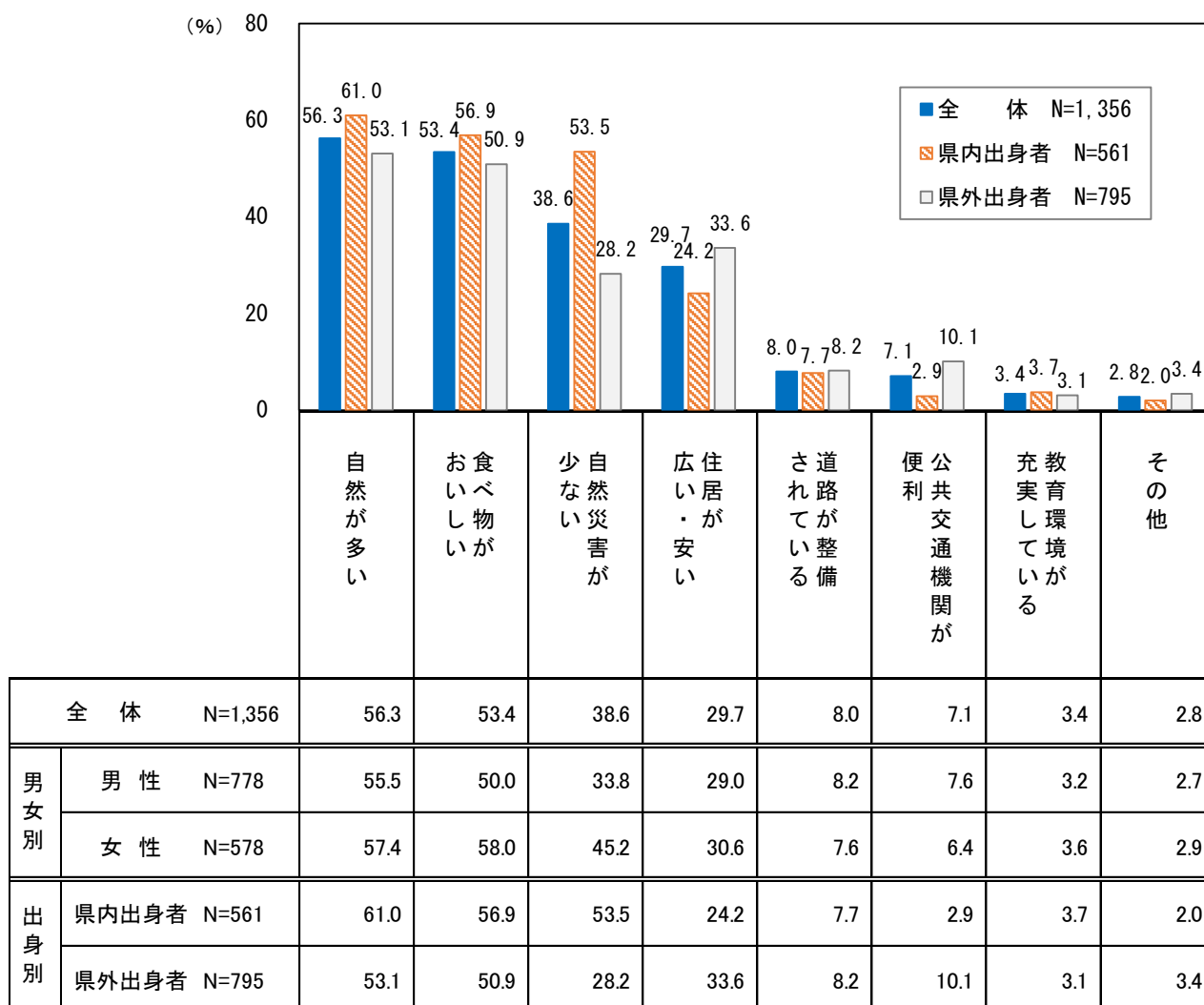
富山県に住んでよかった点は、「自然が多い」が5割強と最も多い

富山県に住んでよかった点を尋ねたところ、「自然が多い」が56.3%と最も多く、次いで「食べ物おいしい」が53.4%、「自然災害が少ない」が38.6%となっている。

男女別にみると、女性は、「自然災害が少ない」が45.2%と男性に比べて11.4ポイント多くなっている。

出身別にみると、県内出身者は、「自然が多い」、「食べ物おいしい」、「自然災害が少ない」等が県外出身者に比べて多く、一方、県外出身者は、「住居が広い・安い」、「公共交通機関が便利」等が県内出身者に比べて多くなっている。

図 1-5 富山県に住んでよかった点 N=1,356 【複数回答】(該当するもの3つまで)





## (6) 富山県での暮らしで不便な点

Q6. 富山県での暮らしで不便な点は何ですか。

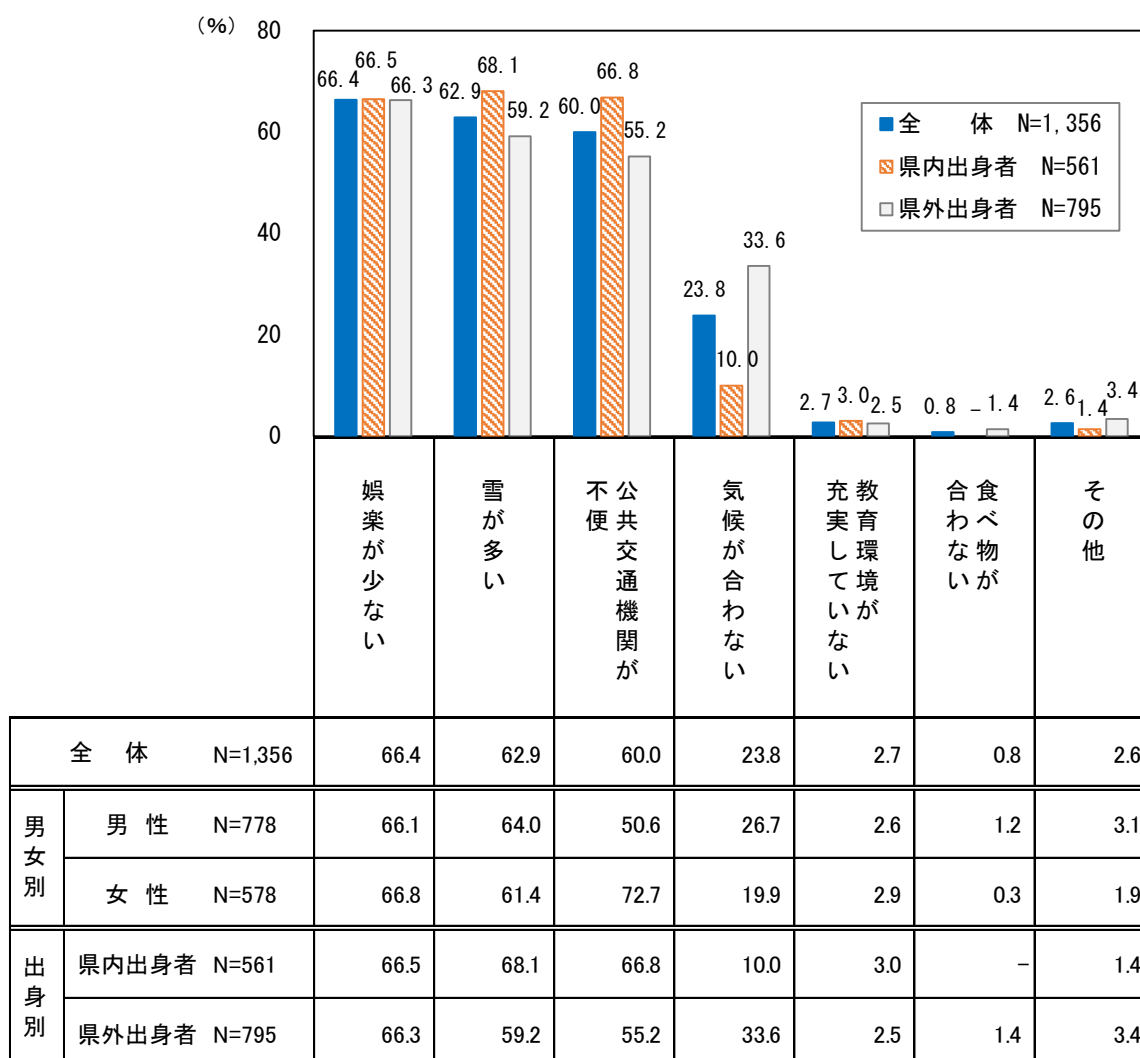
## 富山県での暮らしで不便な点は、「娯楽が少ない」が6割強と最も多い

富山県での暮らしで不便な点を尋ねたところ、「娯楽が少ない」が66.4%と最も多く、次いで「雪が多い」が62.9%、「公共交通機関が不便」が60.0%となっている。

男女別にみると、女性は、「公共交通機関が不便」が72.7%と男性に比べて22.1ポイント多くなっている。

出身別にみると、県内出身者は、「公共交通機関が不便」が66.8%と県外出身者に比べて11.6ポイント多くなっている。

図 1-6 富山県での暮らしで不便な点 N=1,356 【複数回答】(該当するもの3つまで)



(7) 希望する働き方

Q7. 働き方に関するAとBの意見のうち、あなた自身の意見に近いのはどちらですか。

①雇用形態の希望

A：正社員にこだわりたい

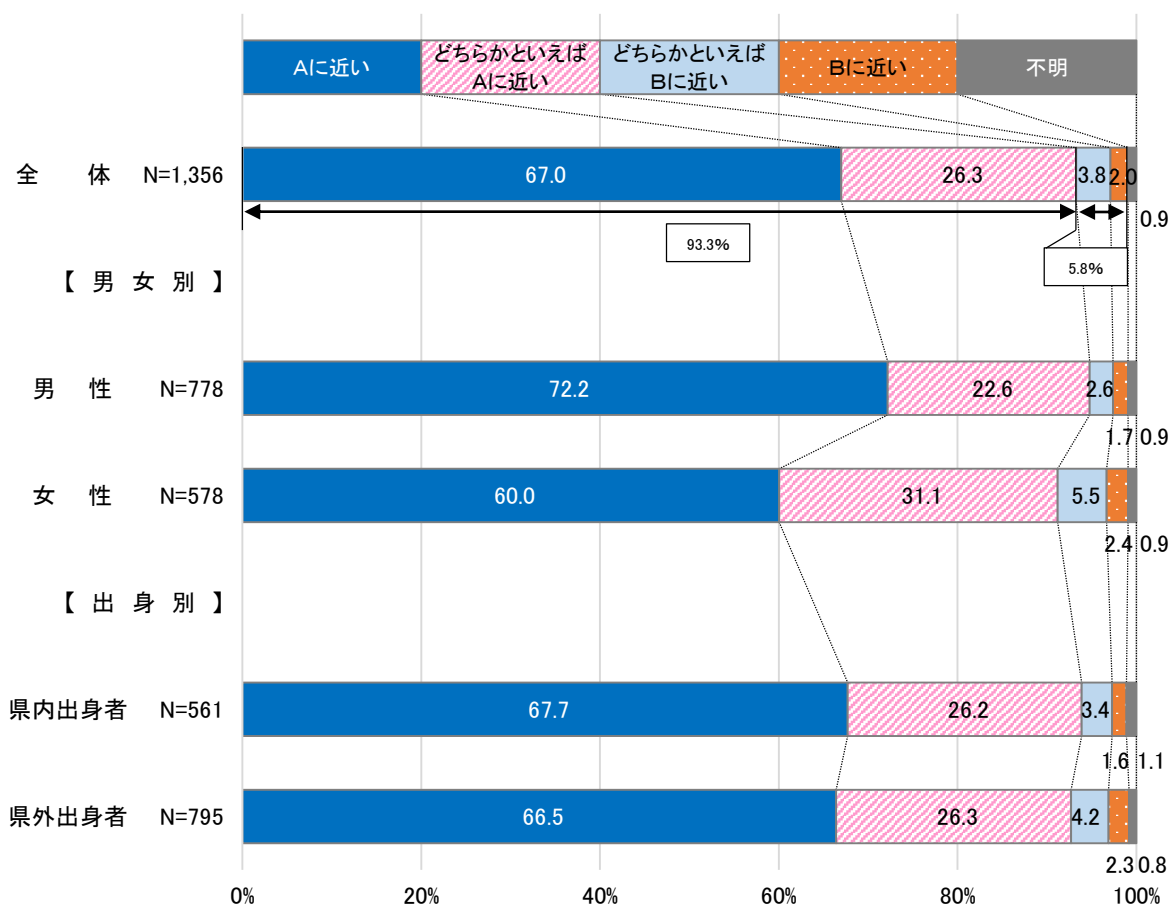
B：正社員にこだわらず、非正規やフリーターでもよい

全体の9割強は「正社員にこだわりたい」という考え方に近い

雇用形態について、「A:正社員にこだわりたい」、「B:正社員にこだわらず、非正規やフリーターでもよい」のどちらの意見に近いかを尋ねたところ、「Aに近い」が67.0%、「どちらかといえばAに近い」が26.3%となっており、合わせて93.3%となっている。

男女別にみると、男性は、「Aに近い」が72.2%と女性に比べて12.2ポイント多くなっている。

図 1-7-1 雇用形態の希望



## ②転職に対する考え方

A：自分に向かないと思っても、一つの会社で働き続けたい

B：自分に向かないと思ったら、転職するつもりだ

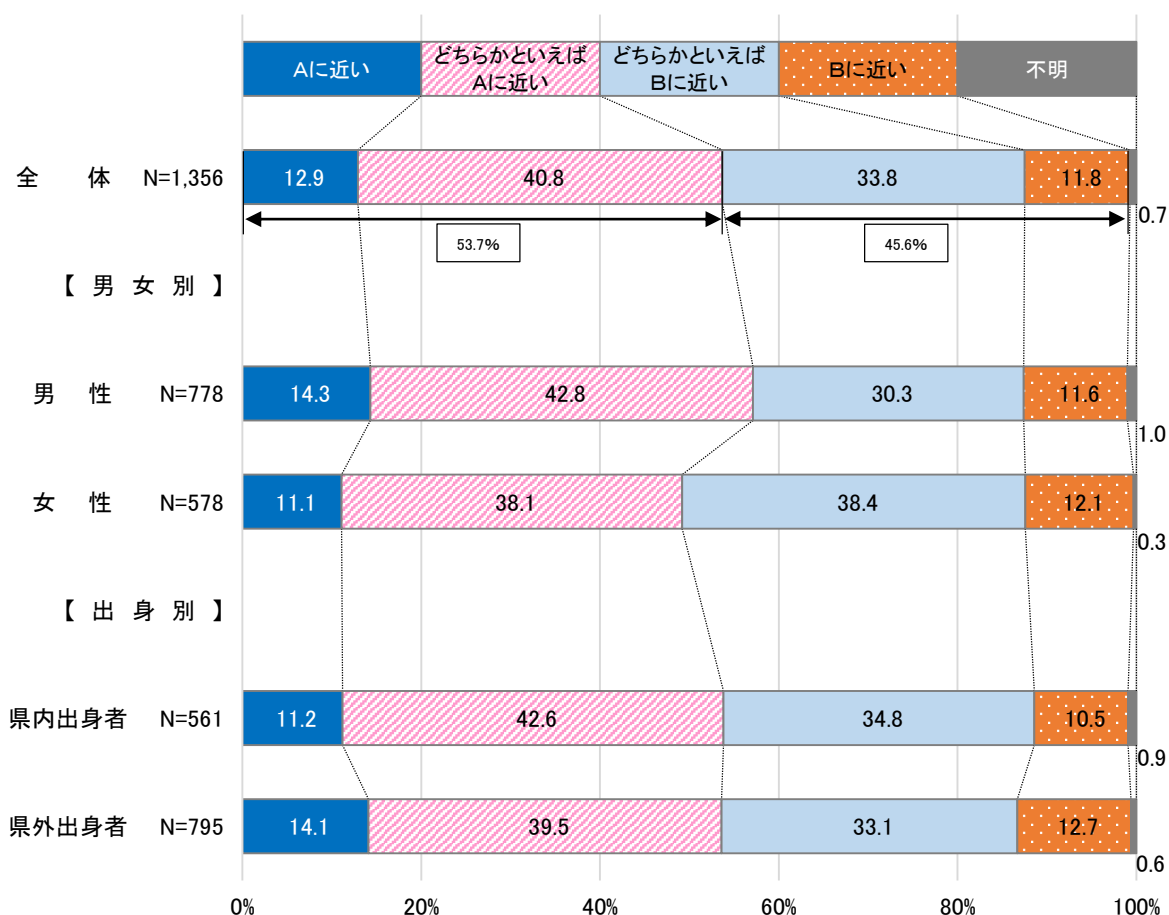
全体の5割強が「自分に向かないと思っても、一つの会社で働き続けたい」という考え方に近い

転職に対する考え方について、「A:自分に向かないと思っても、一つの会社で働き続けたい」、「B:自分に向かないと思ったら、転職するつもりだ」のどちらの意見に近いかを尋ねたところ、「どちらかといえばAに近い」が40.8%と最も多く、次いで「どちらかといえばBに近い」が33.8%となっている。

また、「どちらかといえばAに近い」「Aに近い」12.9%の計は53.7%となっており、「どちらかといえばBに近い」「Bに近い」11.8%の計(45.6%)より8.1ポイント多くとなっている。

男女別にみると、女性は、「どちらかといえばBに近い」「Bに近い」の計(50.5%)と「どちらかといえばAに近い」「Aに近い」の計(49.2%)は約半々だが、男性は「どちらかといえばAに近い」「Aに近い」の計が57.1%となっており、「どちらかといえばBに近い」「Bに近い」の計(41.9%)より15.2ポイント多くとなっている。

図 1-7-2 転職に対する考え方



### ③収入と余暇のバランス

A：余暇を犠牲にしても、経済的に豊かな生活をしたい

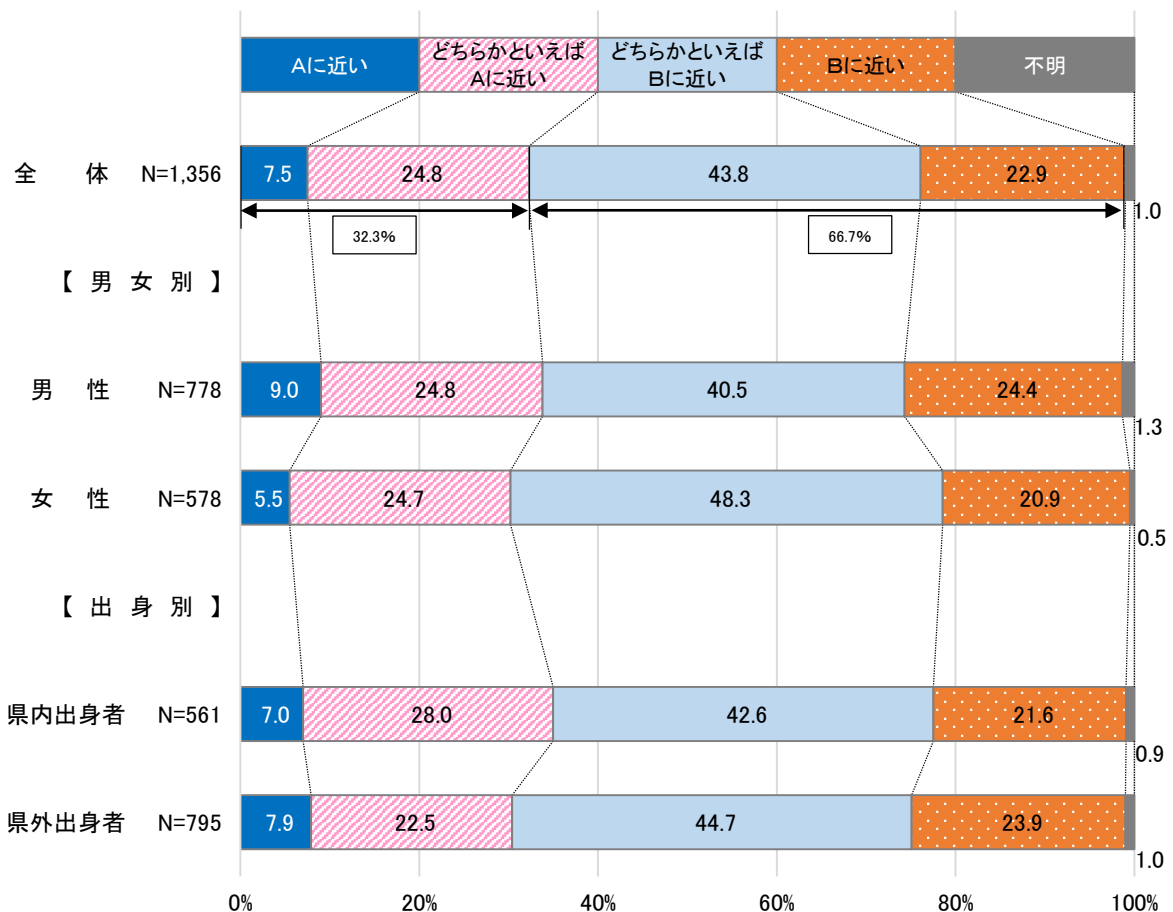
B：ほどほどの収入でも余暇を楽しむ生活をしたい

全体の6割強は、「ほどほどの収入でも余暇を楽しむ生活をしたい」という考え方に近い

収入と余暇のバランスについて、「A:余暇を犠牲にしても、経済的に豊かな生活をしたい」、「B:ほどほどの収入でも余暇を楽しむ生活をしたい」のどちらの意見に近いかを尋ねたところ、「どちらかといえばBに近い」が43.8%と最も多く、次いで「どちらかといえばAに近い」が24.8%となっている。「どちらかといえばBに近い」「Bに近い」22.9%の計は66.7%となり「どちらかといえばAに近い」「Aに近い」7.5%の計より34.4ポイント多くなっている。

男女別にみると、女性は、「どちらかといえばBに近い」「Bに近い」20.9%の計は69.2%となり、男性に比べて4.3ポイント多くなっている。

図 1-7-3 収入と余暇のバランス



## ④仕事と家庭・趣味のバランス

A：家庭や趣味よりも、仕事を優先に生活したい

B：仕事よりも、家庭や趣味を優先した生活をしたい

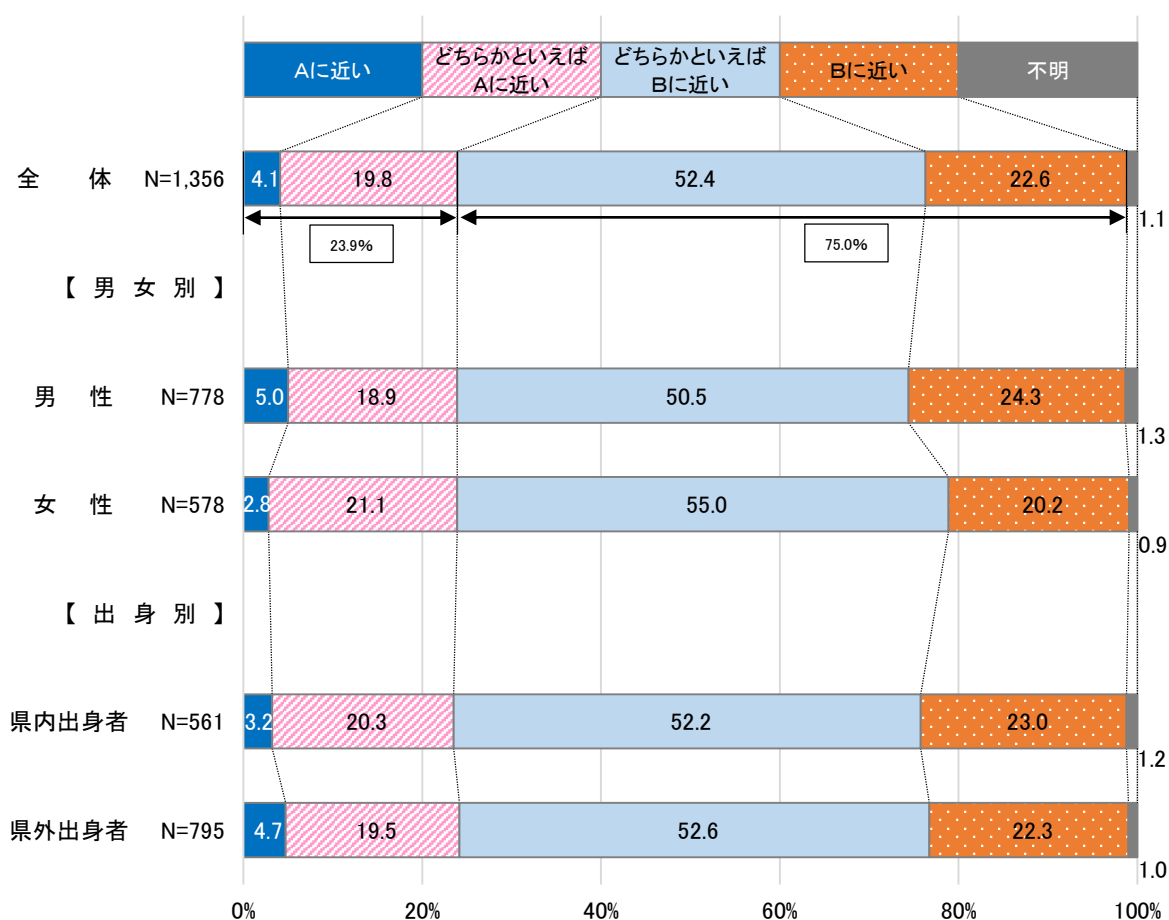
全体の7割強は、「仕事よりも、家庭や趣味を優先した生活をしたい」という考え方に近い

仕事と家庭・趣味のバランスについて、「A:家庭や趣味よりも、仕事を優先に生活したい」、「B:仕事よりも、家庭や趣味を優先した生活をしたい」のどちらの意見に近いかを尋ねたところ、「どちらかといえばBに近い」が52.4%と最も多く、次いで「Bに近い」が22.6%となっている。

「どちらかといえばBに近い」「Bに近い」の計は75.0%となり、「どちらかといえばAに近い」「Aに近い」4.1%の計より51.1ポイント多くなっている。

男女別にみると、「Bに近い」は男性が24.3%と女性より4.1ポイント高いが、「どちらかといえばBに近い」は女性が55.0%と男性より4.5ポイント多くなっている。

図 1-7-4 仕事と家庭・趣味のバランス



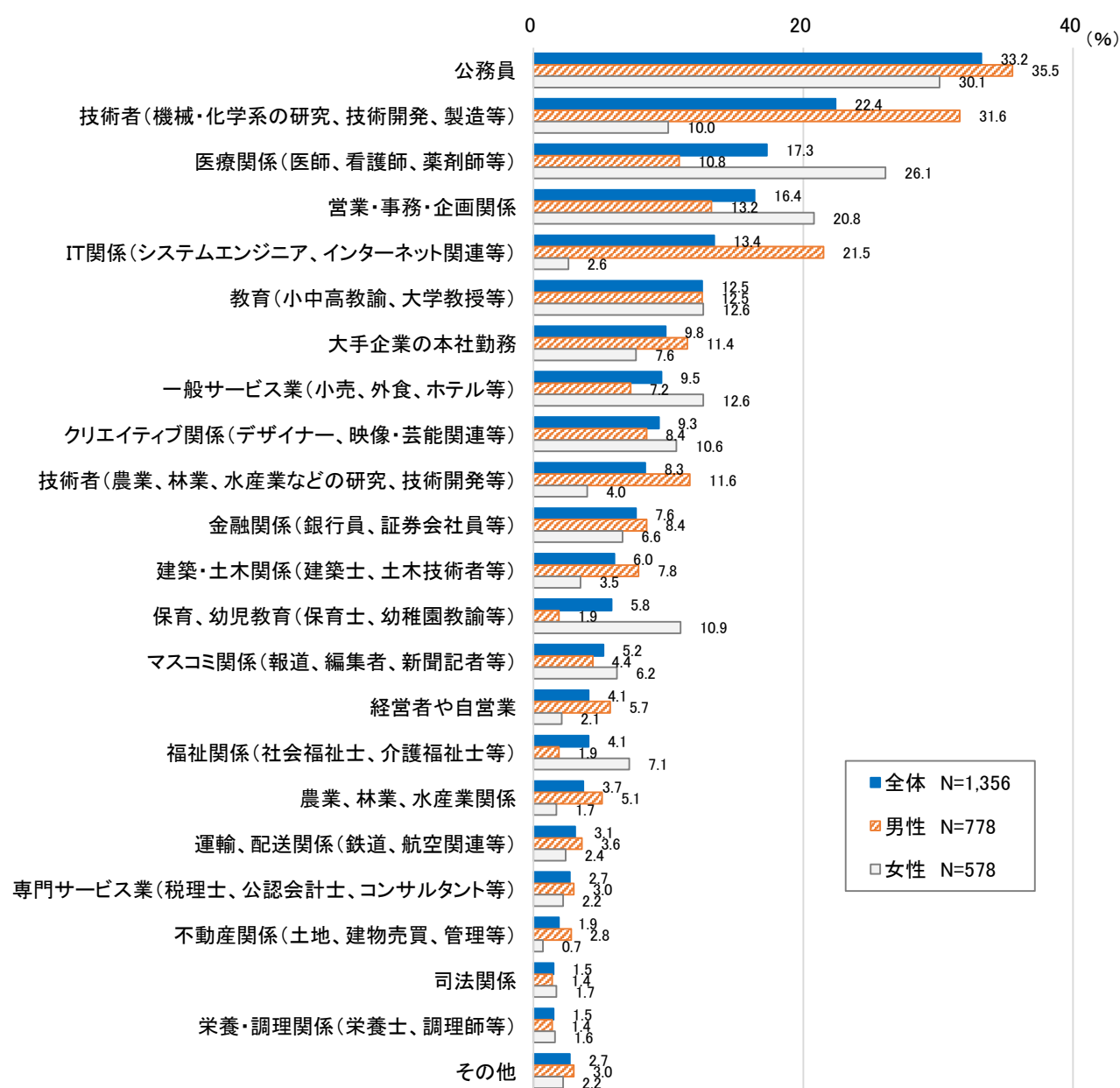
(8) 卒業後に就きたい仕事(職業・職種)

Q8. 希望する職業・職種を選んでください。

全体の3割強は「公務員」を希望している

希望する職業・職種を尋ねたところ、「公務員」が33.2%と最も多く、次いで「技術者(機械・化学系の研究、技術開発、製造等)」が22.4%、「医療関係(医師、看護師、薬剤師等)」が17.3%、「営業・事務・企画関係」が16.4%、「IT関係(システムエンジニア、インターネット関連等)」が13.4%となっている。

図 1-8 卒業後に就きたい仕事(職業・職種)N=1,356 【複数回答】(該当するものすべて)



(9) 卒業後に就きたい仕事(事業形態・規模)

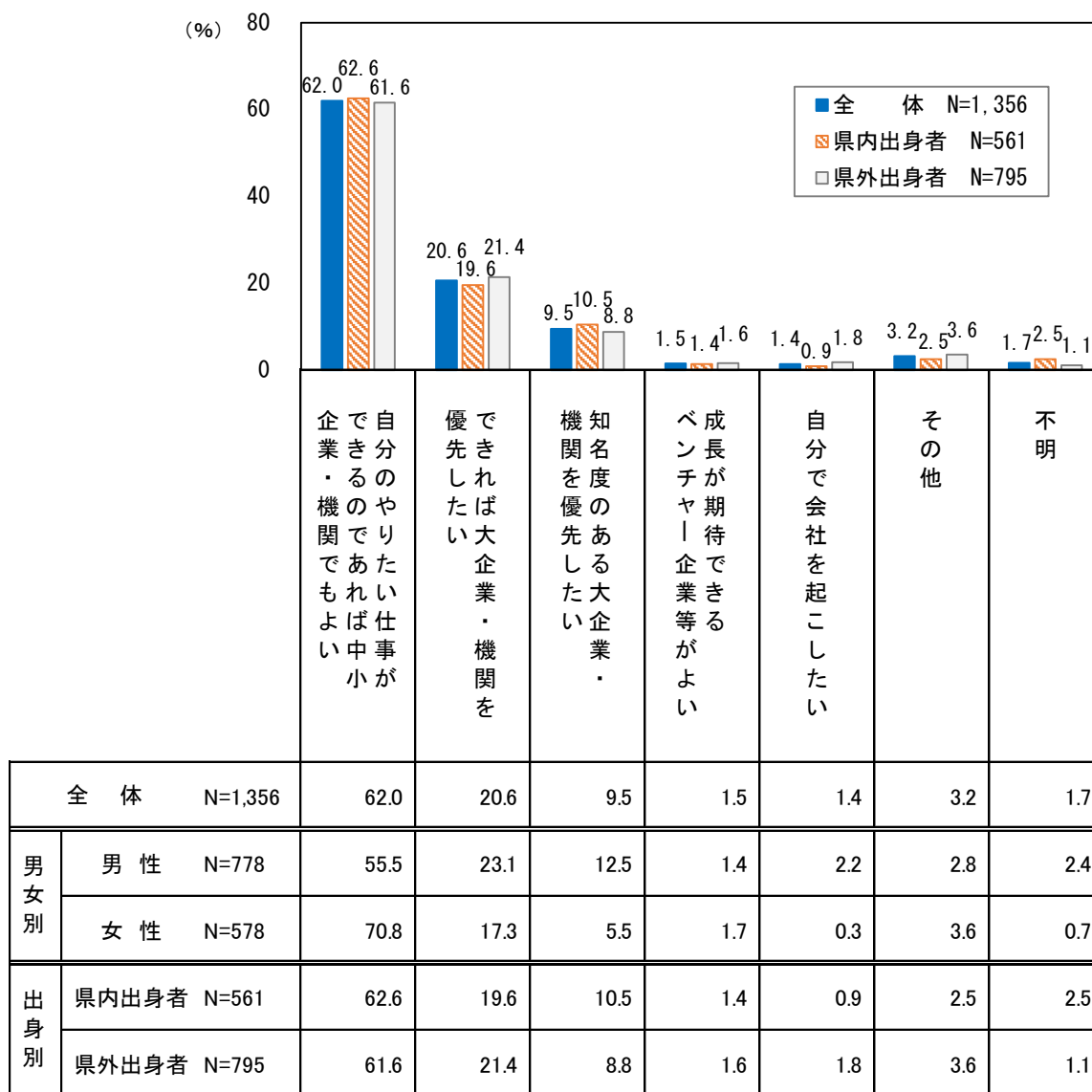
Q9. 希望する就職先の事業形態・規模について、現在の考えに最も近いものを選んでください。

全体の6割が「自分のやりたい仕事ができるのであれば中小企業・機関でもよい」と考えている

希望する就職先の事業形態・規模を尋ねたところ、「自分のやりたい仕事ができるのであれば中小企業・機関でもよい」が62.0%と最も多く、次いで「できれば大企業・機関を優先したい」が20.6%、「知名度のある大企業・機関を優先したい」が9.5%となっている。

男女別にみると、女性は、「自分のやりたい仕事ができるのであれば中小企業・機関でもよい」が70.8%と男性に比べて15.3ポイント多くなっている。

図 1-9 卒業後に就きたい仕事(事業形態・規模) N=1,356



(10) 卒業後の就職地の希望

Q10. 希望する就職地についてあてはまるものを選んでください。

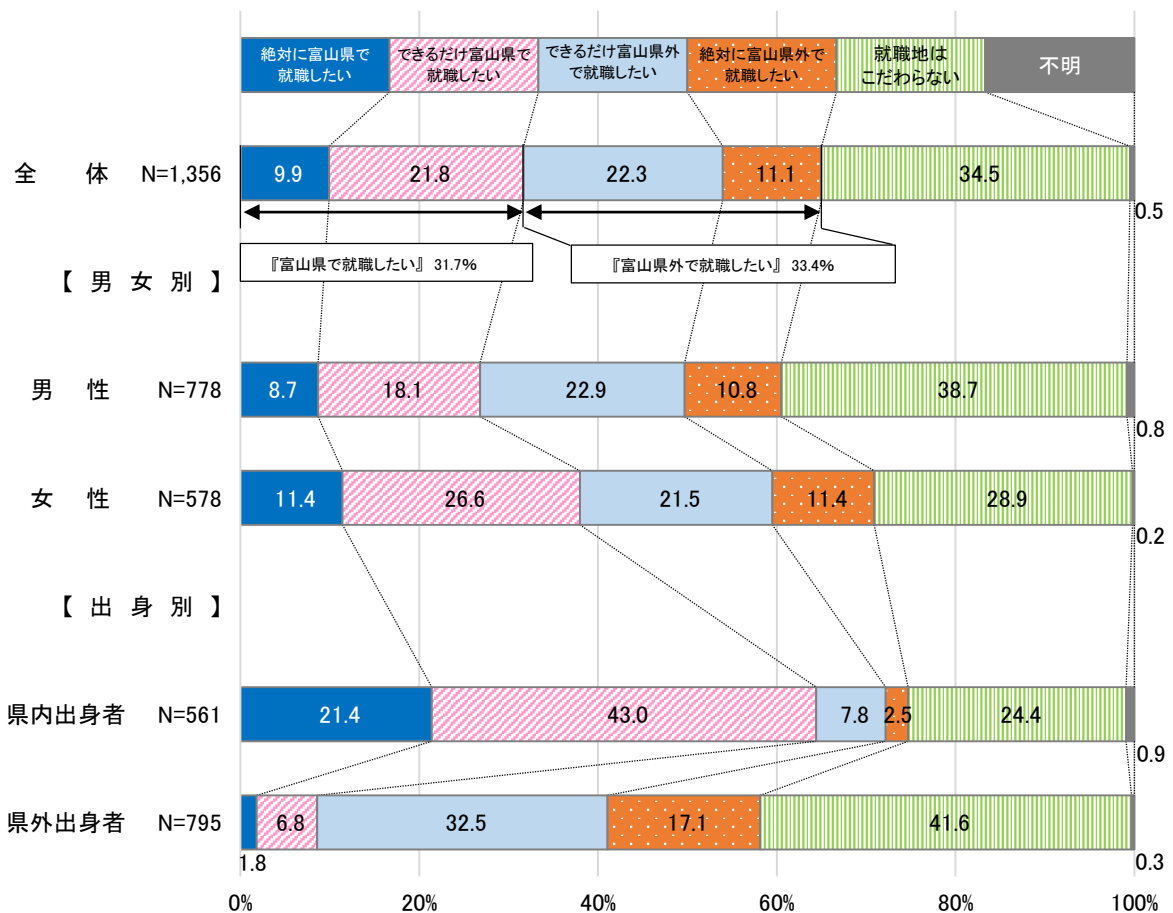
県内出身者の 6 割強が富山県内の就職を希望し、県外出身者の約 5 割が県外での就職を希望している

希望する就職地を尋ねたところ、「絶対に富山県で就職したい」が 9.9%、「できるだけ富山県で就職したい」が 21.8%、「できるだけ富山県外で就職したい」が 22.3%、「絶対に富山県外で就職したい」が 11.1%、「就職地はこだわらない」が 34.5%となっている。

男女別にみると、男性は、「就職地はこだわらない」が 38.7%と女性に比べて 9.8 ポイント多くっており、一方、女性は『富山県で就職したい(「絶対に富山県で就職したい」+「できるだけ富山県で就職したい」)』が 38.0%と男性に比べて 11.2 ポイント多くとなっている。

出身別にみると、県内出身者は、『富山県で就職したい』が 64.4%となっており、県外出身者の 49.6%が県外での就職を希望している。

図 1-10 卒業後の就職地の希望





## (11) 県内就職を希望する理由

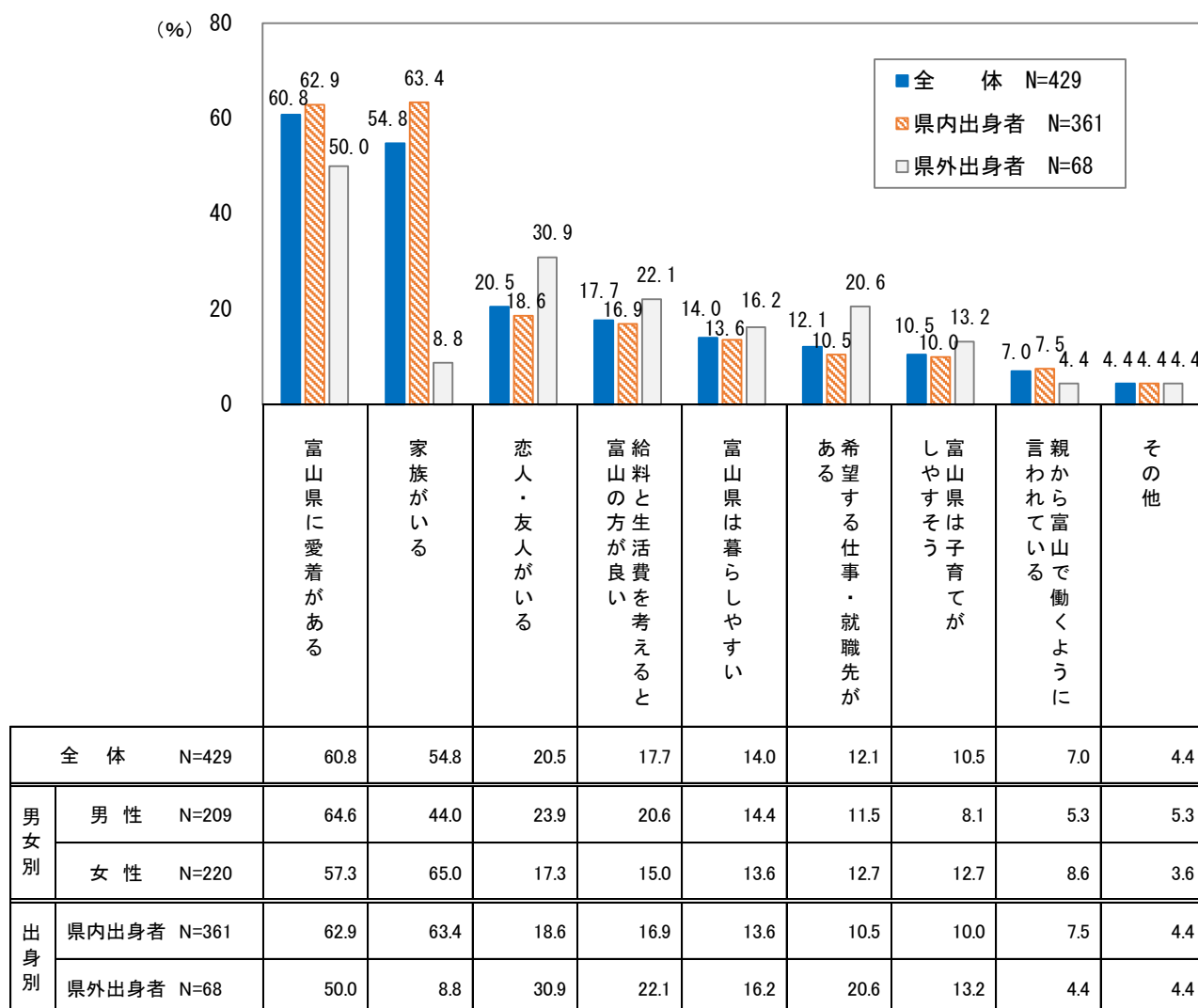
Q11. 富山県での就職を希望する理由は何ですか。

## 県内就職希望者の6割が「富山県に愛着がある」を理由としている

Q10 において、「絶対に富山県で就職したい」、「できるだけ富山県で就職したい」と回答した 429 人に県内就職を希望する理由を尋ねたところ、「富山県に愛着がある」が 60.8%、「家族がいる」が 54.8%、「恋人・友人がいる」が 20.5%、「給料と生活費を考えると富山の方が良い」が 17.7%、「富山県は暮らしやすい」が 14.0%となっている。

出身別にみると、県内出身者は「家族がいる」が 63.4%と最も多く、次いで「富山県に愛着がある」が 62.9%となっている。県外出身者は、「恋人・友人がいる」30.9%が「富山県に愛着がある」50.0%に次いで2番目に多くなっている。

図 1-11 県内就職を希望する理由 N=429 【複数回答】(該当するもの3つまで)



(12) 県外就職を希望する理由

Q12. 県外就職を希望する理由は何ですか。

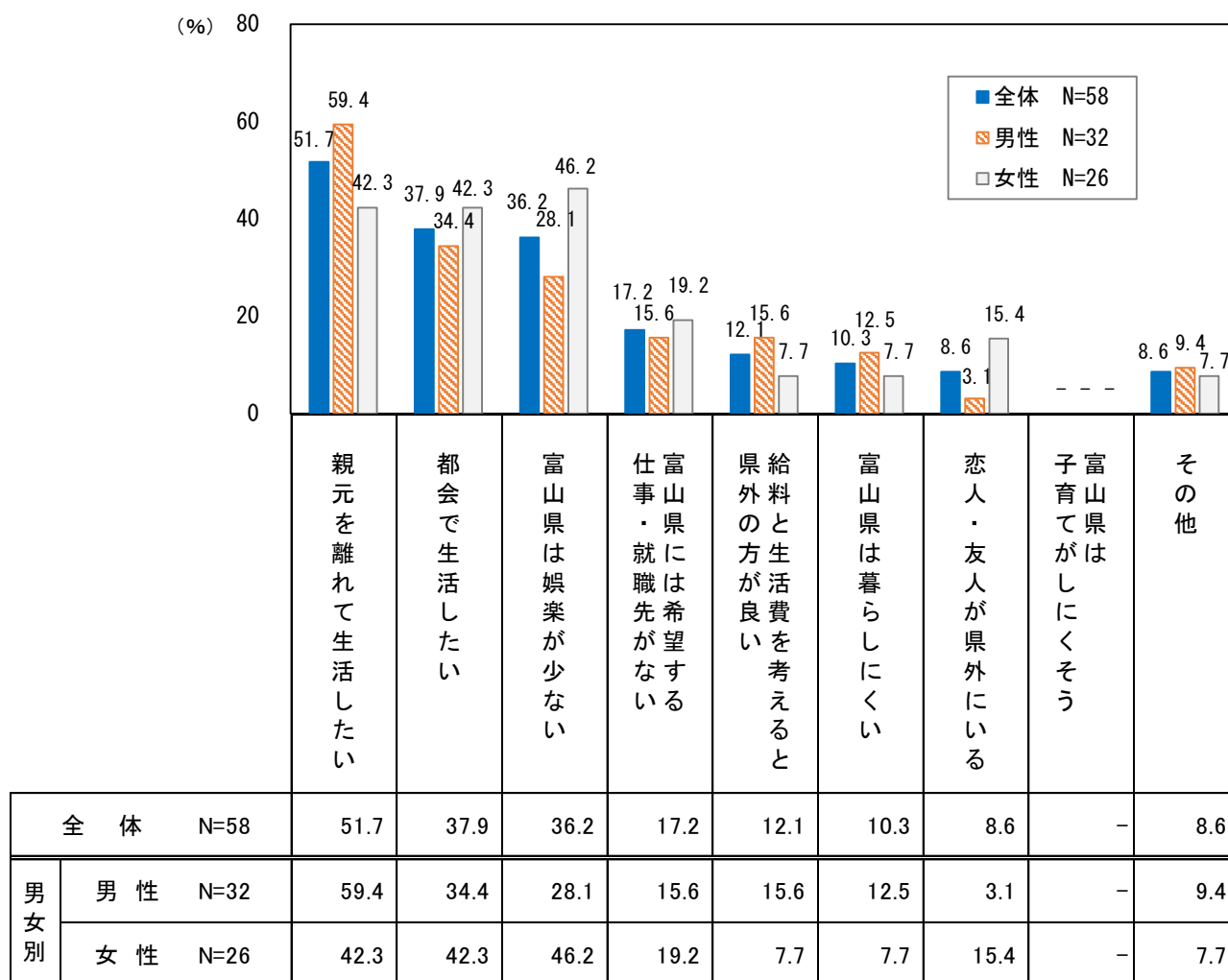
① 県内出身者

県外就職を希望する県内出身者の5割が「親元を離れて生活したい」と考えている

Q10 において、「できるだけ富山県外で就職したい」、「絶対に富山県外で就職したい」と回答した県内出身者 58 人に県外での就職を希望する理由を尋ねたところ、「親元を離れて生活したい」が 51.7%と最も多く、次いで「都会で生活したい」が 37.9%、「富山県は娯楽が少ない」が 36.2%となっている。

男女別にみると、男性は「親元を離れて生活したい」、「給料と生活費を考えると県外の方が良い」、「富山県は暮らしにくい」が女性に比べて多く、一方、女性は、「富山県は娯楽が少ない」、「都会で生活したい」、「富山県には希望する仕事・就職先がない」等が男性に比べて多くなっている。

図 1-12-1 県外就職を希望する理由(県内出身者) N=58 【複数回答】(該当するもの3つまで)



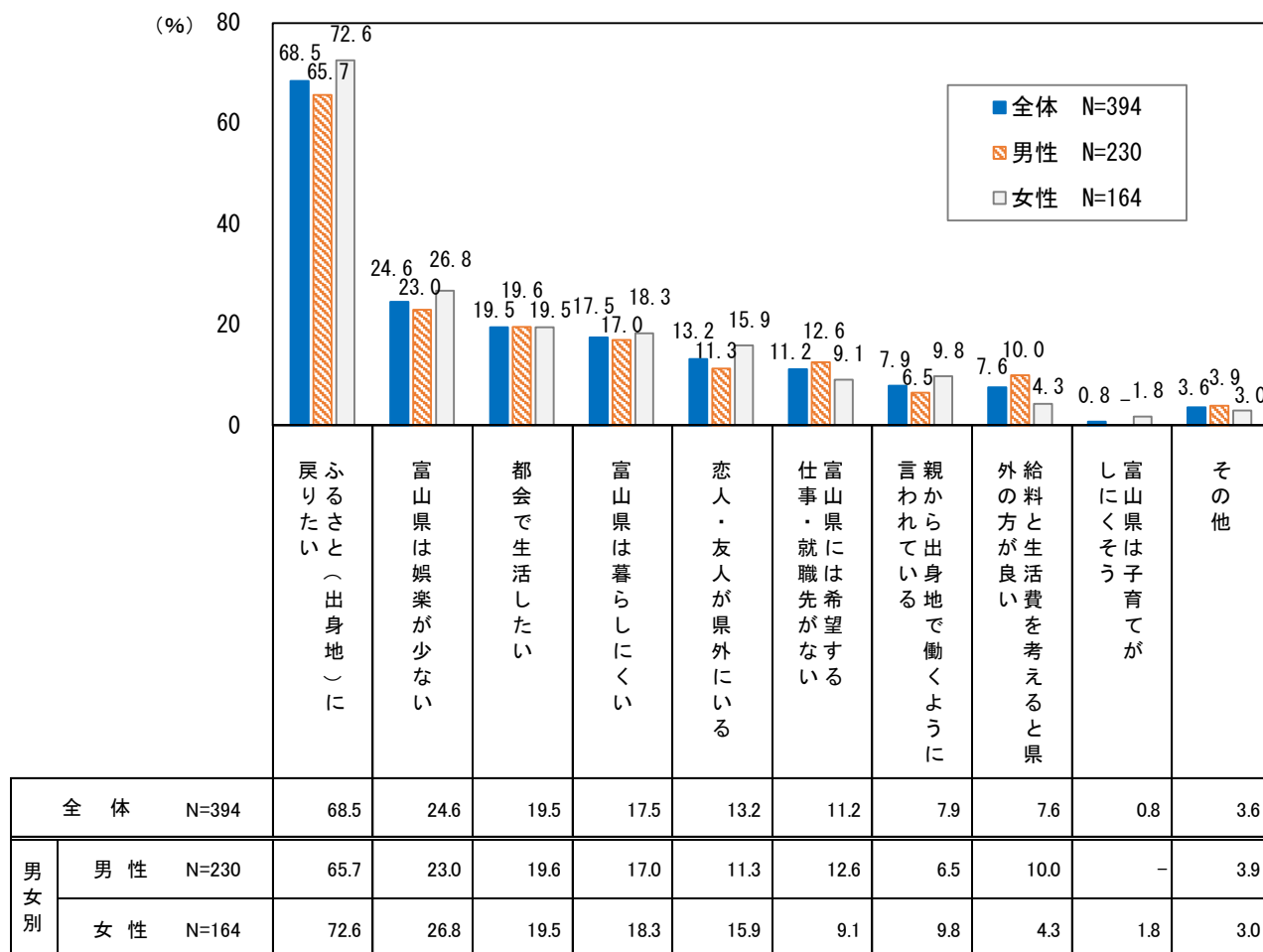
## ② 県外出身者

## 県外就職を希望する県外出身者の約7割が「ふるさと(出身地)に戻りたい」と考えている

Q10 において、「できるだけ富山県外で就職したい」、「絶対に富山県外で就職したい」と回答した県外出身者394人に県外就職を希望する理由を尋ねたところ、「ふるさと(出身地)に戻りたい」が68.5%と最も多く、次いで「富山県は娯楽が少ない」が24.6%、「都会で生活したい」が19.5%、「富山県は暮らしにくい」が17.5%、「恋人・友人が県外にいる」が13.2%となっている。

男女別にみると、男性は、「富山県には希望する仕事・就職先がない」、「給料と生活費を考えると県外の方が良い」が女性に比べて多く、一方、女性は、「ふるさと(出身地)に戻りたい」、「富山県は娯楽が少ない」、「恋人・友人が県外にいる」等が男性に比べて多くなっている。

図 1-12-2 県外就職を希望する理由(県外出身者) N=394 【複数回答】(該当するもの3つまで)



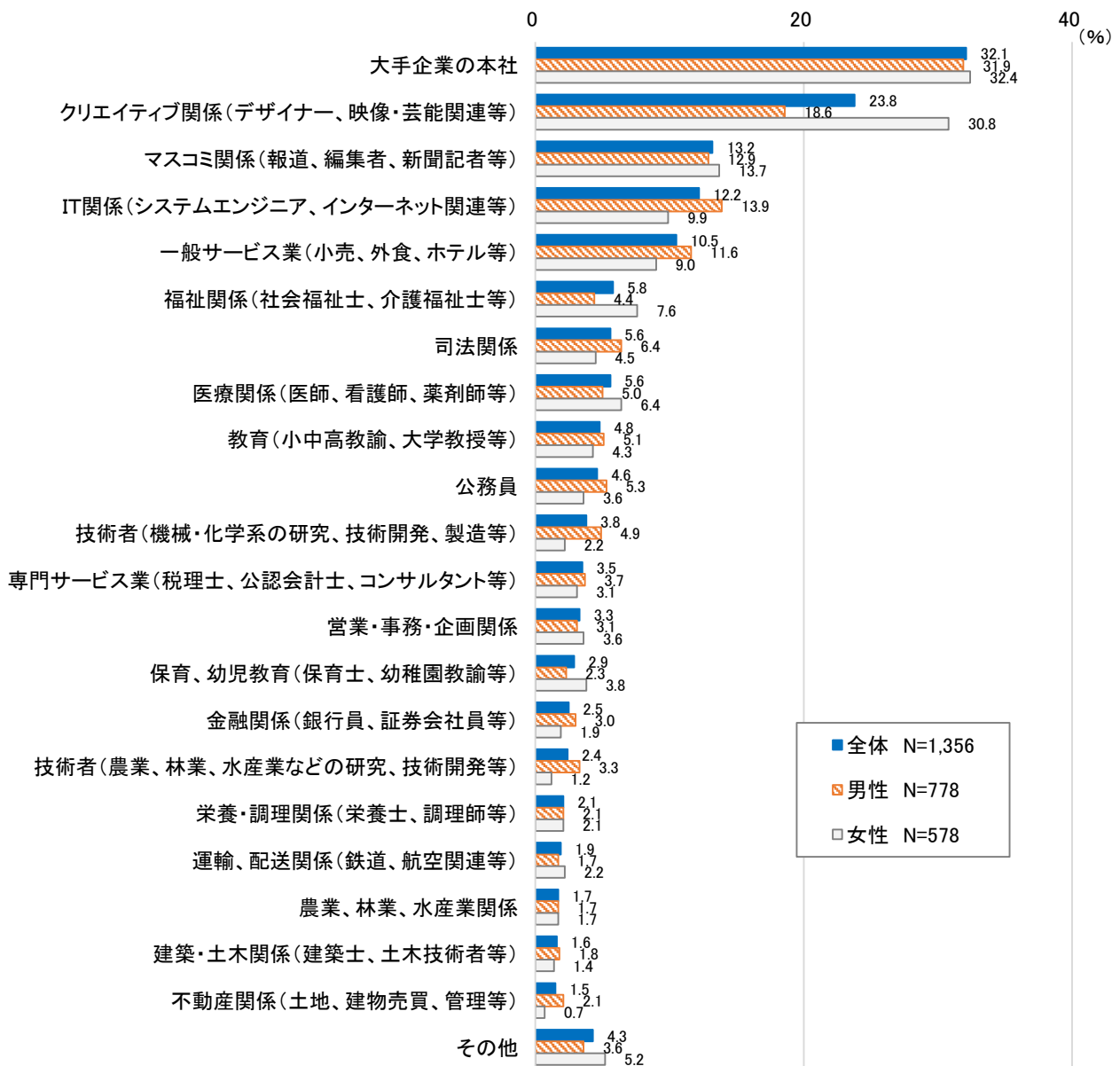
(13) 富山県に不足していると思う職場

Q13. 富山県にはどのような職場が不足していると思いますか。

富山県に不足していると思う職場は、「大手企業の本社」が3割と最も多い

富山県にはどのような職場が不足していると思うかを尋ねたところ、「大手企業の本社」が32.1%と最も多く、次いで「クリエイティブ関係(デザイナー、映像・芸能関連等)」が23.8%、「マスコミ関係(報道、編集者、新聞記者等)」が13.2%、「IT関係(システムエンジニア、インターネット関連等)」が12.2%、「一般サービス業(小売、外食、ホテル等)」が10.5%となっている。

図 1-13 富山県に不足していると思う職場 N=1,356 【複数回答】(該当するもの3つまで)



(14) 富山県がどのように変われば、富山県で就職したいと思うか(県外就職希望者)

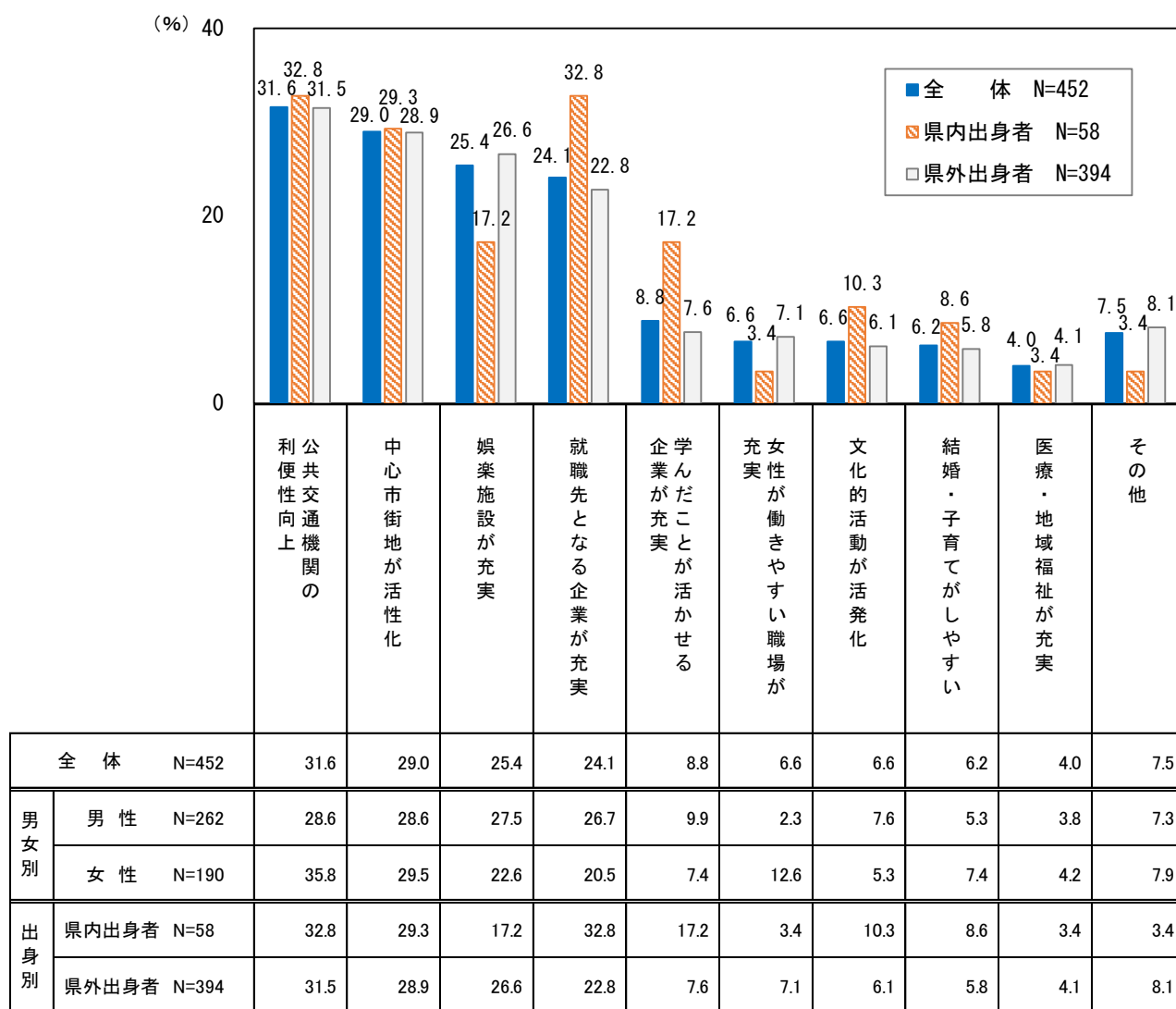
Q14. 富山県がどのように変われば、富山県で就職したいと思いますか。

富山県に求めるものは、「公共交通機関の利便性向上」が最も多い

Q10 において、「できるだけ富山県外で就職したい」、「絶対に富山県外で就職したい」と回答した 452 人に富山県がどのように変われば、富山県で就職したいと思うかを尋ねたところ、「公共交通機関の利便性向上」が 31.6%と最も多く、次いで「中心市街地が活性化」が 29.0%、「娯楽施設が充実」が 25.4%となっている。

出身別にみると、県内出身者は、「就職先となる企業が充実」が 32.8%と県外出身者に比べて 10.0 ポイント多くなっている。

図 1-14 富山県がどのように変われば、富山県で就職したいと思うか N=452 【複数回答】(該当するもの2つまで)



(15) 将来富山県に戻る意思

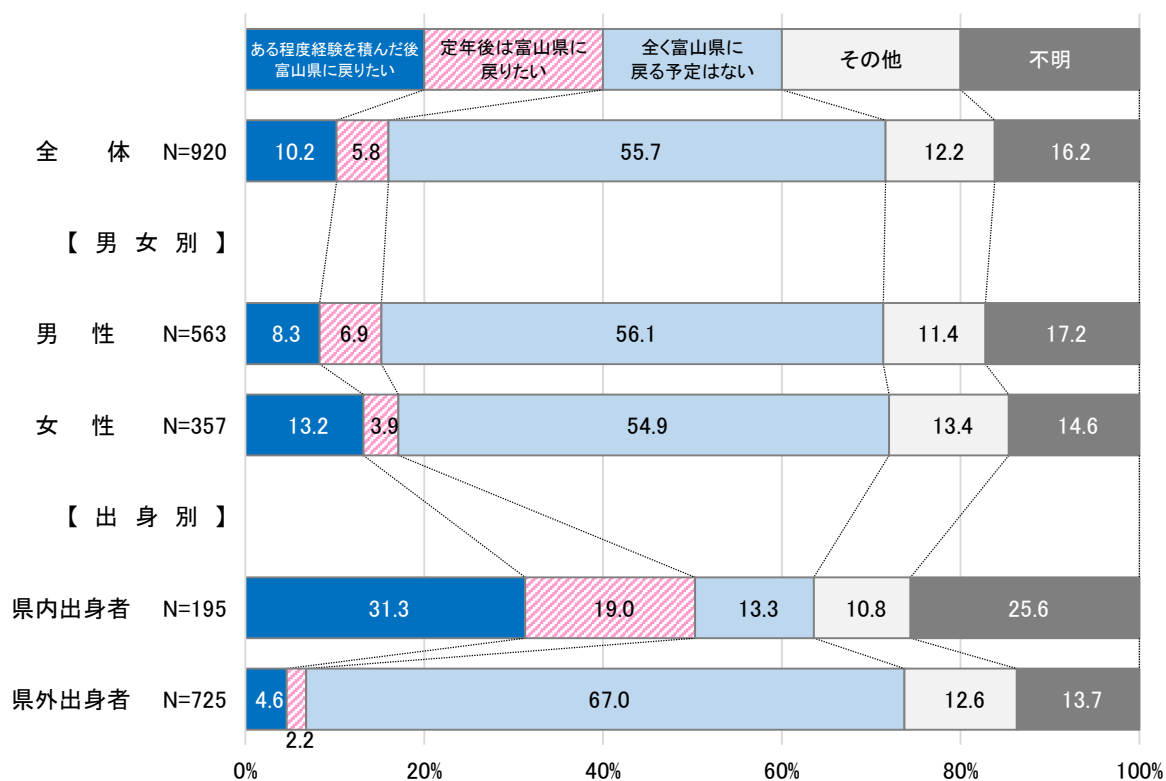
Q15. 将来的に富山県に戻る意思はありますか。

富山県での就職を希望していない県内出身者の5割は、将来富山県に戻りたいと考えている

Q10 において、「できるだけ富山県外で就職したい」、「絶対に富山県外で就職したい」、「就職地はこだわらない」と回答した920人に将来富山県に戻る意思があるかを尋ねたところ、「ある程度経験を積んだ後富山県に戻りたい」が10.2%、「定年後は富山県に戻りたい」が5.8%、「全く富山県に戻る予定はない」が55.7%となっている。

出身別にみると、県内出身者は、「ある程度経験を積んだ後富山県に戻りたい」が31.3%、「定年後は富山県に戻りたい」が19.0%となっており、5割が将来的に富山県へ戻りたいと考えている。一方で、県外出身者の67.0%は「全く富山県に戻る予定はない」としている。

図 1-15 将来富山県に戻る意思



(16)富山県にあればいいと思うもの(自由記述)

Q16. 富山県にあればいいと思うものを教えてください。

### 娯楽施設の設置や公共交通機関の利便性向上を望む意見が多く見られる

富山県にあればいいと思うものを尋ねたところ、娯楽施設に関連するものと公共交通機関に関連する意見・要望が多く見られた。

具体的には、遊園地・テーマパークやショッピングセンターがあればいいという意見や公共交通機関の利便性を向上してほしいという意見があった。

#### 主な意見・要望等

##### 【施設】

- ・娯楽施設
- ・アミューズメントパーク、テーマパーク、遊園地
- ・レジャー施設
- ・ショッピングセンター
- ・デパート
- ・洋服店
- ・スポーツセンター
- ・ライブ会場
- ・書店
- ・図書館
- ・駐車場

##### 【交通機関】

- ・公共交通機関の利便性の向上  
(交通網の発達、電車・バスの増便、低価格化、運行時間の延長)
- ・地下鉄

##### 【その他】

- ・駅、大学周辺の活性化
- ・TVのチャンネル数の増加
- ・プロ野球やプロサッカーチーム

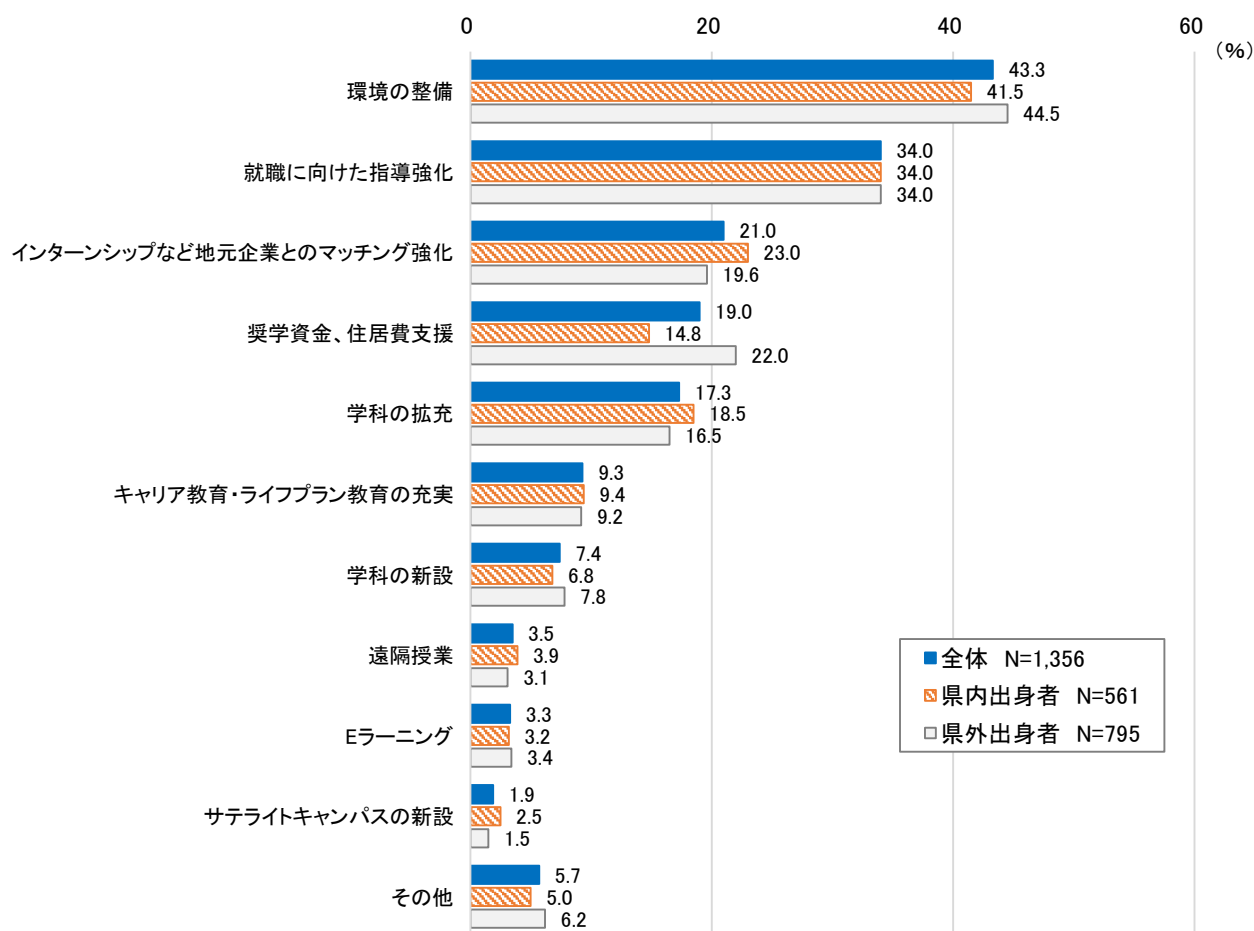
(17)現在通っている大学に期待すること

Q17. 現在通っている大学に期待することは何ですか。

全体の4割強が、現在通っている大学の「環境の整備」に期待している

現在通っている大学に期待することを尋ねたところ、「環境の整備」が43.3%と最も多く、次いで「就職に向けた指導強化」が34.0%、「インターンシップなど地元企業とのマッチング強化」が21.0%、「奨学資金、住居費支援」が19.0%、「学科の拡充」が17.3%となっている。

図 1-16 現在通っている大学に期待すること N=1,356 【複数回答】(該当するもの3つまで)



○具体的な内容(主なもの)

【環境の整備】

- ・食堂、売店の充実(メニュー、営業時間)
- ・大学周辺の活性化
- ・インターネット環境の整備
- ・古い校舎の整備
- ・駐車場の増設
- ・図書館の充実(蔵書、広さ、開館時間)
- ・空調設備

【学科の拡充・新設】

- ・法学部、文系学部などの設置



(18)大学コンソーシアム富山に期待すること

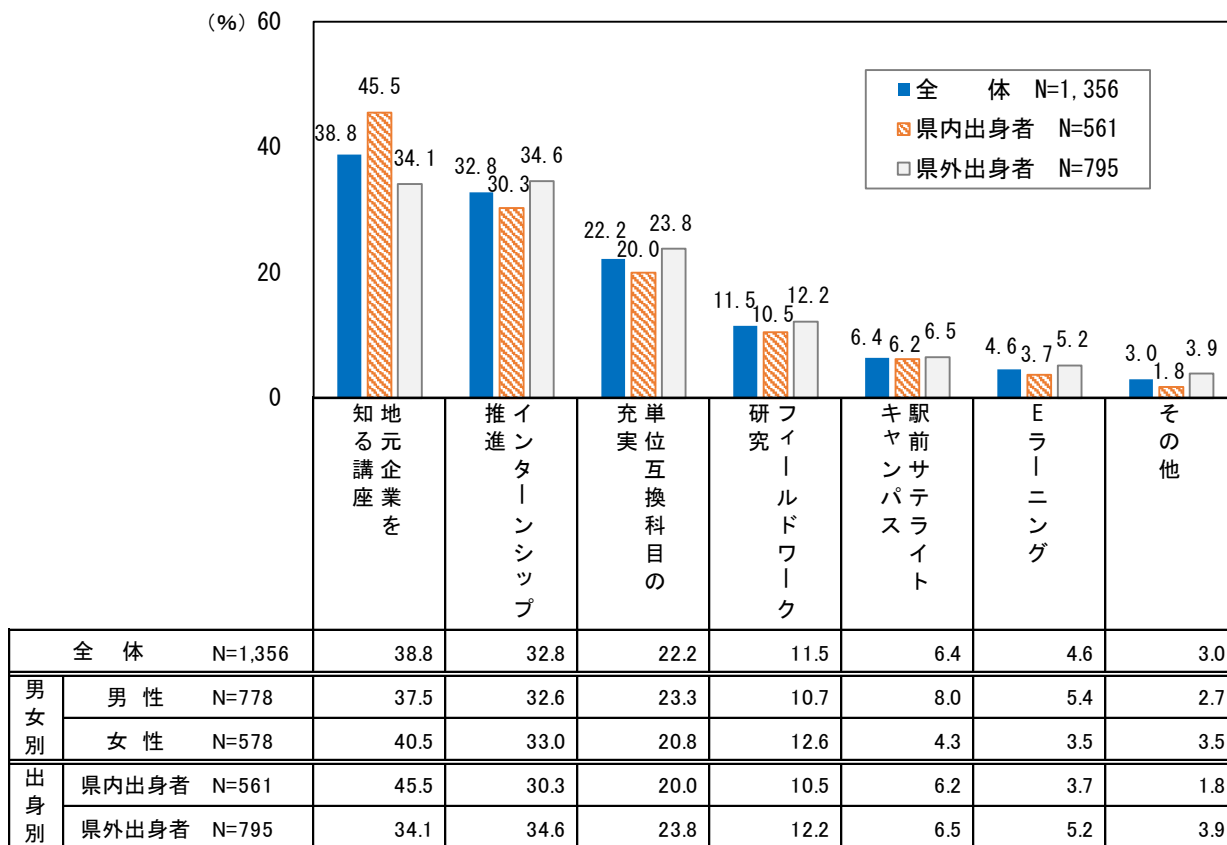
Q18. 県内7高等教育機関が連携する「大学コンソーシアム富山」は、平成 25 年 4 月の開設以来、各機関の知の資源を活かし、大学間の単位互換、リーダー研修などの教育に関する事業のほか、地域課題解決、産学官金ネットワーク会議開催などの地域貢献事業を行っています。今後、大学コンソーシアム富山に期待すること、充実してほしい事業などがあれば教えてください。

全体の約 4 割は、「地元企業を知る講座の充実」を大学コンソーシアム富山に望んでいる

大学コンソーシアム富山に期待すること、充実してほしい事業を尋ねたところ、「地元企業を知る講座」が 38.8%と最も多く、次いで「インターンシップ推進」が 32.8%、「単位互換科目の充実」が 22.2%となっている。

出身別にみると、県内出身者は、「地元企業を知る講座」が 45.5%と県外出身者に比べて 11.4 ポイント多くなっている。県外出身者は、「インターンシップ推進」が 34.6%と県内出身者に比べて 4.3 ポイント多くなっている。

図 1-17 大学コンソーシアム富山に期待すること N=1,356 【複数回答】(該当するものすべて)



- 具体的な内容 (主なもの)
- ・他大学の学生との交流を深めたい
  - ・地元企業をもっと知りたい
  - ・単位互換科目が増えれば学ぶ意識も向上する
  - ・もっと広報活動に力を入れるべき

## 2.県外進学者

(上段:人、下段:%)

		専攻分野											合計	
		人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	芸術	その他		不明
性別	男性	30	109	19	108	9	9	5	-	16	4	43	5	357
		8.4	30.5	5.3	30.3	2.5	2.5	1.4	-	4.5	1.1	12.0	1.4	100.0
	女性	104	87	12	15	5	33	8	32	62	24	104	5	491
		21.2	17.7	2.4	3.1	1.0	6.7	1.6	6.5	12.6	4.9	21.2	1.0	100.0
進 学 先	石川県	19	41	9	48	-	15	6	1	9	2	35	4	189
		10.1	21.7	4.8	25.4	-	7.9	3.2	0.5	4.8	1.1	18.5	2.1	100.0
	福井県	-	1	-	8	-	1	-	-	-	-	4	1	15
		-	6.7	-	53.3	-	6.7	-	-	-	-	26.7	6.7	100.0
	新潟県	1	1	2	10	3	3	-	-	14	4	7	-	45
		2.2	2.2	4.4	22.2	6.7	6.7	-	-	31.1	8.9	15.6	-	100.0
	東京都	39	51	7	16	3	5	1	9	16	6	29	-	182
		21.4	28.0	3.8	8.8	1.6	2.7	0.5	4.9	8.8	3.3	15.9	-	100.0
その他首都圏	18	24	4	15	5	4	-	1	9	7	24	1	112	
	16.1	21.4	3.6	13.4	4.5	3.6	-	0.9	8.0	6.3	21.4	0.9	100.0	
中部地域	12	32	-	8	1	4	1	13	11	2	22	2	108	
	11.1	29.6	-	7.4	0.9	3.7	0.9	12.0	10.2	1.9	20.4	1.9	100.0	
京阪神	36	34	3	8	-	4	4	6	10	5	14	1	125	
	28.8	27.2	2.4	6.4	-	3.2	3.2	4.8	8.0	4.0	11.2	0.8	100.0	
その他	9	12	6	10	2	6	1	2	9	2	12	1	72	
	12.5	16.7	8.3	13.9	2.8	8.3	1.4	2.8	12.5	2.8	16.7	1.4	100.0	
全体	134	196	31	123	14	42	13	32	78	28	147	10	848	
	15.8	23.1	3.7	14.5	1.7	5.0	1.5	3.8	9.2	3.3	17.3	1.2	100.0	

## (1) 県外に進学した理由

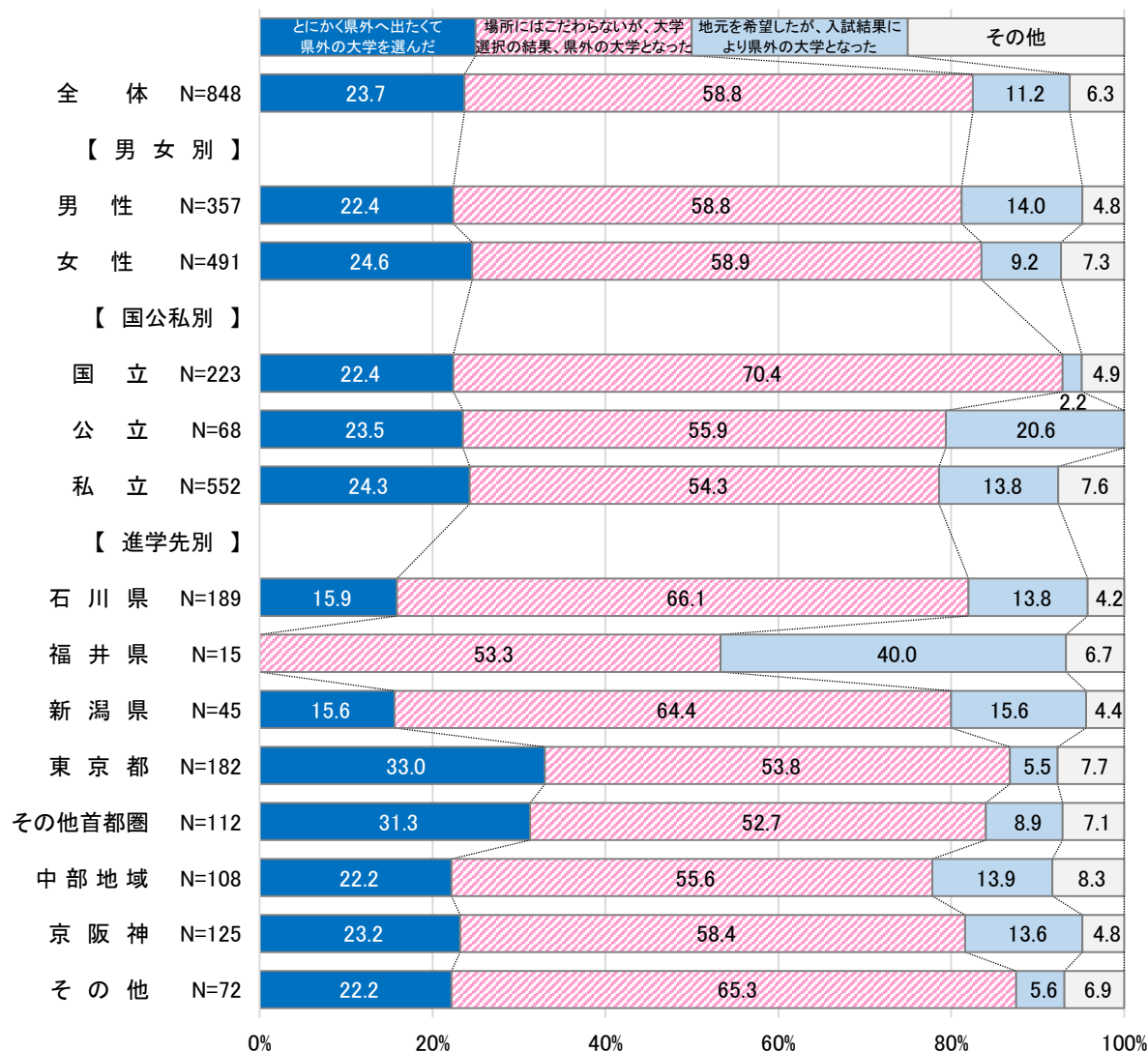
Q1. 【場所】県外に進学した理由は何ですか。

全体の約6割は、場所にはこだわらなかったが、大学選択の結果、県外の大学へ進学している

県外に進学した理由を尋ねたところ、「とにかく県外へ出たくて県外の大学を選んだ」が23.7%、「場所にはこだわらないが、大学選択の結果、県外の大学となった」が58.8%、「地元を希望したが、入試結果により県外の大学となった」が11.2%となっている。

進学先別にみると、東京都は、「とにかく県外へ出たくて県外の大学を選んだ」が33.0%と他の地域と比べて最も多くなっている。

図 2-1 富山県外に進学した理由



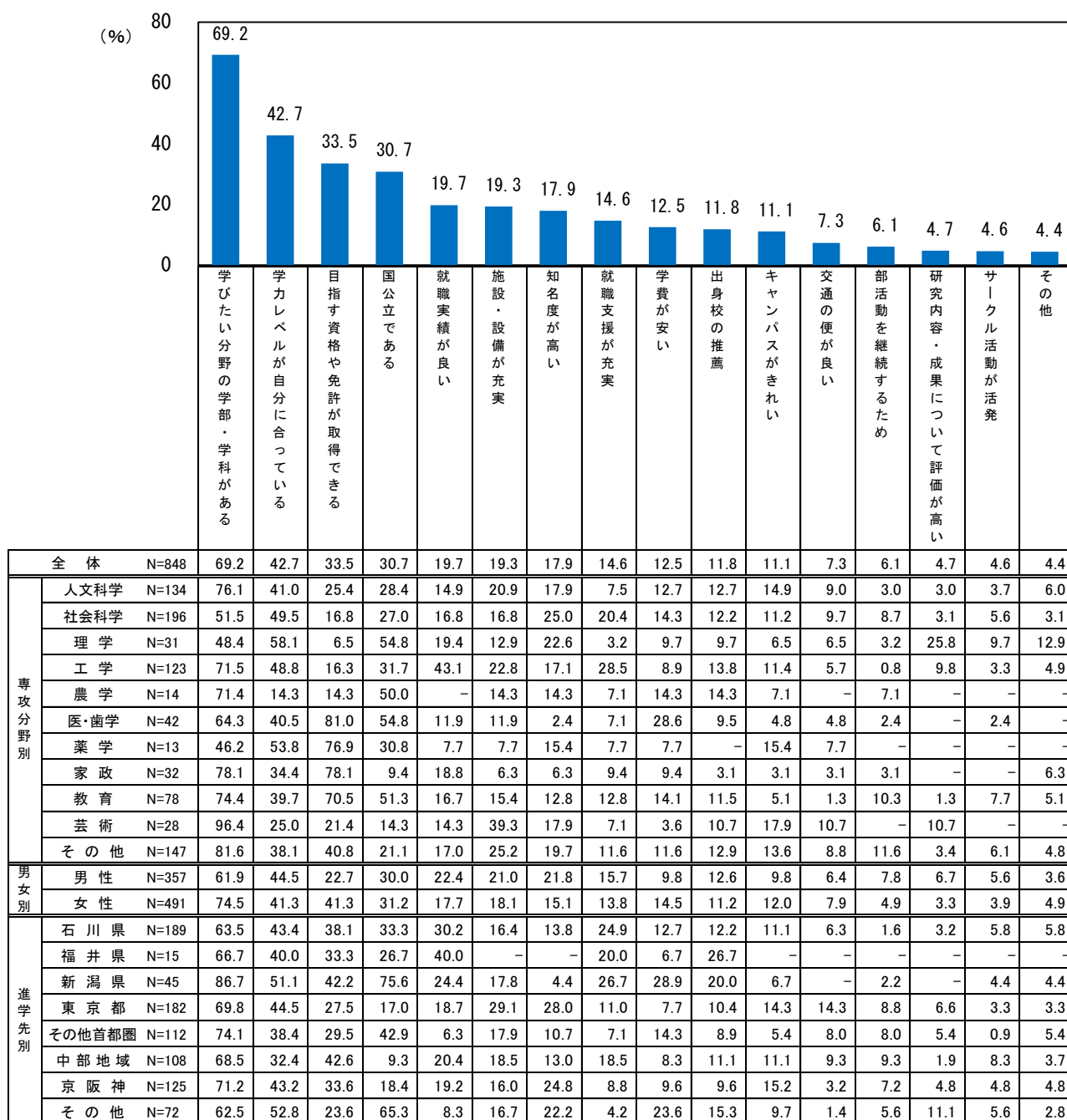
(2)現在の大学を選択した理由

Q2. 【大学】現在の大学を選んだ理由は何ですか。

全体の約7割は、学びたい分野の学部・学科があることを理由に現在の大学を選んでいる

現在の大学を選択した理由を尋ねたところ、「学びたい分野の学部・学科がある」が69.2%と最も多く、次いで「学力レベルが自分に合っている」が42.7%、「目指す資格や免許が取得できる」が33.5%、「国公立である」が30.7%、「就職実績が良い」が19.7%となっている。

図 2-2 現在の大学を選択した理由 N=848 【複数回答】(該当するものすべて)



## (3) 県外に出たかった理由

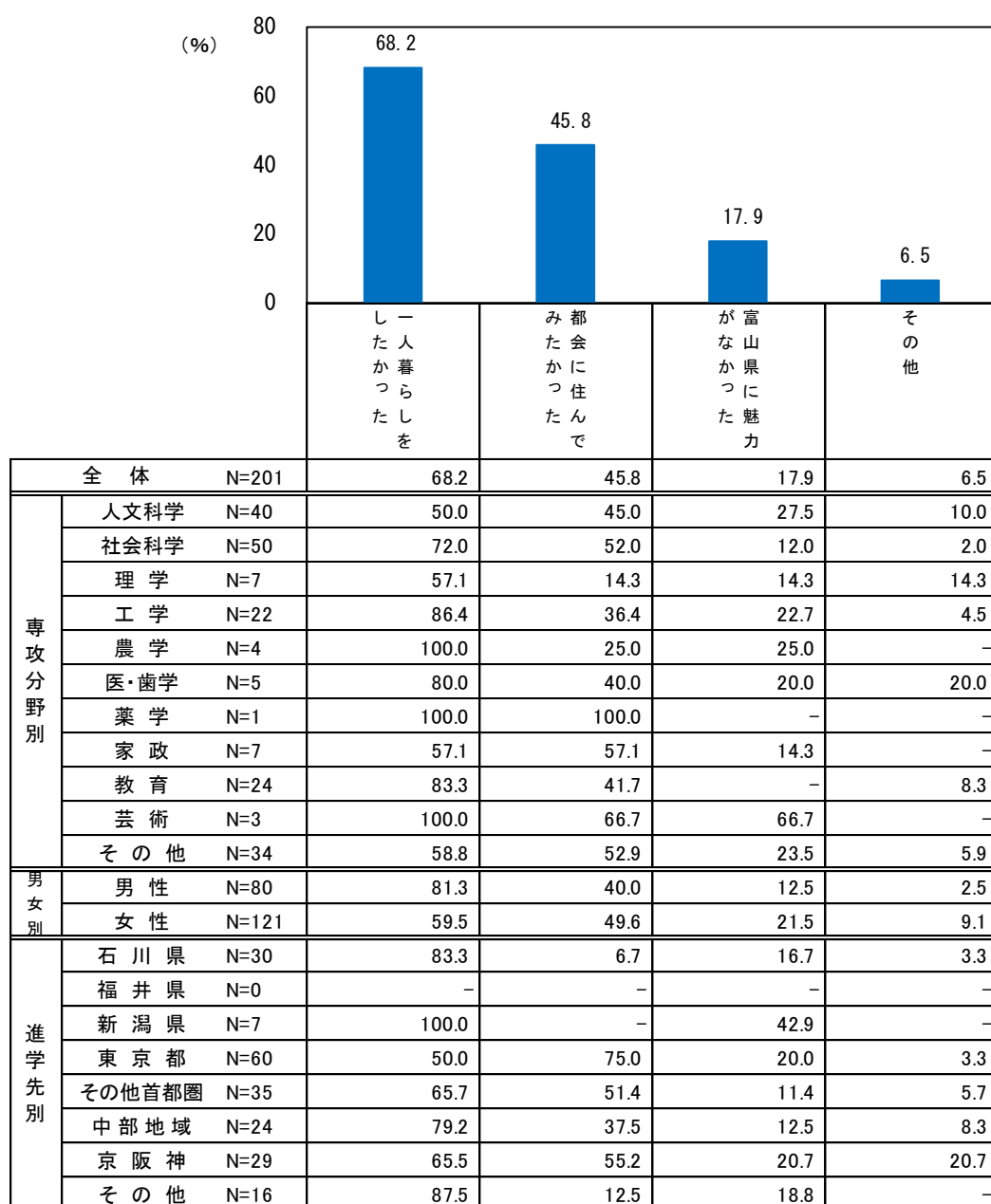
Q3. 「とにかく県外へ出たくて県外の大学を選んだ」理由は何ですか。

県外に出たかった理由は、「一人暮らしをしたかった」が約7割と最も多い

Q1 において、「とにかく県外へ出たくて県外の大学を選んだ」と回答した 201 人にその理由を尋ねたところ、「一人暮らしをしたかった」が 68.2%と最も多く、次いで「都会に住んでみたかった」が 45.8%、「富山県に魅力がなかった」が 17.9%となっている。

男女別にみると、男性は、「一人暮らしをしたかった」が 81.3%と女性に比べて 21.8 ポイント多くなっている。

図 2-3 県外に出たかった理由 N=201 【複数回答】(該当するものすべて)



(4)どのような条件が整えば富山県の大学に進学したか

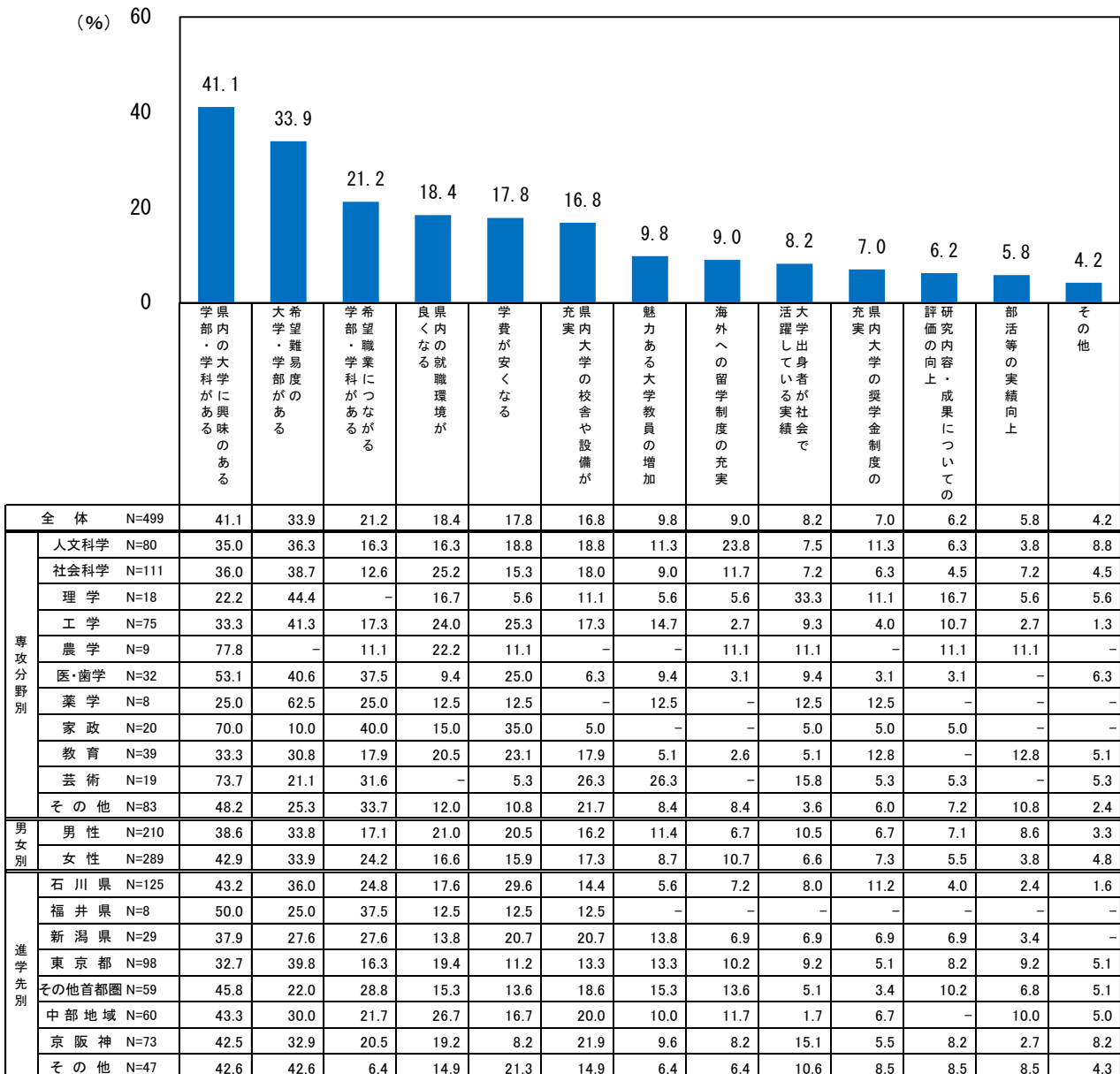
(場所にはこだわらないが、大学選択の結果、県外大学となったと回答した人)

Q4. どのような条件が整えば富山県の大学に進学しましたか。

場所にこだわらなかった学生の4割は、興味のある学部・学科があれば富山県の大学に進学した

Q1において、「場所にはこだわらないが、大学選択の結果、県外の大学となった」と回答した499人にどのような条件が整えば富山県の大学に進学したかを尋ねたところ、「県内の大学に興味のある学部・学科がある」が41.1%と最も多く、次いで「希望難易度の大学・学部がある」が33.9%、「希望職業につながる学部・学科がある」が21.2%、「県内の就職環境が良くなる」が18.4%、「学費が安くなる」が17.8%となっている。

図 2-4 どのような条件が整えば富山県の大学に進学したか N=499 【複数回答】(該当するもの3つまで)



## (5) 大学選択の際に参考にした意見

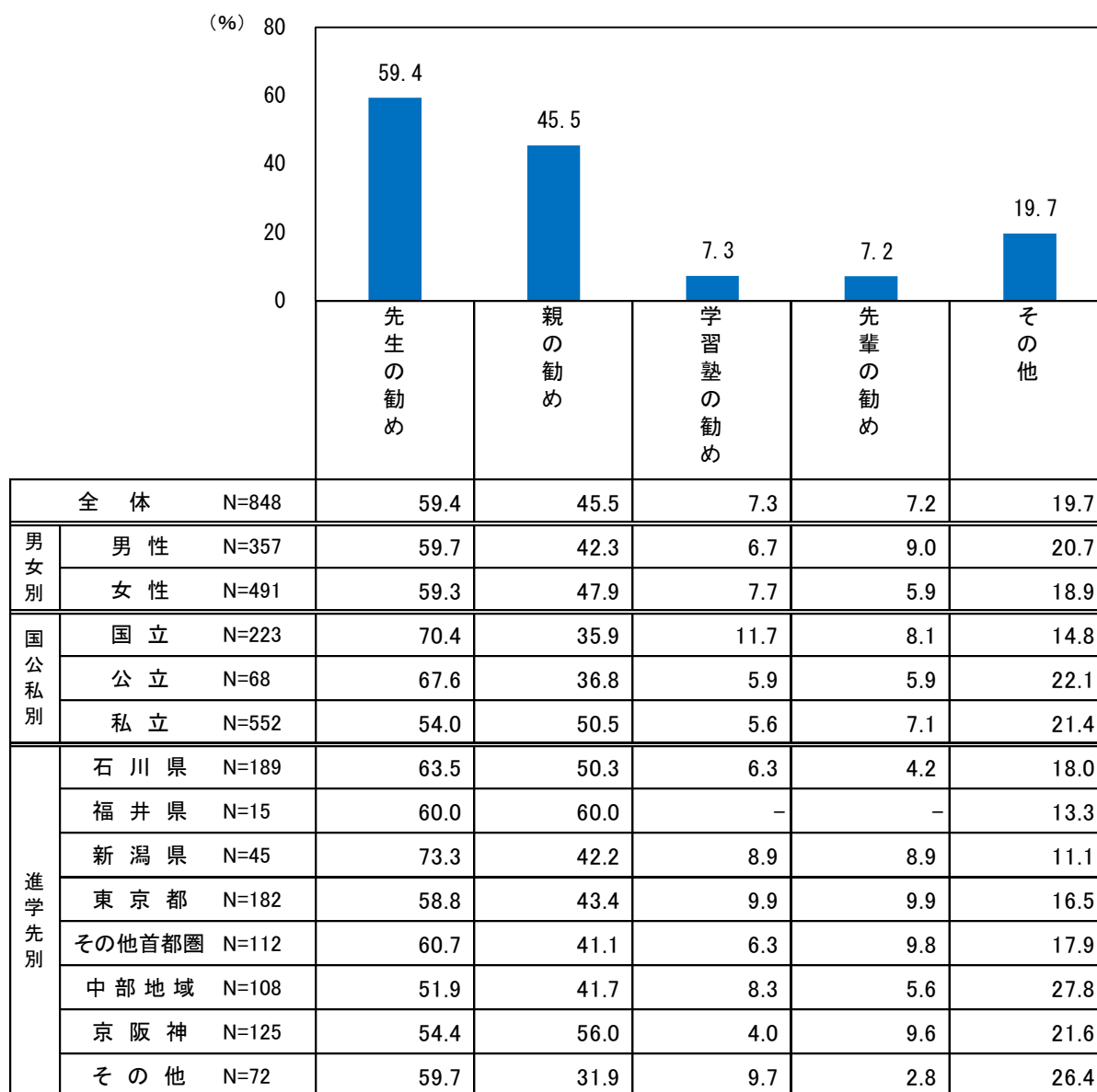
Q5. 大学を選ぶ際、誰の意見を参考にしましたか。

## 大学選択の際に参考にした意見は、「先生の勧め」が約6割と最も多い

大学選択の際に参考にした意見を尋ねたところ、「先生の勧め」が59.4%と最も多く、次いで「親の勧め」が45.5%、「学習塾の勧め」が7.3%となっている。「その他」としては、「誰の意見も参考にしなかった」、「自分自身で決めた」等の回答が多く見受けられた。

国公立別にみると、「先生の勧め」が国公立は6割以上、私立は5割と最も多く、私立では次いで「親の勧め」が50.5%と国公立に比べ多くなっている。

図 2-5 大学選択の際に参考にした意見 N=848 【複数回答】(該当するものすべて)



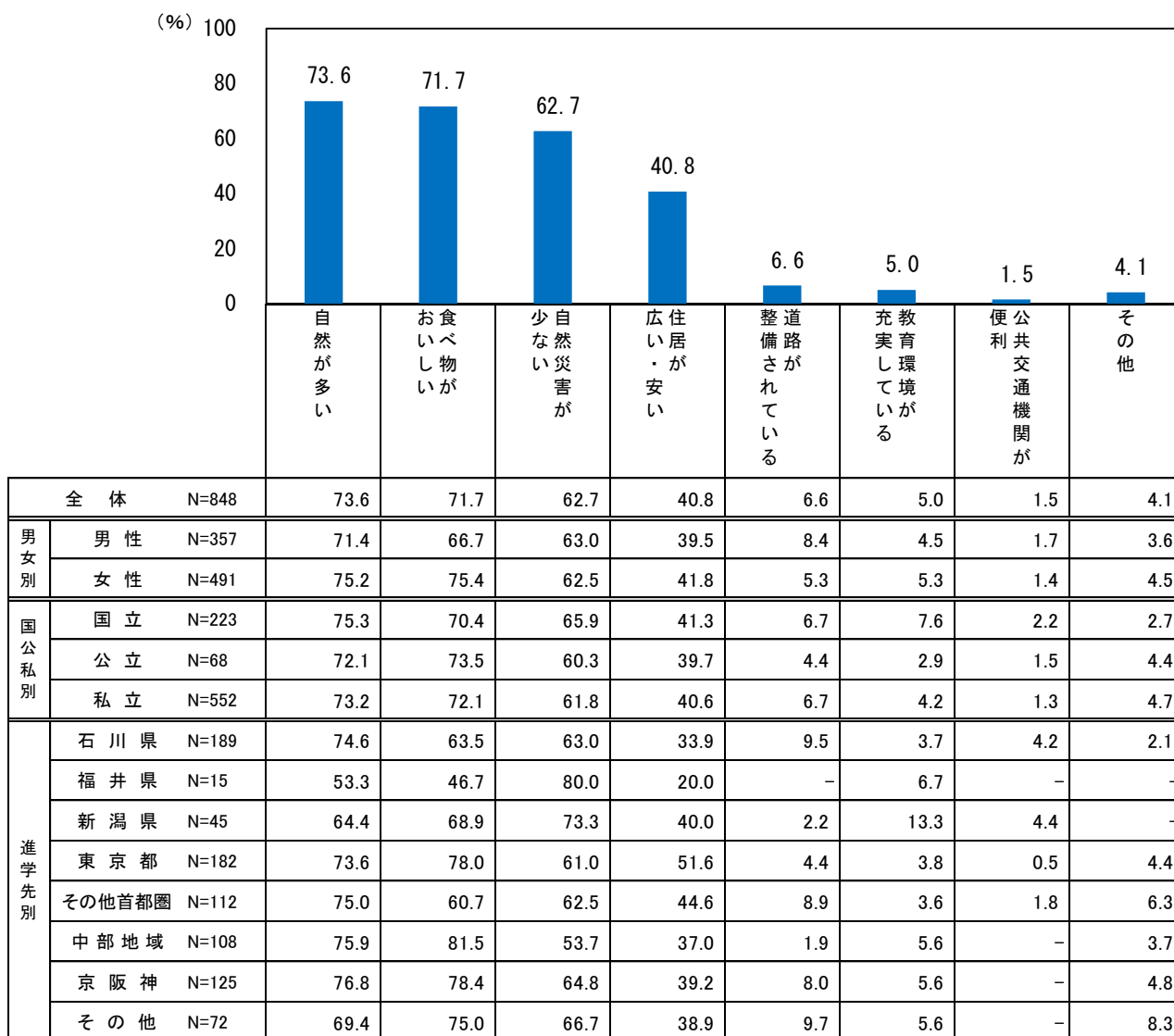
(6)富山県の評価(いいところ)

Q6. 富山県のいいところは何ですか。

富山県の長所は、「自然が多い」、「食べ物おいしい」が7割となっている

富山県のいいところを尋ねたところ、「自然が多い」が73.6%と最も多く、次いで「食べ物おいしい」が71.7%、「自然災害が少ない」が62.7%となっている。

図 2-6 富山県のいいところ N=848 【複数回答】(該当するもの3つまで)





## (7) 富山県の評価(暮らしで不便な点)

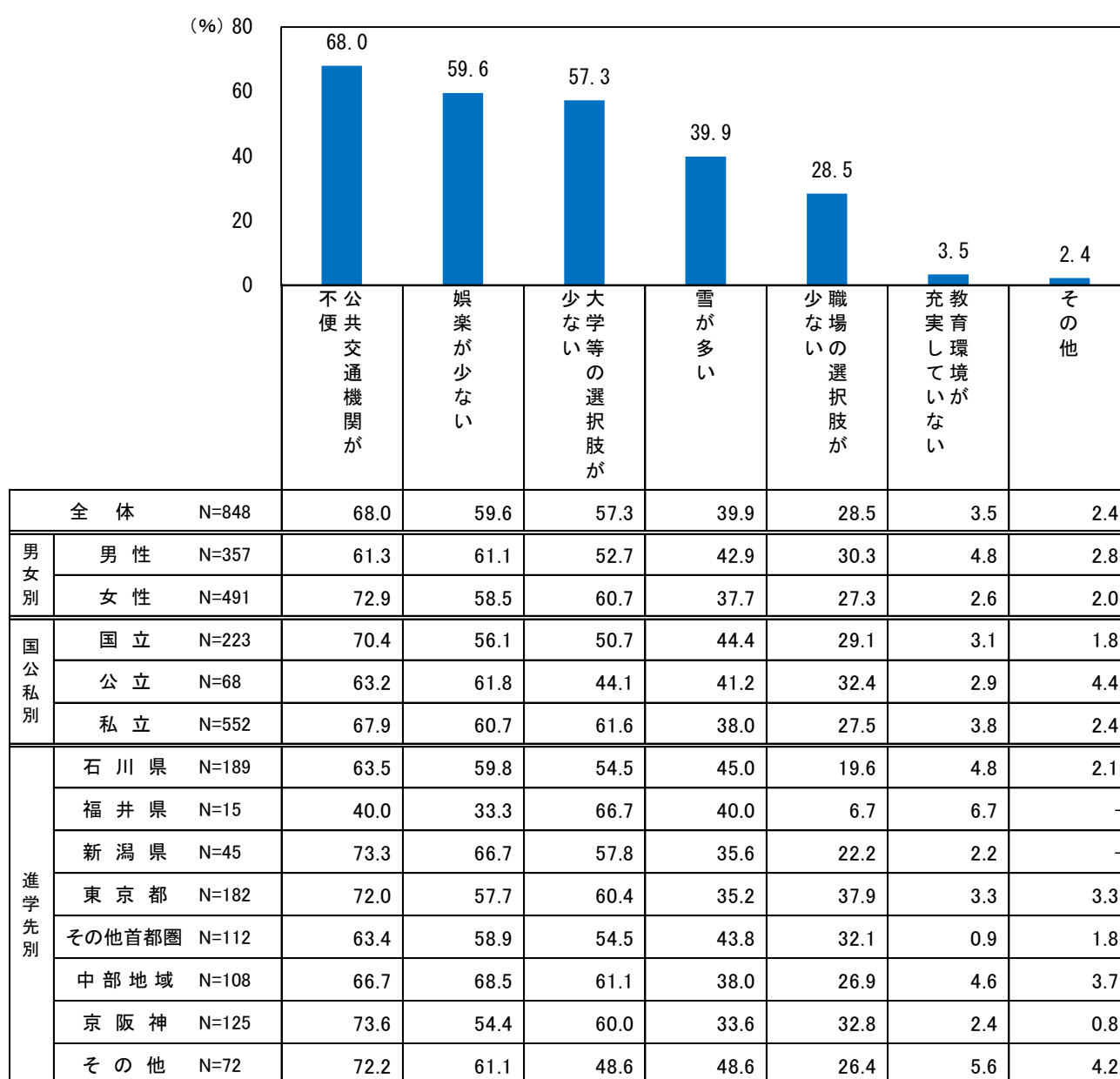
Q7. 富山県での暮らしで不便な点は何ですか。

富山県での暮らしで不便な点は、「公共交通機関が不便」が約7割と最も多い

富山県での暮らしで不便な点を尋ねたところ、「公共交通機関が不便」が68.0%と最も多く、次いで「娯楽が少ない」が59.6%、「大学等の選択肢が少ない」が57.3%となっている。

男女別にみると、女性は、「公共交通機関が不便」が72.9%と男性に比べて11.6ポイント多くなっている。

図 2-7 富山県の暮らしで不便な点 N=848 【複数回答】(該当するもの3つまで)



(8) 希望する働き方

Q8. 働き方に関するAとBの意見のうち、あなた自身の意見に近いのはどちらですか。

①雇用形態の希望

A：正社員にこだわりたい

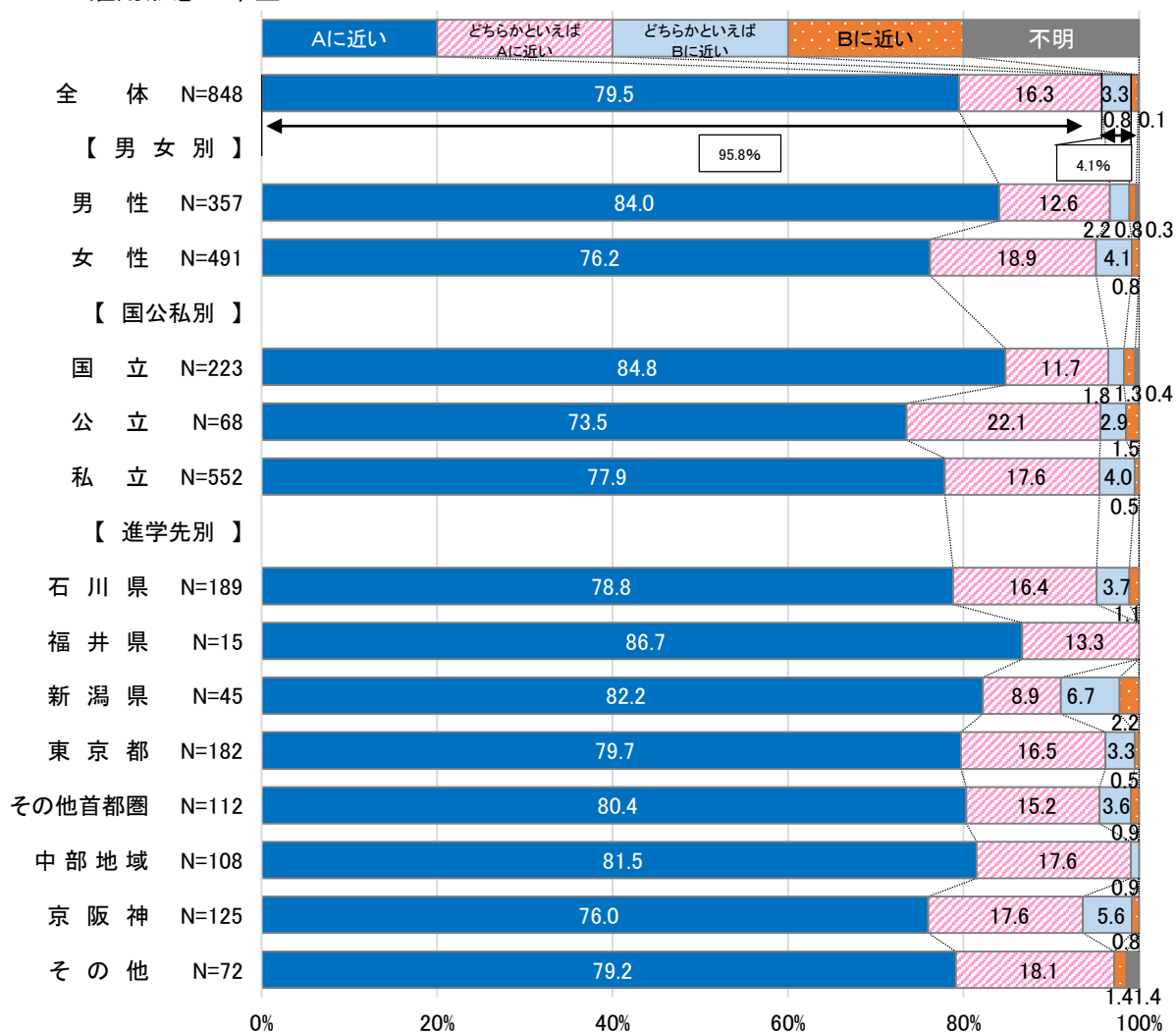
B：正社員にこだわらず、非正規やフリーターでもよい

全体の9割強は「正社員にこだわりたい」という考え方に近い

雇用形態について、「A:正社員にこだわりたい」、「B:正社員にこだわらず、非正規やフリーターでもよい」のどちらの意見に近いかを尋ねたところ、「Aに近い」が79.5%、「どちらかといえばAに近い」が16.3%となっており、合わせて95.8%となっている。

国公私別にみると、国立は、「Aに近い」が84.8%と他に比べて多くなっている。

図 2-8-1 雇用形態の希望



## ② 転職に対する考え方

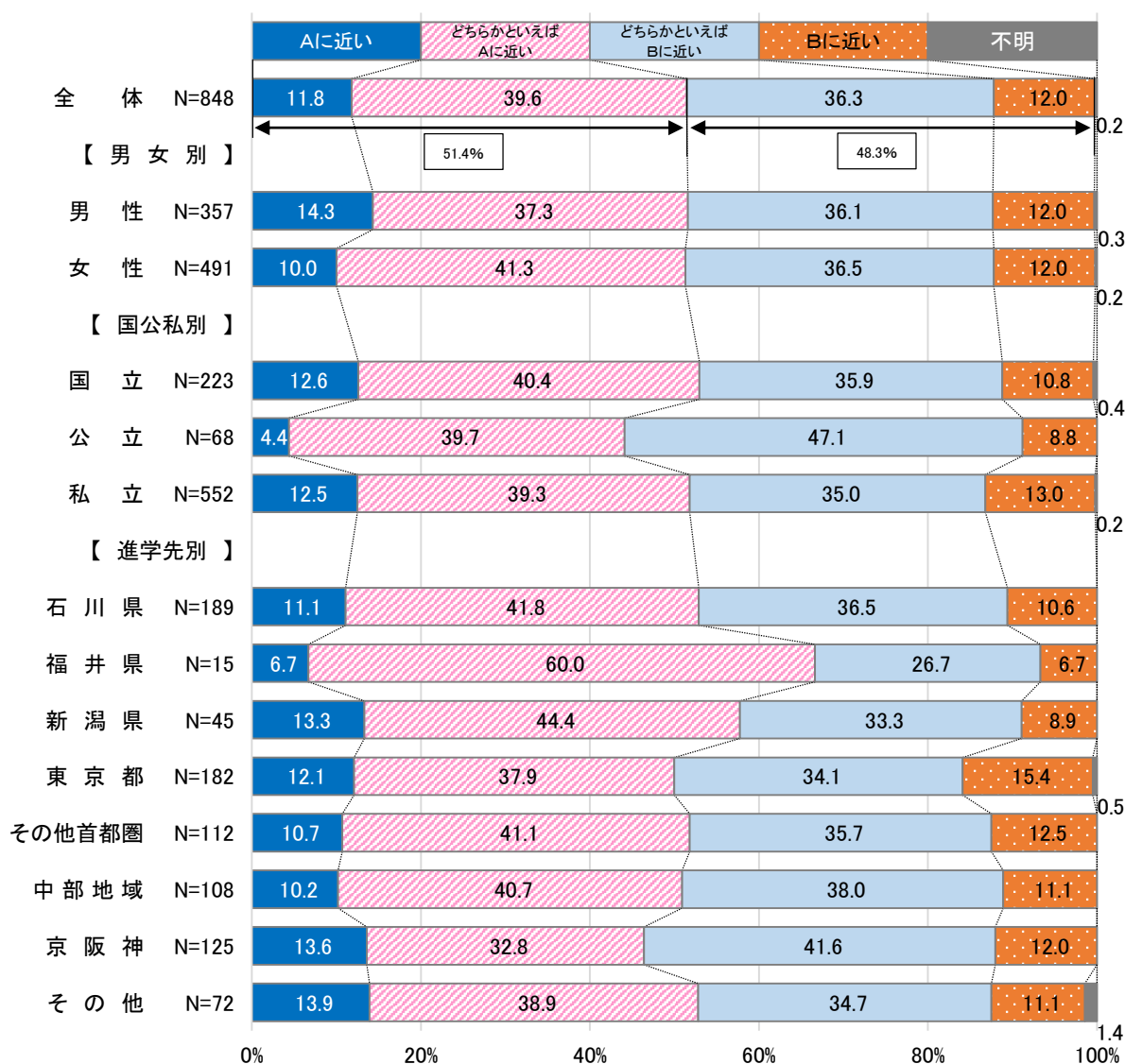
A：自分に向かないと思っても、一つの会社で働き続けたい

B：自分に向かないと思ったら、転職するつもりだ

全体の5割が「自分に向かないと思っても、一つの会社で働き続けたい」という考え方に近い

転職に対する考え方について、「A:自分に向かないと思っても、一つの会社で働き続けたい」、「B:自分に向かないと思ったら、転職するつもりだ」のどちらの意見に近いかを尋ねたところ、「どちらかといえばAに近い」「Aに近い」の計が51.4%、「どちらかといえばBに近い」「Bに近い」の計が48.3%となっている。

図 2-8-2 転職に対する考え方



### ③収入と余暇のバランス

A：余暇を犠牲にしても、経済的に豊かな生活をしたい

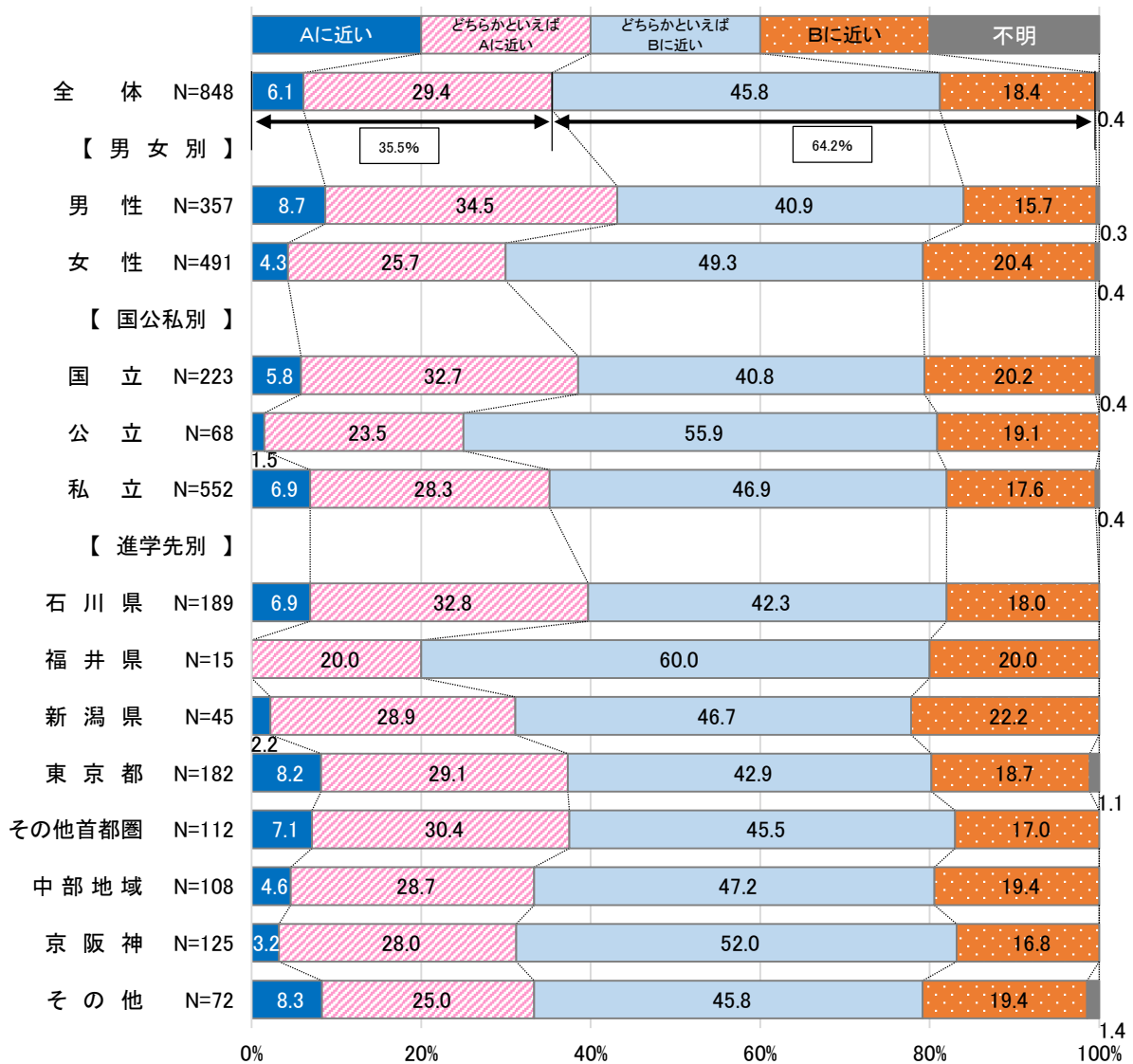
B：ほどほどの収入でも余暇を楽しむ生活をしたい

女性の約7割は、「ほどほどの収入でも余暇を楽しむ生活をしたい」という考え方に近い

収入と余暇のバランスについて、「A:余暇を犠牲にしても、経済的に豊かな生活をしたい」、「B:ほどほどの収入でも余暇を楽しむ生活をしたい」のどちらの意見に近いかを尋ねたところ、「Aに近い」が6.1%、「どちらかといえばAに近い」が29.4%、「どちらかといえばBに近い」が45.8%、「Bに近い」が18.4%となっている。

男女別にみると、女性は、「どちらかといえばBに近い」「Bに近い」の計が69.7%と男性に比べて13.1ポイント多くなっている。

図 2-8-3 収入と余暇のバランス



④仕事と家庭・趣味のバランス

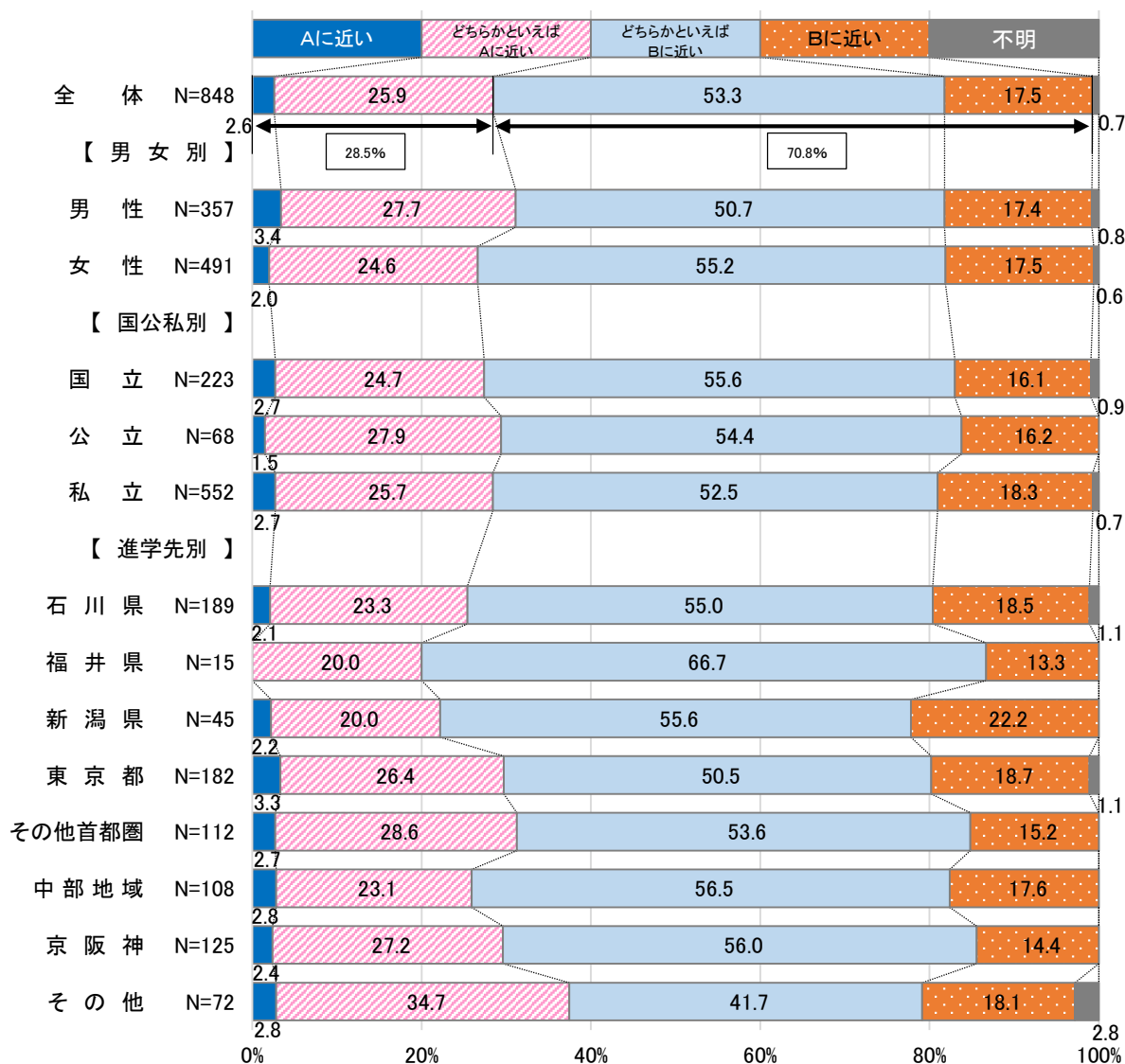
- A : 家庭や趣味よりも、仕事を優先に生活したい
- B : 仕事よりも、家庭や趣味を優先した生活をしたい

全体の7割は、「仕事よりも、家庭や趣味を優先した生活をしたい」という考え方に近い

仕事と家庭・趣味のバランスについて、「A:家庭や趣味よりも、仕事を優先に生活したい」、「B:仕事よりも、家庭や趣味を優先した生活をしたい」のどちらの意見に近いかを尋ねたところ、「どちらかといえばBに近い」が53.3%、「Bに近い」が17.5%となっており、合わせて70.8%となっている。

男女別にみると、男性は、「どちらかといえばAに近い」「Aに近い」の計が31.1%と女性に比べて4.5ポイント多くなっている。

図 2-8-4 仕事と家庭・趣味のバランス



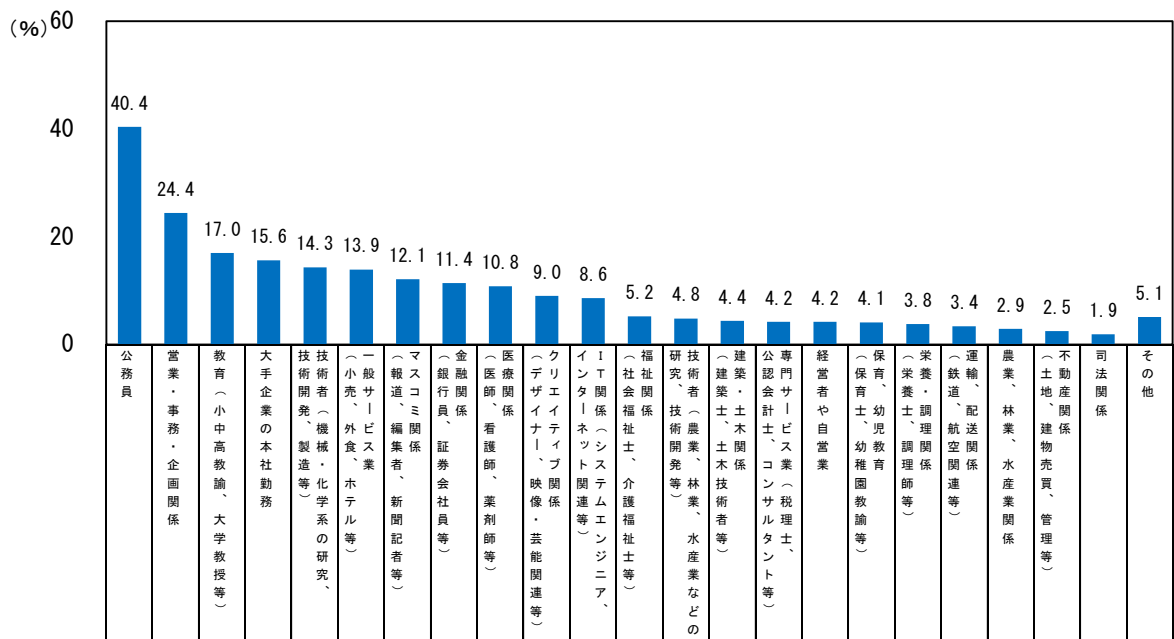
(9) 卒業後に就きたい仕事(職業・職種)

Q9. 希望する職業・職種を選んでください。

希望する職業・職種は、「公務員」が4割と最も多い

希望する職業・職種を尋ねたところ、「公務員」が40.4%と最も多く、次いで「営業・事務・企画関係」が24.4%、「教育(小中高教諭、大学教授等)」が17.0%、「大手企業の本社勤務」が15.6%、「技術者(機械・化学系の研究、技術開発、製造等)」が14.3%となっている。

図 2-9 卒業後に就きたい仕事(職業・職種) N=848 【複数回答】(該当するものすべて)



		全体 N=848	40.4	24.4	17.0	15.6	14.3	13.9	12.1	11.4	10.8	9.0	8.6	5.2	4.8	4.4	4.2	4.2	4.1	3.8	3.4	2.9	2.5	1.9	5.1
専攻分野別	人文科学 N=134	49.3	38.1	21.6	17.9	1.5	34.3	22.4	12.7	1.5	9.7	3.7	3.0	0.7	-	2.2	6.0	2.2	2.2	6.7	2.2	1.5	2.2	7.5	
	社会科学 N=196	46.9	44.4	5.6	22.4	2.0	15.8	17.9	26.5	-	5.1	2.6	4.1	-	-	13.3	6.6	1.0	-	5.6	2.6	6.1	6.6	3.6	
	理学 N=31	48.4	9.7	29.0	19.4	51.6	3.2	-	9.7	9.7	-	29.0	3.2	12.9	6.5	-	6.5	-	-	-	-	-	-	-	-
	工学 N=123	33.3	8.9	5.7	15.4	66.7	2.4	0.8	4.1	4.1	6.5	29.3	4.1	11.4	22.8	1.6	3.3	-	1.6	4.9	-	2.4	-	0.8	
	農学 N=14	71.4	14.3	7.1	7.1	14.3	-	-	-	-	-	7.1	-	7.1	14.3	-	-	-	-	-	-	35.7	-	-	-
	医・歯学 N=42	19.0	-	14.3	4.8	-	-	-	2.4	92.9	2.4	-	7.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	薬学 N=13	15.4	-	7.7	15.4	23.1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	家政 N=32	28.1	18.8	12.5	9.4	3.1	15.6	6.3	12.5	9.4	18.8	3.1	-	3.1	6.3	-	-	-	-	59.4	-	3.1	3.1	-	3.1
	教育 N=78	44.9	12.8	65.4	2.6	-	5.1	7.7	3.8	-	3.8	2.6	1.3	-	-	1.3	2.6	28.2	1.3	1.3	-	-	-	-	5.1
	芸術 N=28	17.9	21.4	7.1	7.1	-	10.7	17.9	-	-	82.1	-	-	3.6	-	-	-	-	3.6	-	-	-	-	-	7.1
その他 N=147	38.8	19.7	15.6	17.7	6.8	15.6	16.3	7.5	18.4	6.8	8.2	13.6	6.8	2.0	2.7	4.1	4.8	4.8	4.8	1.4	6.8	2.0	-	11.6	
男女別	男性 N=357	43.7	19.6	15.4	18.5	28.6	8.4	9.2	11.2	7.0	7.0	15.4	2.8	7.3	8.4	4.8	7.6	1.7	1.4	5.0	3.9	3.4	3.1	2.8	
	女性 N=491	38.1	27.9	18.1	13.4	3.9	17.9	14.3	11.6	13.6	10.4	3.7	6.9	3.1	1.4	3.9	1.8	5.9	5.5	2.2	2.2	1.8	1.0	6.7	
進学先別	石川県 N=189	30.2	23.3	12.2	11.6	25.4	14.3	7.4	10.1	15.9	10.1	13.8	6.3	3.7	6.9	3.2	3.2	4.2	1.6	3.7	1.6	3.2	2.1	3.2	
	福井県 N=15	46.7	20.0	6.7	13.3	40.0	6.7	-	6.7	6.7	6.7	13.3	-	20.0	6.7	-	-	-	26.7	-	6.7	-	-	-	
	新潟県 N=45	37.8	11.1	31.1	4.4	13.3	2.2	4.4	2.2	15.6	6.7	6.7	2.2	13.3	11.1	2.2	4.4	4.4	-	2.2	-	-	-	4.4	
	東京都 N=182	45.6	26.4	17.0	23.1	11.0	13.7	20.9	15.4	7.1	11.5	6.6	4.9	3.8	2.2	4.4	3.3	4.9	2.2	3.8	2.7	2.7	2.2	6.6	
	その他首都圏 N=112	50.9	27.7	21.4	15.2	12.5	8.9	15.2	6.3	7.1	10.7	9.8	3.6	4.5	4.5	3.6	5.4	1.8	0.9	6.3	3.6	0.9	1.8	-	
	中部地域 N=108	39.8	25.9	17.6	14.8	7.4	19.4	10.2	14.8	13.0	6.5	5.6	6.5	2.8	3.7	3.7	3.7	4.6	10.2	3.7	1.9	4.6	0.9	4.6	
	京阪神 N=125	36.0	27.2	16.8	14.4	6.4	18.4	11.2	12.8	8.8	7.2	6.4	5.6	1.6	3.2	6.4	5.6	5.6	4.8	1.6	2.4	2.4	2.4	8.8	
その他 N=72	47.2	19.4	15.3	18.1	15.3	13.9	9.7	12.5	11.1	5.6	6.9	5.6	11.1	1.4	6.9	6.9	2.8	4.2	1.4	9.7	1.4	2.8	9.7		

## (10) 卒業後に就きたい仕事(事業形態・規模)

Q10. 希望する就職先の事業形態・規模について、現在の考えに最も近いものを選んでください。

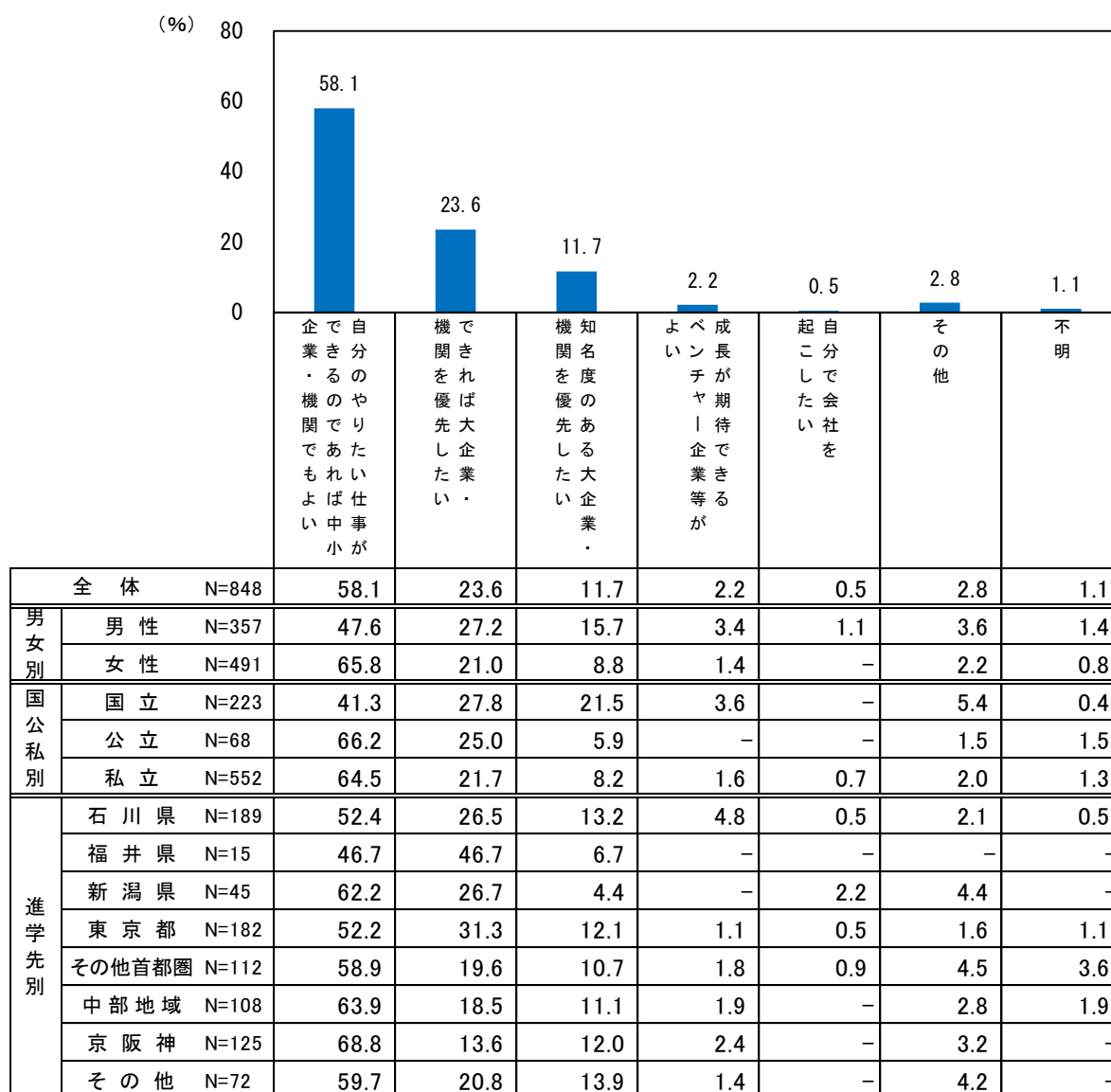
### 国立大学進学者は、大企業・機関への就職希望が他に比べて強い傾向にある

希望する就職先の事業形態・規模を尋ねたところ、「自分のやりたい仕事ができるのであれば中小企業・機関でもよい」が 58.1%と最も多く、次いで「できれば大企業・機関を優先したい」が 23.6%、「知名度のある大企業・機関を優先したい」が 11.7%となっている。

男女別にみると、女性は、「自分のやりたい仕事ができるのであれば中小企業・機関でもよい」が 65.8%となっており、男性より 18.2 ポイント多くなっている。

国公私別にみると、国立は、他に比べて大企業・機関への就職希望が強い傾向にある。

図 2-10 卒業後に就きたい仕事(事業形態・規模) N=848



(11) 卒業後の就職地の希望

Q11. 希望する就職地についてあてはまるものを選んでください。

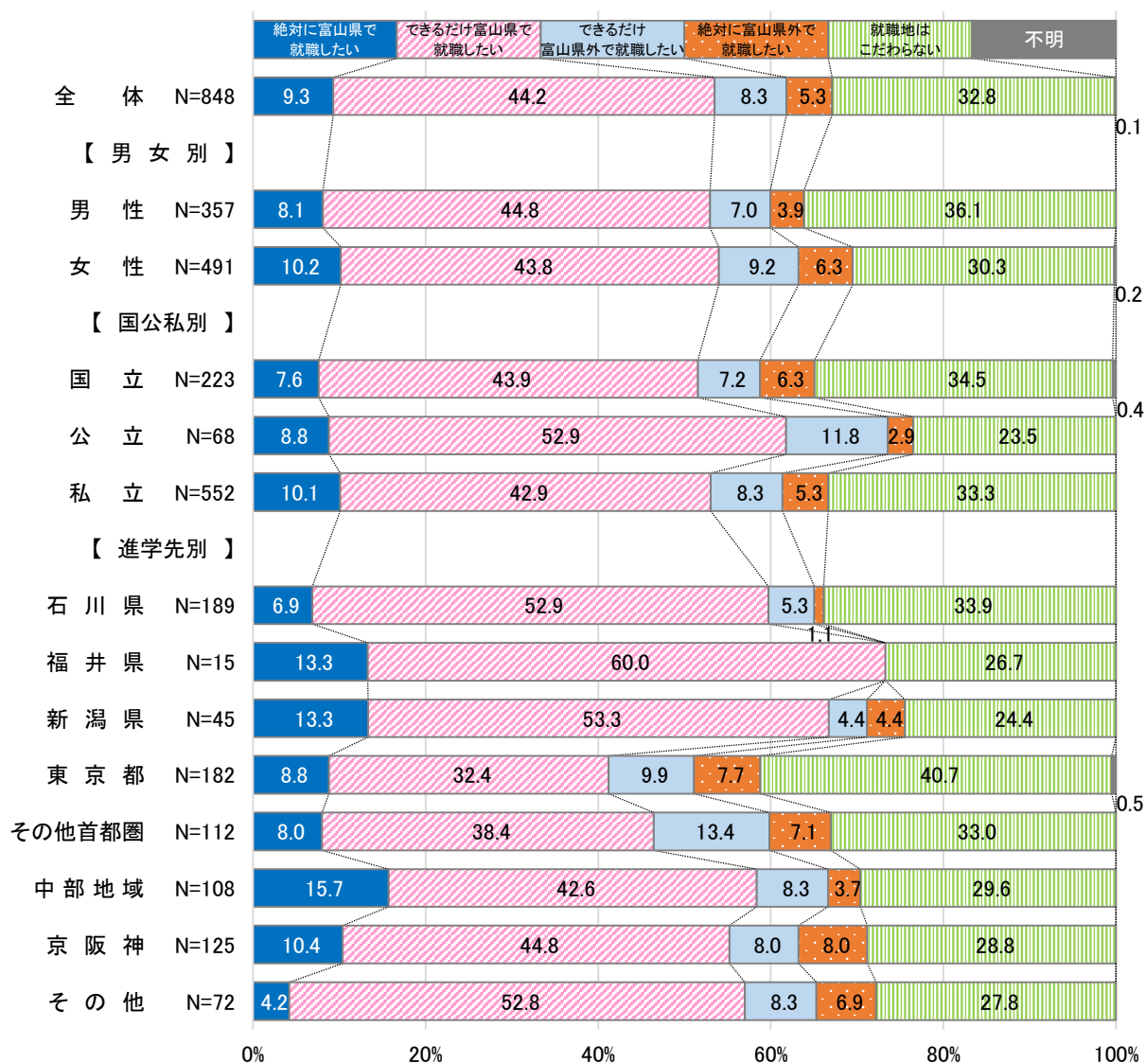
全体の5割強は、富山県で就職したいと考えている

希望する就職地を尋ねたところ、「絶対に富山県で就職したい」が9.3%、「できるだけ富山県で就職したい」が44.2%と合わせて53.5%となっている。

男女別にみると、女性は、「できるだけ富山県外で就職したい」「絶対に富山県外で就職したい」の計が15.5%と男性に比べて4.6ポイント多くなっている。

進学先別にみると、東京都は「絶対に富山県で就職したい」「できるだけ富山県で就職したい」の計が41.2%と他の地域に比べて少なくなっている。

図 2-11 卒業後の就職地の希望





(12) 富山県での就職を希望する理由

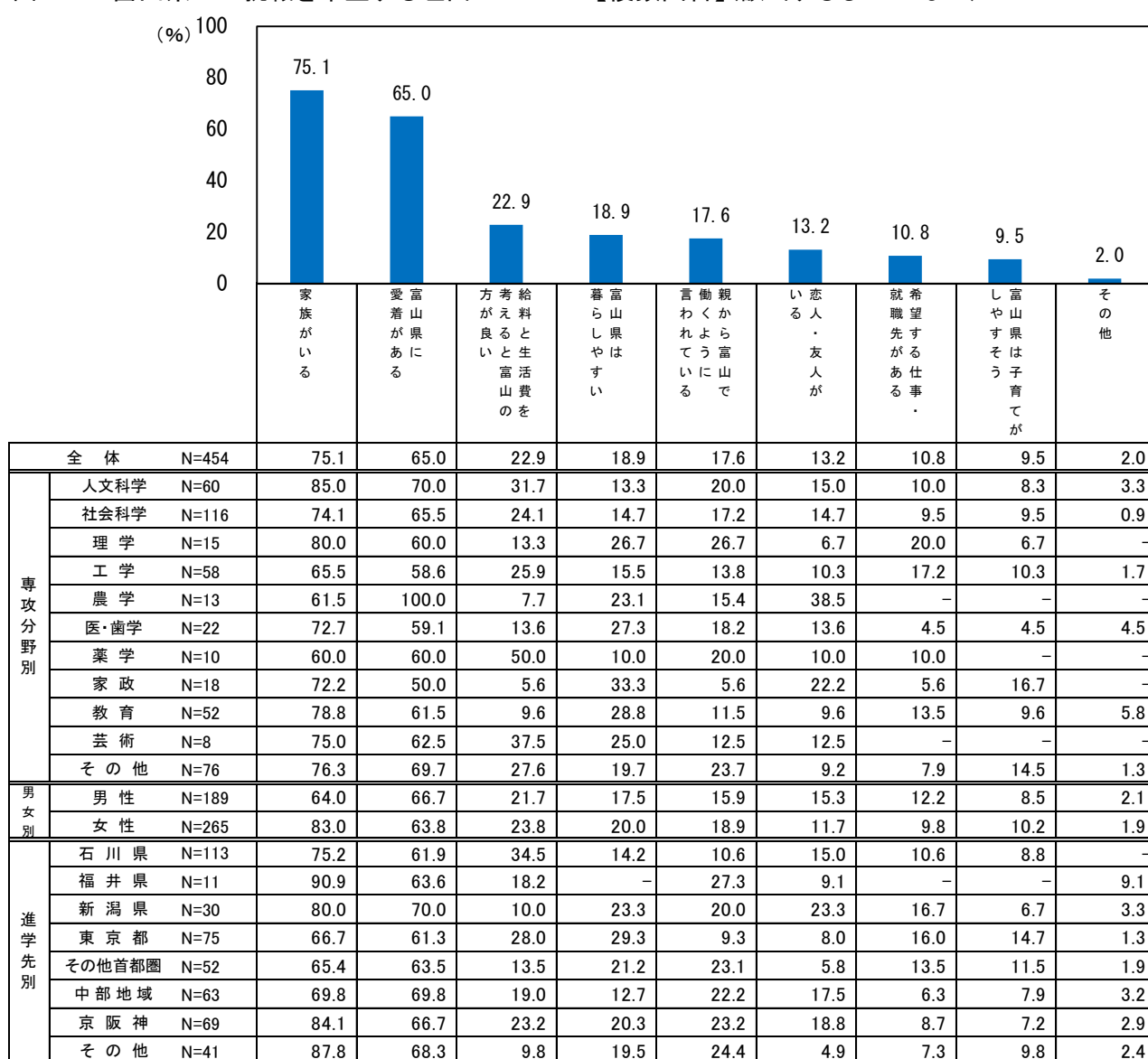
Q12. 富山県での就職を希望する理由は何ですか。

富山県での就職希望者の7割強は、「家族がいる」を理由としている

Q11 において、「絶対に富山県で就職したい」、「できるだけ富山県で就職したい」と回答した 454 人に富山県での就職を希望する理由を尋ねたところ、「家族がいる」が 75.1%と最も多く、次いで「富山県に愛着がある」が 65.0%、「給料と生活費を考えると富山の方が良い」が 22.9%となっている。

男女別にみると、女性は、「家族がいる」が 83.0%と男性に比べて 19.0 ポイント多くなっている。

図 2-12 富山県での就職を希望する理由 N=454 【複数回答】(該当するもの3つまで)



○「富山県は暮らしやすい(具体的に )」への記入意見で主なもの

- ・自然が多い
- ・自然災害が少ない
- ・人が優しい
- ・食べ物や水がおいしい
- ・治安がよい
- ・住み慣れている

(13) 県外就職を希望する理由

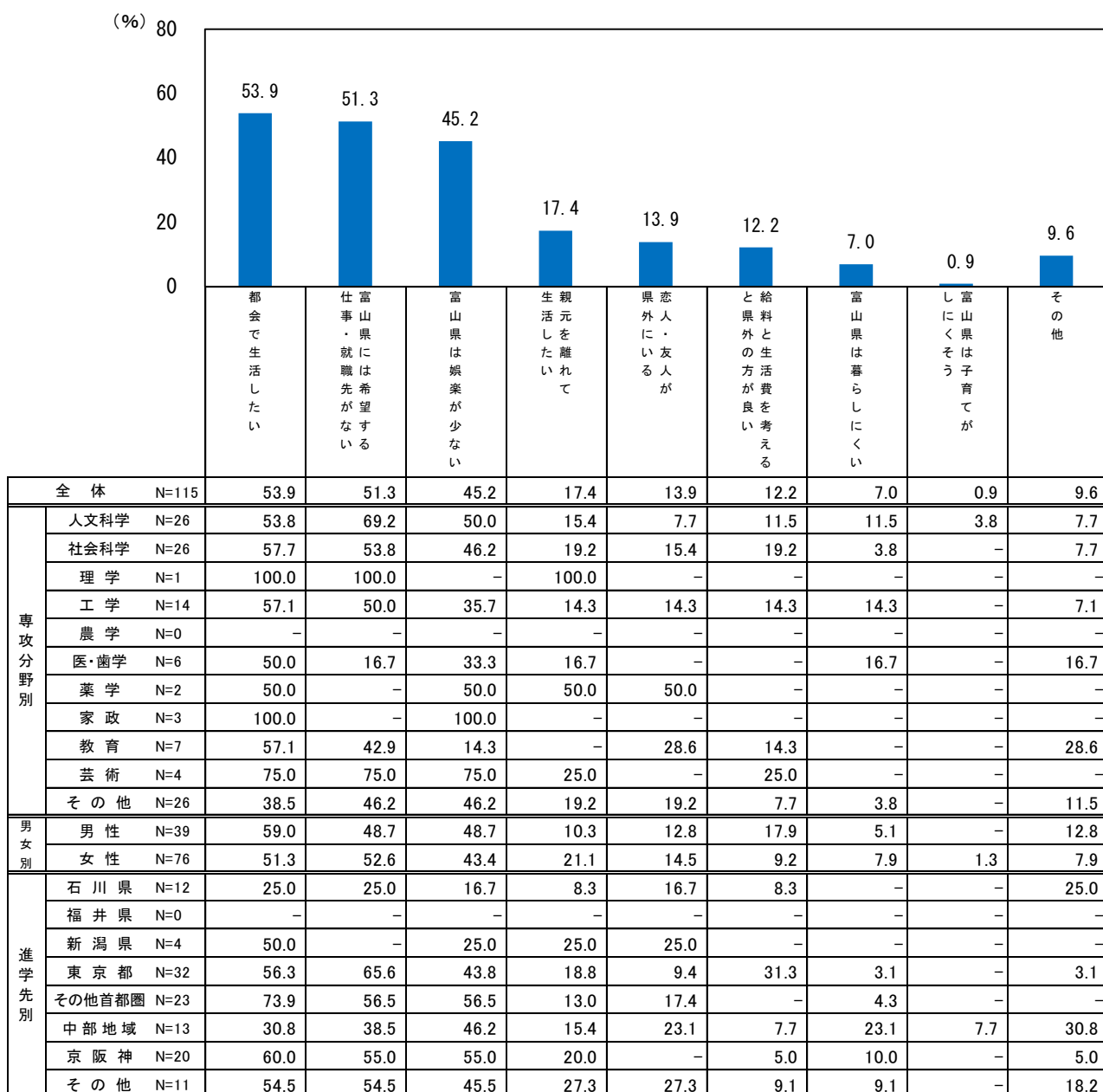
Q13. 県外での就職を希望する理由は何ですか。

県外就職希望者の5割強は、「都会で生活したい」と考えている

Q11において、「できるだけ富山県外で就職したい」、「絶対に富山県外で就職したい」と回答した115人に県外就職を希望する理由を尋ねたところ、「都会で生活したい」が53.9%と最も多く、次いで「富山県には希望する仕事・就職先がない」が51.3%、「富山県は娯楽が少ない」が45.2%となっている。

男女別にみると、女性は、「親元を離れて生活したい」が21.1%と男性に比べて10.8ポイント多くなっている。

図 2-13 県外就職を希望する理由 N=115 【複数回答】(該当するもの3つまで)



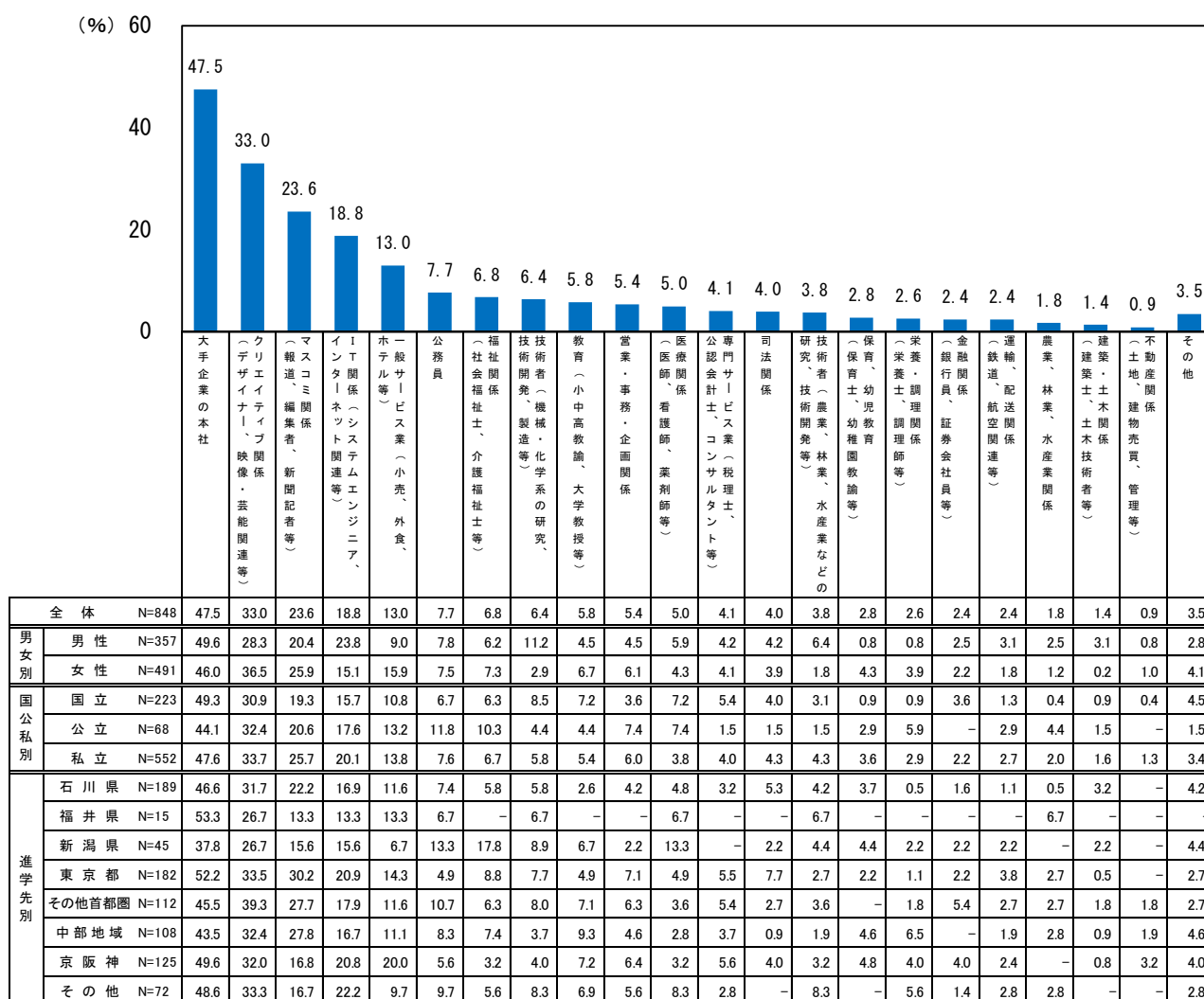
(14)富山県に不足していると思う職場

Q14. 富山県にはどのような職場が不足していると思いますか。

富山県に不足していると思う職場は、「大手企業の本社」が4割強と最も多い

富山県にはどのような職場が不足していると思うかを尋ねたところ、「大手企業の本社」が47.5%と最も多く、次いで「クリエイティブ関係(デザイナー、映像・芸能関連等)」が33.0%、「マスコミ関係(報道、編集者、新聞記者等)」が23.6%、「IT関係(システムエンジニア、インターネット関連等)」が18.8%、「一般サービス業(小売、外食、ホテル等)」が13.0%となっている。

図 2-14 富山県に不足していると思う職場 N=848 【複数回答】(該当するもの3つまで)



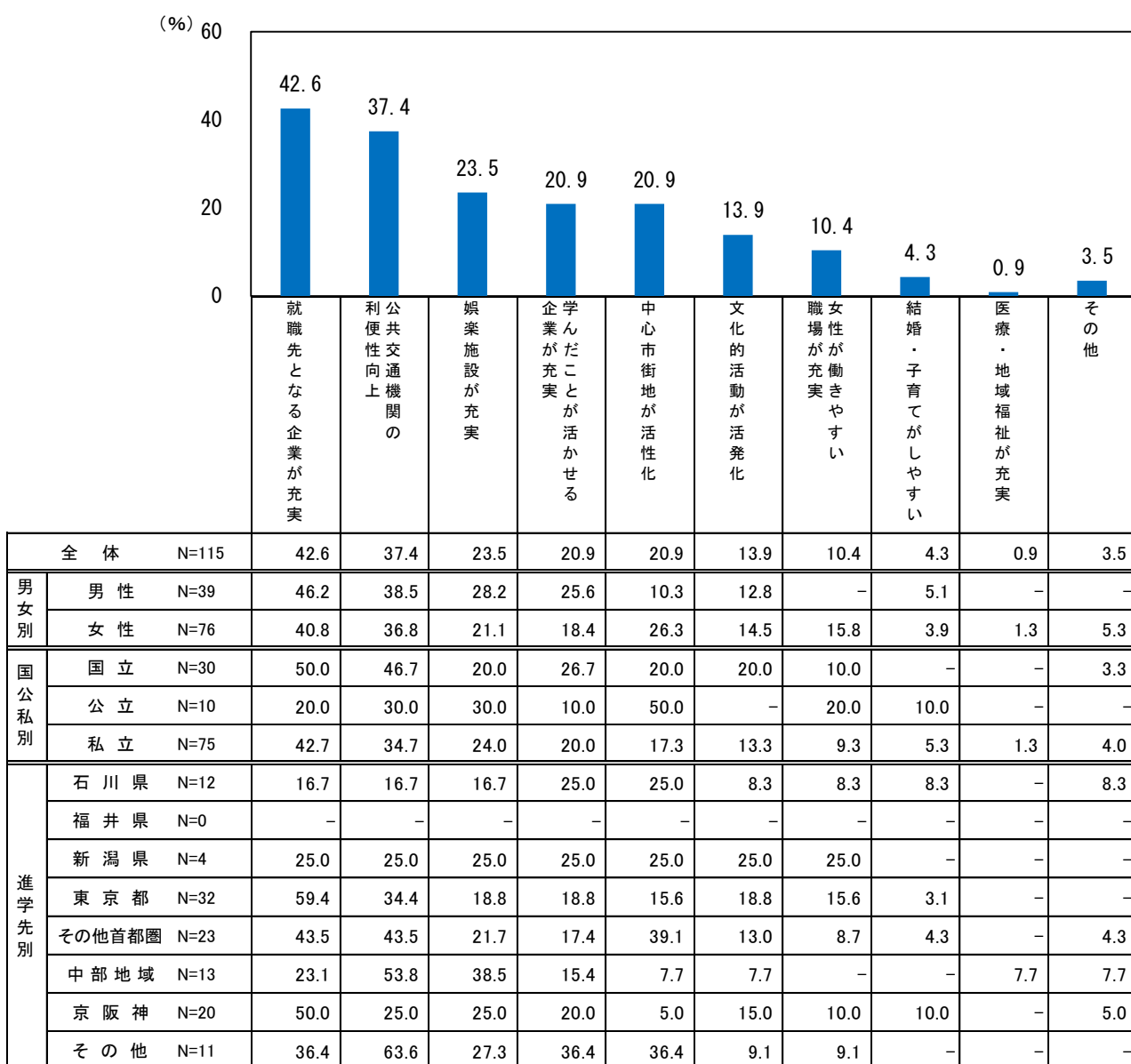
(15) 富山県がどのように変われば、富山県で就職したいと思うか(県外就職希望者)

Q15. 富山県がどのように変われば、富山県で就職したいと思いますか。

富山県に求めるものは、「就職先となる企業の充実」が4割と最も多い

Q11において、「できるだけ富山県外で就職したい」、「絶対に富山県外で就職したい」と回答した115人に富山県がどのように変われば、富山県で就職したいと思うかを尋ねたところ、「就職先となる企業が充実」が42.6%と最も多く、次いで「公共交通機関の利便性向上」が37.4%、「娯楽施設が充実」が23.5%となっている。

図2-15 富山県がどのように変われば、富山県で就職したいと思うか N=115 【複数回答】(該当するもの2つまで)



## (16) 将来富山県に戻る意思

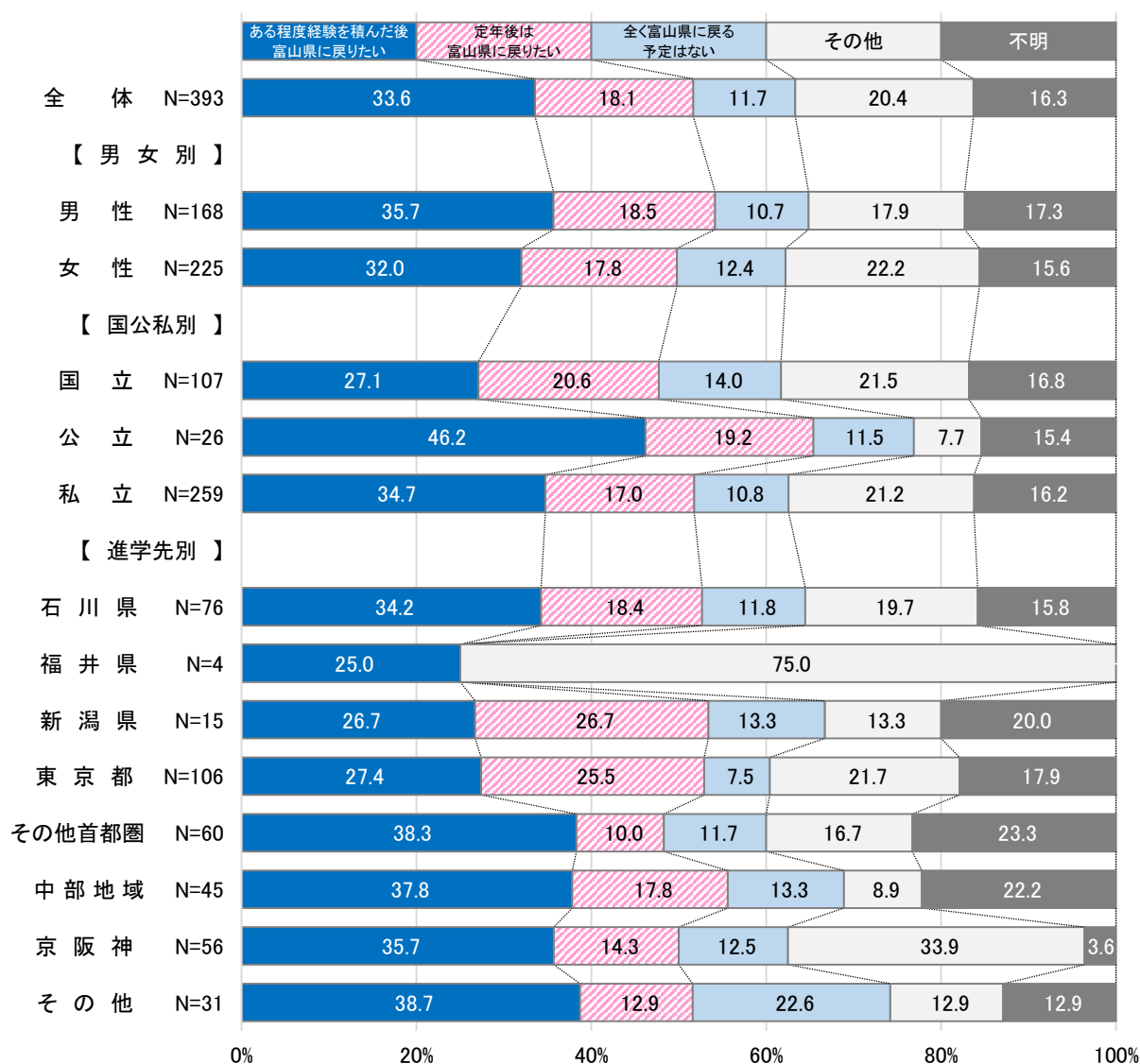
Q16. 将来的に富山県に戻る意思はありますか。

## 富山県での就職を希望しない学生の5割は、将来富山県に戻りたいと考えている

Q11 において、「できるだけ富山県外で就職したい」、「絶対に富山県外で就職したい」、「就職地はこだわらない」と回答した 393 人が将来、富山県へ戻る意思があるかを尋ねたところ、「ある程度経験を積んだ後富山県に戻りたい」が 33.6%、「定年後は富山県に戻りたい」が 18.1%と合わせて 51.7%となっている。

「その他」の意見としては、「まだ考えていない」や「機会があれば戻る」という旨の意見が多くみられた。

図 2-16 将来富山県に戻る意思



「Q14. 富山県にはどのような職場が不足していると思いますか。」に関する意見・要望（抜粋）

- スポーツをしたい、上を目指したい、仕事をしながら（収入を得ながら）スポーツを続けるのが、難しいのではないかと思います。
- ファッション関係の仕事があまりない。
- 資格を取っても就職が県内で出来るか不安に感じている。
- 大企業が少ないため、県外へ出た優秀な人材がそのまま都心部に残ってしまっています。
- 日本中どこにでもあるような職場しかない。都会のようにベンチャーが集まったり、富山独自の職場があったりすればいいと思う。
- 富山県にどんな会社があるのかよく知らない。
- NPO等と連携したようなおしゃれなカフェ等がない。廃材を使ったカフェとか、たまり場のような、おしゃれなところで働きたい人もいるのでは。
- 職場はYKKとか大手もあり、不足してないと思うが、その周辺の環境や通勤が不便そう。休日の娯楽も少ない。
- 都心部に比べコンクリート工場が少ない。アトリエ設計事務所も少ない。
- 大学生は富山県に何の職種があるのか詳しくないと思う。むしろ教えてほしい。
- 富山県は全国に誇れる水産業があるので、もっと水産・海洋系の仕事を増やしてほしい。
- 富山にはたくさんの魅力があるにもかかわらず、決してその良さが他県の方に知られていくとはいえず、とても残念に思っています。私は富山県出身であることを誇りに思っており、東京では友人らに富山のPRをしています。1人1人の小さなPRが大きな流れにつながると信じています。県民1人1人の富山の良さの再確認が、県の人口減少防止への大きな1歩となるのではないのでしょうか。
- 富山県は本当に良いのにそれを全国に知ってもらえる発信力に欠けているような考えを自分は持ちます。
- 現在の富山県にはやはり総じて仕事が無い印象がある。しかし、決して富山に可能性が無い、あるいは少ないわけではないと思う。「何が無いか」を考えるより「何があるか」を考えた方が有意義ではないか。
- ベンチャーとしてサービス業はあるが、少ない。異業種が集まるベンチャー企業を県が支援してほしい。

- 大手企業の本社などが富山県にあれば、働く人やその家族といったように人が集まってくるので活性化につながると思う。
- 富山県からの就職支援（インターンシップなど）を充実させて、県外に進学した学生が富山に戻ってきやすいようにしてほしい。
- 就職地はこだわらないと思っているが（やりたい仕事をするの方が優先順位が高いため）その仕事ができる企業を選ぶ際に富山県が入っていたら気になる企業になると思う。
- 女性が働きたいと思う会社を増やして欲しい。充実した会社。出版・広告等。
- 富山県がUターン促進の為に大企業の誘致をして欲しい。もの作りの技術が高い県なので、中小企業にもプラスになると思う。
- 県内は薬品（製薬）会社と工業系企業が豊富な一方、理系女子の働きやすい食品系企業や研究施設が少ないです。製薬は難関ですし、工業はまだまだ女性が飛び込みにくい印象があります。工業系企業が、製造ライン（工場）以外の分野にも女性を招き入れること、女性がよく志望する企業が増えることを望みます。そうでなければ女性は出て行ってしまいますし、女性のいない場所に子供はできません。もっと女性の働き方に多様性がほしいです。学んだ事を生かせる職場がほしい！！
- 若者が少ないのでサービス業でやりたいことが富山県でやれない。
- 新しいものに囲まれている環境ではないので、その点職場の選択肢が狭くなるなど思いました。
- 都会にある近未来的な施設なども増えると、いろいろな仕事も増えていいと思います。職関連ではないのですが、富山県はくもりの日が多く、建物も白ぼっかりだとつまらないので、施設やビルはもう少しカラフルになった方が良くと思います。使われていない建物を他の施設に建て替えるなど。富山県は大好きなので、もっと今より活気があふれたらいいなと思います！
- 近年では大学へ進学する人も増えてきているようなので、大学の選択肢の少ない富山県から人が出ていくのはあたりまえのように思う。他県の大学でその県の企業の説明会があったり、就職しやすいという話も聞いたことがある。私も富山県は嫌いではないが、大学を選んだ結果、出ていくこととなった。なので、出ていく人を減らすため、大学の選択肢を増やすべきだと思う。
- 富山県の就活情報を県外の就活生や就活に不安をもっている人に、より詳細に伝達できるシステムを作り上げてほしいです。具体的にいうと定期的にハガキなどで就活イベントの日時やいろんな企業の職業紹介などを記したりしていただきたいです。県外の富山県民にとってUターン就職のきっかけになると思うので、富山県で就職する良さを伝えるとともに、より充実した就活情報を配信していただきたいです。

- 富山で就職したいと考えている学生は私の身のまわりにも多いが、受け皿が富山にない印象。特にエリート学生の自尊心を満足させるような高給の仕事がない印象である。また、女子学生ほど富山に戻りたがっていない。富山＝製造業のイメージが強く、女子学生が働く姿をなかなか想像しにくいのかもかもしれない。
- 富山県内にどのような企業があるのか、県外に進学した人にも県内進学者と同等に知る機会があるのかが不安です。富山でのインターンシップ情報も、今のところ大学側からはもらえていないので、大学を通しての手続きが必要なものへの応募が少しためられます。
- 富山は私が今住んでいる愛知と比べたら都会とは言えません。就職という面ではやはり就職先の企業数は富山の方がかなり少ないです。そういったことを考慮して、県外で就職するのではなく、県外の大学から地元の富山に戻って就職する人を対象に、何か他の就活生に対して有利になる権利もしくは大学と地元を往復するための交通費の支援などの制度があればいいなと思います。
- 上京して富山県は自然が豊かで、人も少なくのんびりとした素晴らしい県だと感じました。しかし、一方で東京では、人が多い分たくさんの人と知り合い、交流することで富山県では経験できないマナーや知識などを持つ人が多いと感じました。そして、そういった常識を知らないことを恥ずかしく思うことが稀にあります。



### 3.比較分析

県内大学生(県内出身者)、県内大学生(県外出身者)、県外進学者の3属性について共通項目を比較した。

#### (1)現在の大学を選んだ理由

県内大学生、県外進学者ともに大学を選ぶ際に「学びたい分野の学部・学科がある」「学力レベルが自分に合っている」点を重視している

現在の大学を選択した理由についてみると、県内大学生は、県内出身者、県外出身者のいずれも第1位は、「国公立である」となっており、次いで「学びたい分野の学部・学科がある」、「学力レベルが自分に合っている」となっている。

県外進学者は、第1位が「学びたい分野の学部・学科がある」、次いで「学力レベルが自分に合っている」、「目指す資格や免許が取得できる」となっている。

図 3-1 現在の大学を選んだ理由 上位 10 【複数回答】(該当するものすべて)

(%)

順位	県内大学生(県内出身者) N=561	順位	県内大学生(県外出身者) N=795	順位	県外進学者 N=848
1	国公立である 48.0	1	国公立である 66.7	1	学びたい分野の学部・学科がある 69.2
2	学びたい分野の学部・学科がある 45.5	2	学びたい分野の学部・学科がある 53.0	2	学力レベルが自分に合っている 42.7
3	学力レベルが自分に合っている 32.3	3	学力レベルが自分に合っている 41.5	3	目指す資格や免許が取得できる 33.5
3	目指す資格や免許が取得できる 32.3	4	学費が安い 27.0	4	国公立である 30.7
5	学費が安い 23.7	5	目指す資格や免許が取得できる 21.1	5	就職実績が良い 19.7
6	交通の便が良い 12.3	6	出身校の推薦 6.0	6	施設・設備が充実 19.3
7	出身校の推薦 10.9	7	就職支援が充実 5.7	7	知名度が高い 17.9
8	就職実績が良い 10.2	8	就職実績が良い 4.2	8	就職支援が充実 14.6
9	就職支援が充実 7.5	9	その他 3.3	9	学費が安い 12.5
10	キャンパスがきれい 5.5	10	交通の便が良い 2.5	10	出身校の推薦 11.8

## (2) 希望する働き方

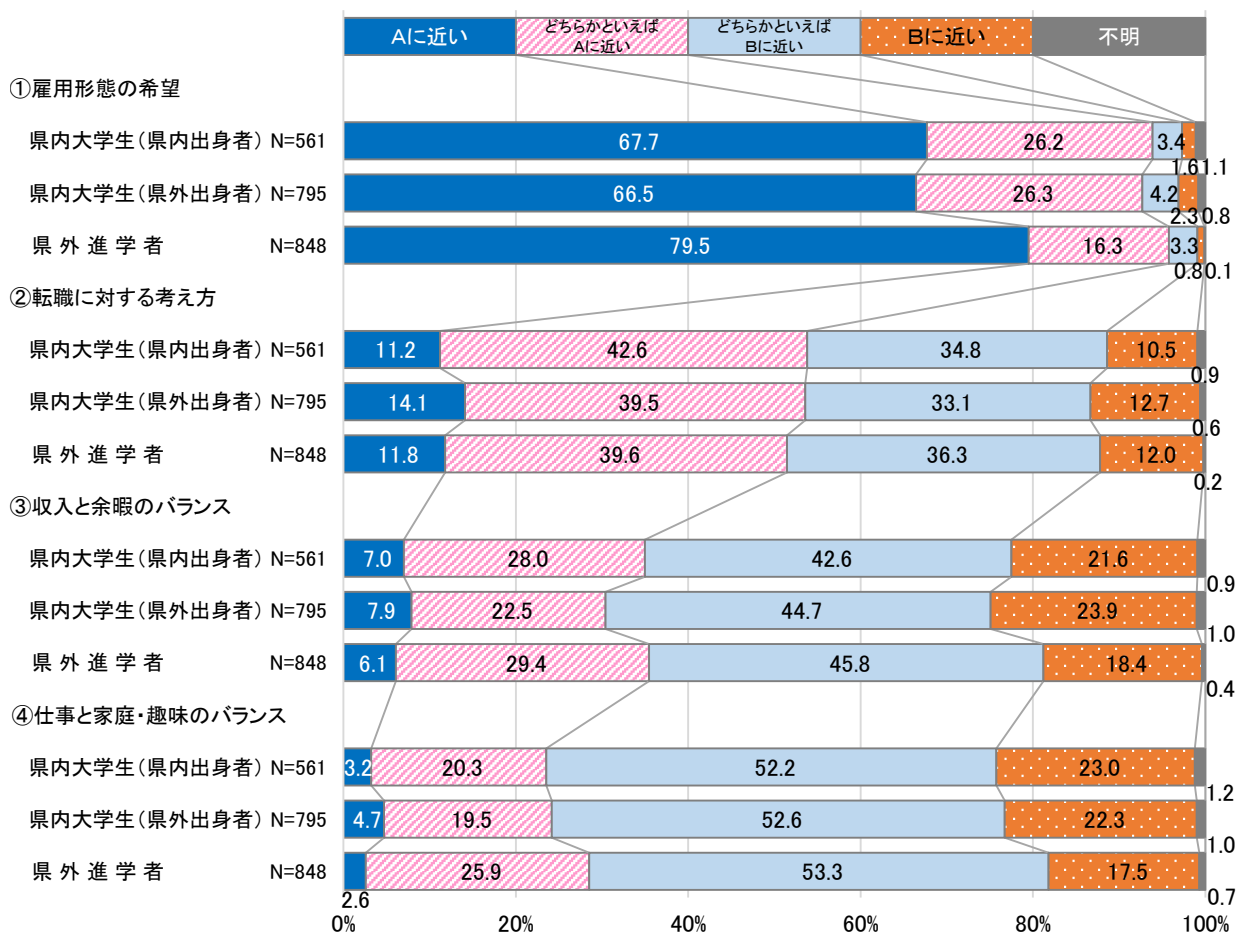
県外進学者は、県内大学生に比べて正社員志向が強く、仕事を優先したいという傾向がある

雇用形態の希望についてみると、県外進学者は、「Aに近い」が79.5%と他に比べて多くなっている。  
収入と余暇のバランスについてみると、県内大学生、県外進学者ともに「どちらかといえばBに近い」「Bに近い」の計が6割を超えている。

また、仕事と家庭・趣味のバランスについてみると、県外進学者は、「どちらかといえばAに近い」「Aに近い」の計が28.5%と他に比べて多くなっているものの、いずれも「どちらかといえばBに近い」「Bに近い」の計が7割を超えており、ほどほどの収入でもよいから家庭や趣味を大切に生活したいと考える学生が多い傾向にある。

①雇用形態の希望	A: 正社員にこだわりたい B: 正社員にこだわらず、非正規やフリーターでもよい
②転職に対する考え方	A: 自分に向かないと思っても、一つの会社で働き続けたい B: 自分に向かないと思ったら、転職するつもりだ
③収入と余暇のバランス	A: 余暇を犠牲にしても、経済的に豊かな生活をしたい B: ほどほどの収入でも余暇を楽しむ生活をしたい
④仕事と家庭・趣味のバランス	A: 家庭や趣味よりも、仕事を優先に生活したい B: 仕事よりも、家庭や趣味を優先した生活をしたい

図 3-2 希望する働き方



## (3) 卒業後に就きたい仕事(職業・職種)

## 県外進学者は、県内大学生よりも大手企業への就職志向が強い

希望する職業・職種についてみると、いずれの属性も「公務員」が最も多くなっており、特に県外進学者は、4割が公務員を希望している。

県内大学生と県外進学者を比較すると、県外進学者は、「大手企業の本社勤務」が15.6%で第4位となっているが、一方、県内大学生のうち県内出身者は、7.1%で第10位、県外出身者は、11.7%で第6位となっており、県外進学者の方が大手企業への就職志向が強い傾向にある。

図 3-3 卒業後に就きたい仕事(職業・職種) 上位 10 【複数回答】(該当するものすべて)

(%)

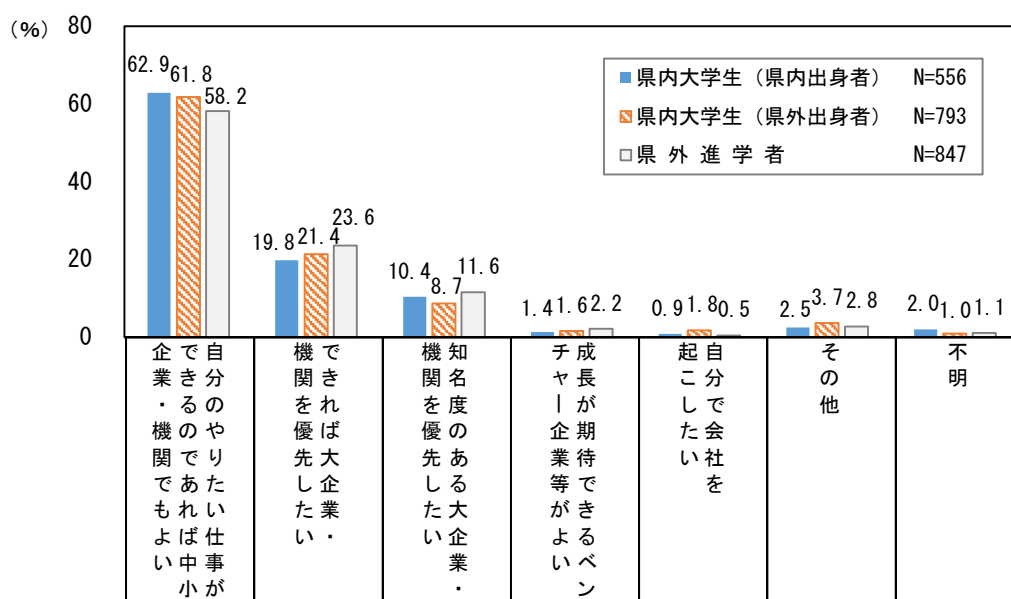
順位	県内大学生(県内出身者) N=561	順位	県内大学生(県外出身者) N=795	順位	県外進学者 N=848
1	公務員 35.1	1	公務員 31.8	1	公務員 40.4
2	技術者(機械・化学系の研究、技術開発、製造等) 19.4	2	技術者(機械・化学系の研究、技術開発、製造等) 24.5	2	営業・事務・企画関係 24.4
3	営業・事務・企画関係 16.9	3	医療関係(医師、看護師、薬剤師等) 20.6	3	教育(小中高教諭、大学教授等) 17.0
4	教育(小中高教諭、大学教授等) 15.0	4	営業・事務・企画関係 16.1	4	大手企業の本社勤務 15.6
5	医療関係(医師、看護師、薬剤師等) 12.7	5	IT関係(システムエンジニア、インターネット関連等) 14.7	5	技術者(機械・化学系の研究、技術開発、製造等) 14.3
6	IT関係(システムエンジニア、インターネット関連等) 11.6	6	大手企業の本社勤務 11.7	6	一般サービス業(小売、外食、ホテル等) 13.9
7	保育、幼児教育(保育士、幼稚園教諭等) 10.5	7	技術者(農業、林業、水産業などの研究、技術開発等) 11.2	7	マスコミ関係(報道、編集者、新聞記者等) 12.1
8	一般サービス業(小売、外食、ホテル等) 10.0	8	教育(小中高教諭、大学教授等) 10.8	8	金融関係(銀行員、証券会社員等) 11.4
9	クリエイティブ関係(デザイナー、映像・芸能関連等) 7.8	9	クリエイティブ関係(デザイナー、映像・芸能関連等) 10.3	9	医療関係(医師、看護師、薬剤師等) 10.8
10	大手企業の本社勤務 7.1	10	一般サービス業(小売、外食、ホテル等) 9.2	10	クリエイティブ関係(デザイナー、映像・芸能関連等) 9.0

(4) 希望就職地別卒業後に就きたい仕事(事業形態・規模)

県外進学者の県外就職希望者の約5割が大企業への就職を希望している

希望就職地別に希望する就職先の事業形態・規模についてみると、県外進学者の県外就職希望者は、「知名度のある大企業・機関を優先したい」が17.4%、「できれば大企業・機関を優先したい」が32.2%となっており、約5割が大企業・機関への就職を希望している。

図 3-4 希望就職地別 希望する就職先の事業形態・規模



出身者	就職希望者	N	希望する就職先の事業形態・規模 (%)						
			企業で自業を営む	機関を優先したい	知名度のある大企業・機関を優先したい	成長が期待できるベンチャー企業等	自分自身で会社を起す	その他	不明
(県内出身者)	全体	N=556	62.9	19.8	10.4	1.4	0.9	2.5	2.0
	県内就職希望者	N=361	67.0	18.0	10.0	1.4	-	1.7	1.9
	県外就職希望者	N=58	48.3	29.3	15.5	3.4	-	1.7	1.7
	就職地はこだわらない	N=137	58.4	20.4	9.5	0.7	3.6	5.1	2.2
(県外出身者)	全体	N=793	61.8	21.4	8.7	1.6	1.8	3.7	1.0
	県内就職希望者	N=68	57.4	22.1	8.8	4.4	2.9	4.4	-
	県外就職希望者	N=394	60.4	22.1	8.9	0.8	2.0	4.8	1.0
	就職地はこだわらない	N=331	64.4	20.5	8.5	2.1	1.2	2.1	1.2
県外進学者	全体	N=847	58.2	23.6	11.6	2.2	0.5	2.8	1.1
	県内就職希望者	N=454	59.3	22.7	11.7	1.5	0.4	3.3	1.1
	県外就職希望者	N=115	46.1	32.2	17.4	2.6	-	0.9	0.9
	就職地はこだわらない	N=278	61.5	21.6	9.0	3.2	0.7	2.9	1.1

※『県内就職希望者』は、「絶対に富山県で就職したい」と「できるだけ富山県で就職したい」の計、『県外就職希望者』は、「絶対に富山県外で就職したい」と「できるだけ富山県外で就職したい」の計である。

## (5)富山県での就職を希望する理由

## 県外進学者では7割強が「家族がいる」ため富山県内での就職を希望している

『県内就職希望』の学生の富山県を希望する理由についてみると、県内大学生(県内出身者)と県外進学者では、「家族がいる」、「富山県に愛着がある」が多くなっている。

一方、県内大学生のうち県外出身者では、「富山県に愛着がある」が最も多く、次いで「恋人・友人がいる」となっている。

図 3-5 富山県での就職を希望する理由【複数回答】(該当するもの3つまで)

(%)

順位	県内大学生(県内出身者) N=361	順位	県内大学生(県外出身者) N=68	順位	県外進学者 N=454
1	家族がいる 63.4	1	富山県に愛着がある 50.0	1	家族がいる 75.1
2	富山県に愛着がある 62.9	2	恋人・友人がいる 30.9	2	富山県に愛着がある 65.0
3	恋人・友人がいる 18.6	3	給料と生活費を考えると富山の方が良い 22.1	3	給料と生活費を考えると富山の方が良い 22.9
4	給料と生活費を考えると富山の方が良い 16.9	4	希望する仕事・就職先がある 20.6	4	富山県は暮らしやすい 18.9
5	富山県は暮らしやすい 13.6	5	富山県は暮らしやすい 16.2	5	親から富山で働くように言われている 17.6
6	希望する仕事・就職先がある 10.5	6	富山県は子育てがしやすいそう 13.2	6	恋人・友人がいる 13.2
7	富山県は子育てがしやすいそう 10.0	7	家族がいる 8.8	7	希望する仕事・就職先がある 10.8
8	親から富山で働くように言われている 7.5	8	親から富山で働くように言われている 4.4	8	富山県は子育てがしやすいそう 9.5
9	その他 4.4	8	その他 4.4	9	その他 2.0

(6) 富山県がどのように変われば、富山県で就職したいと思うか

「就職先となる企業の充実」「公共交通機関の利便性向上」が第1位

『県外就職希望』の学生が、富山県がどのように変われば、富山県で就職したいと思うかについてみると、県内大学生のうち県内出身者は、「就職先となる企業が充実」と「公共交通機関の利便性向上」が32.8%、県外出身者は、「公共交通機関の利便性向上」が31.5%、県外進学者は、「就職先となる企業が充実」が42.6%でそれぞれ第1位となっている。県内大学生(県内出身者)や県外進学者が「就職先となる企業が充実」を求めているのに対し、県内大学生(県外出身者)の「就職先となる企業が充実」は第4位にとどまっており、「公共交通機関の利便性向上」が第1位となっている。

図 3-6 富山県がどのように変われば、富山県で就職したいと思うか【複数回答】(該当するもの2つまで)

(%)

順位	県内大学生(県内出身者) N=58	順位	県内大学生(県外出身者) N=394	順位	県外進学者 N=115
1	就職先となる企業が充実 32.8	1	公共交通機関の利便性向上 31.5	1	就職先となる企業が充実 42.6
1	公共交通機関の利便性向上 32.8	2	中心市街地が活性化 28.9	2	公共交通機関の利便性向上 37.4
3	中心市街地が活性化 29.3	3	娯楽施設が充実 26.6	3	娯楽施設が充実 23.5
4	学んだことが活かせる企業が充実 17.2	4	就職先となる企業が充実 22.8	4	学んだことが活かせる企業が充実 20.9
4	娯楽施設が充実 17.2	5	その他 8.1	4	中心市街地が活性化 20.9
6	文化的活動が活発化 10.3	6	学んだことが活かせる企業が充実 7.6	6	文化的活動が活発化 13.9
7	結婚・子育てがしやすい 8.6	7	女性が働きやすい職場が充実 7.1	7	女性が働きやすい職場が充実 10.4
8	女性が働きやすい職場が充実 3.4	8	文化的活動が活発化 6.1	8	結婚・子育てがしやすい 4.3
8	医療・地域福祉が充実 3.4	9	結婚・子育てがしやすい 5.8	9	その他 3.5
8	その他 3.4	10	医療・地域福祉が充実 4.1	10	医療・地域福祉が充実 0.9

## (7)富山県に不足していると思う職場

## いずれも「大手企業の本社」が第1位となっている

富山県に不足していると思う職場についてみると、いずれの属性も、第1位が「大手企業の本社」、第2位が「クリエイティブ関係(デザイナー、映像・芸能関連等)」、第3位が「マスコミ関係(報道、編集者、新聞記者等)」となっている。なお、自由記述では、「富山県にどんな企業があるのかわからない」という内容の意見がみられた。

図 3-7 富山県に不足していると思う職場 上位 10 【複数回答】(該当するもの3つまで)

(%)

順位	県内大学生(県内出身者) N=561	順位	県内大学生(県外出身者) N=795	順位	県外進学者 N=848
1	大手企業の本社 35.1	1	大手企業の本社 29.9	1	大手企業の本社 47.5
2	クリエイティブ関係(デザイナー、映像・芸能関連等) 29.9	2	クリエイティブ関係(デザイナー、映像・芸能関連等) 19.5	2	クリエイティブ関係(デザイナー、映像・芸能関連等) 33.0
3	マスコミ関係(報道、編集者、新聞記者等) 14.1	3	マスコミ関係(報道、編集者、新聞記者等) 12.6	3	マスコミ関係(報道、編集者、新聞記者等) 23.6
4	IT関係(システムエンジニア、インターネット関連等) 13.5	4	一般サービス業(小売、外食、ホテル等) 11.7	4	IT関係(システムエンジニア、インターネット関連等) 18.8
5	福祉関係(社会福祉士、介護福祉士等) 9.3	5	IT関係(システムエンジニア、インターネット関連等) 11.2	5	一般サービス業(小売、外食、ホテル等) 13.0
6	一般サービス業(小売、外食、ホテル等) 8.7	6	その他 5.4	6	公務員 7.7
7	司法関係 7.7	7	医療関係(医師、看護師、薬剤師等) 4.9	7	福祉関係(社会福祉士、介護福祉士等) 6.8
8	医療関係(医師、看護師、薬剤師等) 6.6	8	公務員 4.5	8	技術者(機械・化学系の研究、技術開発、製造等) 6.4
9	教育(小中高教諭、大学教授等) 6.1	9	司法関係 4.2	9	教育(小中高教諭、大学教授等) 5.8
10	公務員 4.6	10	営業・事務・企画関係 3.9	10	営業・事務・企画関係 5.4
		10	教育(小中高教諭、大学教授等) 3.9		

(8) 県外就職を希望する理由となった県内に不足する職業(自分が希望する職業関連)

県内大学生のうち、県外での就職を希望し、その理由が「富山県には希望する仕事・就職先がない」と答えた学生の「就きたい職業」は、多い順に「技術者(機械・化学系の研究、技術開発、製造等)」、「大手企業の本社勤務」、「IT関係」、「クリエイティブ関係」、「営業・事務・企画関係」となっている。

県外進学者では、多い順に「営業・事務・企画関係」、「大手企業の本社勤務」、「マスコミ関係」、「一般サービス業」となっている。

図 3-8 「県外での就職を希望し、その理由が「富山県には希望する仕事・就職先がない」と答えた学生の「就きたい職業」

(人)

	司法関係	公務員	営業・事務・企画関係	一般サービス業 (小売、外食、ホテル等)	専門サービス業(税理士、公認会計士、コンサルタント等)	栄養士・調理師等	金融関係 (銀行員、証券会社社員等)	大手企業の本社勤務	経営者や自営業	マスコミ関係 (報道、編集者、新聞記者等)	教育 (小中高教諭、大学教授等)	保育士、幼児教育 (保育士、幼稚園教諭等)	福祉関係 (社会福祉士、介護福祉士等)	医療関係 (医師、看護師、薬剤師等)	技術者(機械・化学系の研究、技術開発、製造等)	技術者(農業、林業、水産業などの研究、技術開発等)	IT関係(システムエンジニア、インターネット関連等)	クリエイティブ関係(デザイン、映像・芸能関連等)	建築・土木関係 (建築士、土木技術者等)	農業、林業、水産業関係	不動産関係 (土地、建物売買、管理等)	運輸、配送関係 (鉄道、航空関連等)	その他
県内大学生 N=54	-	9	12	5	2	-	2	15	2	5	4	-	1	4	21	3	16	12	4	1	1	3	4
県内出身者 N=10	-	2	4	1	-	-	1	2	-	1	1	-	-	1	4	-	2	2	-	-	-	1	-
県外出身者 N=44	-	7	8	4	2	-	1	13	2	4	3	-	1	3	17	3	14	10	4	1	1	2	4
県外進学者 N=59	-	12	25	13	4	1	6	19	4	14	8	-	3	2	6	1	4	12	1	1	2	3	1

(9) 就職に関わる条件整備により富山県での就職を希望するという職業

県内大学生のうち、希望する職種が富山県に不足しているため、県外就職を希望しているが、富山県で就職に関する条件(就職先となる企業の充実など)が整備されれば、富山県で就職したいと回答した学生について、その希望する職種は、多い順に「クリエイティブ関係」、「IT関係」、「技術者(機械・化学系の研究、技術開発、製造等)」、「大手企業の本社」となっている。

県外進学者では、多い順に「大手企業の本社」、「クリエイティブ関係」、「マスコミ関係」となっている。

図 3-9 「富山県がどのように変われば富山県で就職したいと思うか」の問に対し、「就職先となる企業が充実」「学んだことが活かせる企業が充実」「女性が働きやすい職場が充実」を選択した者の「就きたい仕事」であって「不足していると思う職場」

(人)

	司法関係	公務員	営業・事務・企画関係	一般サービス業 (小売、外食、ホテル等)	専門サービス業(税理士、公認会計士、コンサルタント等)	栄養士・調理師等	金融関係 (銀行員、証券会社社員等)	大手企業の本社勤務	マスコミ関係 (報道、編集者、新聞記者等)	教育 (小中高教諭、大学教授等)	保育士、幼児教育 (保育士、幼稚園教諭等)	福祉関係 (社会福祉士、介護福祉士等)	医療関係 (医師、看護師、薬剤師等)	技術者(機械・化学系の研究、技術開発、製造等)	技術者(農業、林業、水産業などの研究、技術開発等)	IT関係(システムエンジニア、インターネット関連等)	クリエイティブ関係(デザイン、映像・芸能関連等)	建築・土木関係 (建築士、土木技術者等)	農業、林業、水産業関係	不動産関係 (土地、建物売買、管理等)	運輸、配送関係 (鉄道、航空関連等)	その他
県内大学生																						
計 N=167	-	4	5	1	-	2	1	11	5	-	-	1	3	7	-	12	19	1	-	-	5	-
就職先となる企業が充実 N=109	-	-	1	1	-	1	1	9	5	-	-	1	2	7	-	8	11	-	-	-	4	-
学んだことが活かせる企業が充実 N=40	-	3	3	-	-	1	-	3	1	-	-	1	1	1	-	4	8	1	-	-	1	-
女性が働きやすい職場が充実 N=30	-	2	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	1	2	-	-	-	-	-
計 N=69	-	1	3	3	3	1	3	18	8	2	-	-	1	5	-	3	9	-	-	-	2	-
就職先となる企業が充実 N=49	-	1	3	1	2	1	2	13	6	2	-	-	-	3	-	1	7	-	-	-	2	-
学んだことが活かせる企業が充実 N=24	-	1	-	2	2	-	1	5	1	-	-	-	1	5	-	3	3	-	-	-	1	-
女性が働きやすい職場が充実 N=12	-	-	-	-	-	-	-	4	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
県外進学者																						
計 N=59	-	12	25	13	4	1	6	19	4	14	8	-	3	2	6	1	4	12	1	1	2	3
就職先となる企業が充実 N=49	-	12	25	13	4	1	6	19	4	14	8	-	3	2	6	1	4	12	1	1	2	3
学んだことが活かせる企業が充実 N=24	-	12	25	13	4	1	6	19	4	14	8	-	3	2	6	1	4	12	1	1	2	3
女性が働きやすい職場が充実 N=12	-	12	25	13	4	1	6	19	4	14	8	-	3	2	6	1	4	12	1	1	2	3



## 専攻分野別集計結果(下段は専攻分野別構成比)

## 県外進学者

図 3-10 大学を選んだ理由

上段：人、下段：%

	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	芸術	その他	不明
全体 N=848	134	196	31	123	14	42	13	32	78	28	147	10
目指す資格や免許が取得できる N=284	34	33	2	20	2	34	10	25	55	6	60	3
	25.4	16.8	6.5	16.3	14.3	81.0	76.9	78.1	70.5	21.4	40.8	30.0
学びたい分野の学部・学科がある N=587	102	101	15	88	10	27	6	25	58	27	120	8
	76.1	51.5	48.4	71.5	71.4	64.3	46.2	78.1	74.4	96.4	81.6	80.0
学力レベルが自分に合っている N=362	55	97	18	60	2	17	7	11	31	7	56	1
	41.0	49.5	58.1	48.8	14.3	40.5	53.8	34.4	39.7	25.0	38.1	10.0

3件抜粋 【複数回答】(該当するものすべて)

図 3-11 大学を選んだ理由

(「場所にこだわらないが、大学選択の結果、県外の大学となった」人)

上段：人、下段：%

	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	芸術	その他	不明
全体 N=499	80	111	18	75	9	32	8	20	39	19	83	5
目指す資格や免許が取得できる N=192	27	18	1	15	2	27	6	18	30	5	40	3
	33.8	16.2	5.6	20.0	22.2	84.4	75.0	90.0	76.9	26.3	48.2	60.0
学びたい分野の学部・学科がある N=359	62	59	10	53	6	21	4	16	31	18	74	5
	77.5	53.2	55.6	70.7	66.7	65.6	50.0	80.0	79.5	94.7	89.2	100.0
学力レベルが自分に合っている N=225	33	57	14	45	1	13	4	8	17	4	29	0
	41.3	51.4	77.8	60.0	11.1	40.6	50.0	40.0	43.6	21.1	34.9	0.0

3件抜粋 【複数回答】(該当するものすべて)

図 3-12 どのような条件が整えば富山県の大学に進学したか

(「場所にこだわらないが、大学選択の結果、県外の大学となった」人)

上段：人、下段：%

	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	芸術	その他	不明
全体 N=499	80	111	18	75	9	32	8	20	39	19	83	5
希望職業につながる学部・学科がある N=106	13	14	-	13	1	12	2	8	7	6	28	2
	16.3	12.6	-	17.3	11.1	37.5	25.0	40.0	17.9	31.6	33.7	40.0
県内の大学に興味のある分野の学部・学科がある N=205	28	40	4	25	7	17	2	14	13	14	40	1
	35.0	36.0	22.2	33.3	77.8	53.1	25.0	70.0	33.3	73.7	48.2	20.0
希望難易度の大学・学科がある N=169	29	43	8	31	-	13	5	2	12	4	21	1
	36.3	38.7	44.4	41.3	-	40.6	62.5	10.0	30.8	21.1	25.3	20.0

3件抜粋 【複数回答】(該当するもの3つまで)

図 3-13 「現在の(県外の)大学を選んだ理由」の条件が整えば、富山県の大学に進学すると回答した人

(「場所にこだわらないが、大学選択の結果、県外の大学となった」人)

上段：人、下段：%

現在の大学を選んだ理由	どのような条件が整えば富山県の大学に進学したか	全体 N=499	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	芸術	その他	不明
		80	111	18	75	9	32	8	20	39	19	83	5	
目指す資格や免許が取得できる × 希望職業につながる学部・学科がある N=70	8	6	-	2	1	11	2	8	7	4	20	1		
	10.0	5.4	-	2.7	11.1	34.4	25.0	40.0	17.9	21.1	24.1	20.0		
学びたい分野の学部・学科がある × 県内の大学に興味のある分野の学部・学科がある N=174	25	29	3	20	6	15	1	13	11	13	37	1		
	31.3	26.1	16.7	26.7	66.7	46.9	12.5	65.0	28.2	68.4	44.6	20.0		
学力レベルが自分に合っている × 希望難易度の大学・学科がある N=107	17	29	6	23	-	7	1	2	8	2	12	-		
	21.3	26.1	33.3	30.7	-	21.9	12.5	10.0	20.5	10.5	14.5	-		

図 3-14 専攻分野別 富山県に進学した理由 / 県外に進学した理由

上段：人、下段：%

			人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	芸術	その他	不明
(県内出身者)	全体	N=561	39	69	34	134	-	54	12	-	110	13	50	46
	地元を希望	N=418	31	57	25	97	-	31	7	-	82	9	44	35
			79.5	82.6	73.5	72.4	-	57.4	58.3	-	74.5	69.2	88.0	76.1
	場所にはこだわらないが 大学選択の結果	N=111	8	7	8	30	-	18	5	-	21	4	5	5
20.5			10.1	23.5	22.4	-	33.3	41.7	-	19.1	30.8	10.0	10.9	
(県外出身者)	全体	N=795	58	93	123	244	-	86	69	1	52	33	14	22
	富山県に住みたかった	N=18	-	2	1	6	-	1	1	-	1	1	3	2
	実家から遠くない富山県 の大学を選んだ	N=206	27	28	23	64	-	19	5	1	22	12	3	2
			46.6	30.1	18.7	26.2	-	22.1	7.2	100.0	42.3	36.4	21.4	9.1
場所にはこだわらないが 大学選択の結果	N=520	29	54	88	167	-	62	56	-	28	17	6	13	
		50.0	58.1	71.5	68.4	-	72.1	81.2	-	53.8	51.5	42.9	59.1	
県外進学者	全体	N=848	134	196	31	123	14	42	13	32	78	28	147	10
	とにかく県外へ出たかった	N=201	40	50	7	22	4	5	1	7	24	3	34	4
			29.9	25.5	22.6	17.9	28.6	11.9	7.7	21.9	30.8	10.7	23.1	40.0
	場所にはこだわらないが 大学選択の結果	N=499	80	111	18	75	9	32	8	20	39	19	83	5
59.7			56.6	58.1	61.0	64.3	76.2	61.5	62.5	50.0	67.9	56.5	50.0	
地元を希望したが入試の 結果	N=95	8	25	5	21	-	2	3	-	9	4	17	1	
		6.0	12.8	16.1	17.1	-	4.8	23.1	-	11.5	14.3	11.6	10.0	

図 3-15 専攻分野別 卒業後の就職地の希望

上段：人、下段：%

			人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	芸術	その他	不明
(県内出身者)	全体	N=561	39	69	34	134	-	54	12	-	110	13	50	46
	県内就職希望者	N=361	25	48	23	69	-	33	4	-	86	4	39	30
			64.1	69.6	67.6	51.5	-	61.1	33.3	-	78.2	30.8	78.0	65.2
	県外就職希望者	N=58	7	7	2	20	-	4	1	-	5	3	3	6
17.9			10.1	5.9	14.9	-	7.4	8.3	-	4.5	23.1	6.0	13.0	
就職地にはこだわらない	N=137	7	12	9	45	-	16	7	-	19	6	8	8	
		17.9	17.4	26.5	33.6	-	29.6	58.3	-	17.3	46.2	16.0	17.4	
(県外出身者)	全体	N=795	58	93	123	244	-	86	69	1	52	33	14	22
	県内就職希望者	N=68	3	10	5	23	-	11	2	1	5	-	4	4
			5.2	10.8	4.1	9.4	-	12.8	2.9	100.0	9.6	-	28.6	18.2
	県外就職希望者	N=394	34	46	53	122	-	40	35	-	32	20	5	7
58.6			49.5	43.1	50.0	-	46.5	50.7	-	61.5	60.6	35.7	31.8	
就職地にはこだわらない	N=331	21	37	65	99	-	35	31	-	15	13	5	10	
		36.2	39.8	52.8	40.6	-	40.7	44.9	-	28.8	39.4	35.7	45.5	
県外進学者	全体	N=848	134	196	31	123	14	42	13	32	78	28	147	10
	県内就職希望者	N=454	60	116	15	58	13	22	10	18	52	8	76	6
			44.8	59.2	48.4	47.2	92.9	52.4	76.9	56.3	66.7	28.6	51.7	60.0
	県外就職希望者	N=115	26	26	1	14	-	6	2	3	7	4	26	
19.4			13.3	3.2	11.4	-	14.3	15.4	9.4	9.0	14.3	17.7	0.0	
就職地にはこだわらない	N=278	48	54	15	51	1	13	1	11	19	16	45	4	
		35.8	27.6	48.4	41.5	7.1	31.0	7.7	34.4	24.4	57.1	30.6	40.0	